

紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事

紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事

図面リスト			図面リスト		
図面番号	区分	図面内容	図面番号		図面内容
KD0-00	共有	タイトル 図面リスト	KS0-01	1-1	宿舎 基礎伏図、基礎詳細図
KD0-01	共有	建築物解体工事特記仕様書(1)	KS0-02	同上	宿舎 変更基礎伏図、杭撤去伏図、杭引き抜き特記
KD0-02	共有	建築物解体工事特記仕様書(2)	KS0-03	同上	宿舎 2階柱3階梁伏図、3階柱R階梁伏図
KD0-03	共有	建築物解体工事特記仕様書(3)	KS0-04	同上	宿舎 1階柱断面表、2・3階柱断面表
KD0-04	共有	アスベスト調査資料	KS0-05	同上	宿舎 梁断面リスト
KD0-05	共有	宿舎 案内図、配置図	KS0-06	同上	宿舎 断面リスト
KD0-06	1-1	宿舎 解体 仕上表	KS0-07	同上	宿舎 階段配筋詳細図
KD0-07	同上	(参考) 宿舎 既存仕上表1 (平成14年3月竣工)			
KD0-08	同上	(参考) 宿舎 既存仕上表2 (平成14年3月竣工)			
KD0-09	同上	宿舎 既存1・2階平面図			
KD0-10	同上	宿舎 既存3階・屋根伏図			
KD0-11	同上	宿舎 既存立面図			
KD0-12	同上	宿舎 既存断面詳細図			
KD0-13	同上	宿舎 既存 矩計図			
KD0-14	同上	宿舎 既存平面詳細図			
KD0-15	同上	宿舎 既存展開図1			
KD0-16	同上	宿舎 既存展開図2			
KD0-17	同上	改修平面図、2・3階既存床伏図、改修天井伏図、既存1階床伏図			
KD0-18	同上	宿舎 既存建具キープラン、既存建具表			
KD0-19	同上	宿舎 1～3階キープラン (平成14年4月竣工)			
KD0-20	同上	宿舎 既存建具改修 AW-4A・4B、M-1 (平成14年4月竣工)			
KD0-21	同上	宿舎 既存建具改修 PW-1・2・3 (平成14年4月竣工)			
KD0-22	1-2,3,4	署長宿舎、物置、拾得物倉庫、解体仕上表	電気設備		
KD0-23	1-2	宿舎(署長宿舎)仕上表、平面図、立面図、基礎・小屋・天井伏図	KE0-01	共有	配置図
KD0-24	1-2	宿舎(署長宿舎)平面図詳細図、矩計図	KE0-02	1-1	宿舎 幹線・共同電灯設備 1・2階平面図
	1-6	物置 平面図、立面図、基礎・小屋伏図、矩計図	KE0-03	同上	宿舎 幹線・共同電灯設備 3階・塔屋平面図
KD0-25	1-2	宿舎(署長宿舎)既存建具キープラン、既存建具表	KE0-04	同上	宿舎 分電盤結線図・照明器具参考姿図
KD0-26	1-2	宿舎(署長宿舎)既存展開図	KE0-05	同上	宿舎 各戸 電灯・コンセント設備平面図
KD0-27	1-3	宿舎 物置 平面図、立面図、基礎・小屋・屋根伏図、矩計図	KE0-06	同上	宿舎 テレビ共聴・水道検針設備 1・2階平面図
	1-4	拾得物倉庫 平面図、立面図、基礎・小屋・屋根伏図、矩計図	KE0-07	同上	宿舎 テレビ共聴・水道検針設備 3階・塔屋平面図
KD0-28	1-5	自転車置場	KE0-08	1-2	宿舎(署長宿舎) 照明器具参考姿図
	1-7	ボンベ庫	KE0-09	同上	宿舎(署長宿舎) 電灯・コンセント設備平面図
	1-14	既存門扉	KE0-10	1-4	拾得物倉庫 電灯設備平面図
KD0-29	1-8	地下浄化槽1			
KD0-30	1-9	地下浄化槽2			
	1-10	地下排水槽	機械設備		
KD0-31	1-8~18		KM0-01	共有	配置図
		外構撤去 平面図 撤去アスファルト求積図、平面図	KM0-02	1-1	宿舎 給水設備系統図
KD0-32	1-11	1～5号フェンス	KM0-03	同上	宿舎 衛生設備1・2階平面図
	1-15-2	コンクリート土間	KM0-04	同上	宿舎 衛生設備3階・塔屋平面図
	1-18	ゴミ保管庫移設	KM0-05	同上	宿舎 衛生設備詳細図
			KM0-06	同上	宿舎 換気設備1・2階平面図
KD0-33	共有	(参考) 仮設計画 平面図	KM0-07	同上	宿舎 換気設備3階平面図
KD0-34	共有	(参考) 山留め計画図 (参考) 仮設計画説明図	KM0-08	1-2	宿舎(署長宿舎) 衛生設備平面図
KD0-35	共有	解体後 敷地整地平面図			

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 タイトル 図面リスト	縮尺	区分	図面番号
									意匠図	KD0-00

建築物解体工事特記仕様書		I. 工事概要		II 解体工事仕様		III 解体工事仕様		IV 解体工事仕様		V 解体工事仕様		VI 解体工事仕様		VII 解体工事仕様		VIII 解体工事仕様		IX 解体工事仕様		X 解体工事仕様																																																																																																																																
<p>1. 工事場所 紫波郡紫波町桜町字大坪51番2</p> <p>2. 敷地面積 2,372.87㎡</p> <p>3. 工事種目 建物解体工事</p> <p>4. 工事内容 建物解体概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>構造・規模</th> <th>建築面積</th> <th>延べ面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-1 宿舍建物 1棟</td> <td>RC造3階建て</td> <td>RC杭300φ 杭引抜き</td> <td>297.93㎡ 739.23㎡</td> </tr> <tr> <td>1-2 番長宿舎 1棟</td> <td>木造平家建て(在来工法)</td> <td>布基礎コンクリート造</td> <td>84.99㎡ 76.44㎡</td> </tr> <tr> <td>1-3 物置1(宿舎用) 1棟</td> <td>木造平家建て(在来工法)</td> <td>布基礎コンクリート造</td> <td>59.62㎡ 59.62㎡</td> </tr> <tr> <td>1-4 拾得物倉庫</td> <td>木造平家建て(在来工法)</td> <td>布基礎コンクリート造</td> <td>23.18㎡ 23.18㎡</td> </tr> <tr> <td>1-5 自転車置場 1棟</td> <td>鉄骨造平家建て</td> <td>布基礎コンクリート造+独立基礎</td> <td>16.80㎡ 16.80㎡</td> </tr> <tr> <td>1-6 物置2(番宿用) 1棟</td> <td>木造平家建て(在来工法)</td> <td>布基礎コンクリート造</td> <td>4.96㎡ 4.96㎡</td> </tr> <tr> <td>1-7 ポンペ庫(LPガス収納) 1棟</td> <td>コンクリート造</td> <td>布基礎コンクリート造</td> <td>9.53㎡ 9.53㎡</td> </tr> <tr> <td>1-8~18 外構及び工作物</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-19 新築 仮眠室棟</td> <td>鉄骨造平家建て</td> <td>布基礎コンクリート造</td> <td>1棟 54.09㎡ 54.09㎡</td> </tr> <tr> <td></td> <td>既製品鋼製物置延べ面積</td> <td>6.73㎡×2棟</td> <td>13.46㎡ 13.46㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>別図参照(特記仕様書 意匠図 構造図)</p>		用途	構造・規模	建築面積	延べ面積	1-1 宿舍建物 1棟	RC造3階建て	RC杭300φ 杭引抜き	297.93㎡ 739.23㎡	1-2 番長宿舎 1棟	木造平家建て(在来工法)	布基礎コンクリート造	84.99㎡ 76.44㎡	1-3 物置1(宿舎用) 1棟	木造平家建て(在来工法)	布基礎コンクリート造	59.62㎡ 59.62㎡	1-4 拾得物倉庫	木造平家建て(在来工法)	布基礎コンクリート造	23.18㎡ 23.18㎡	1-5 自転車置場 1棟	鉄骨造平家建て	布基礎コンクリート造+独立基礎	16.80㎡ 16.80㎡	1-6 物置2(番宿用) 1棟	木造平家建て(在来工法)	布基礎コンクリート造	4.96㎡ 4.96㎡	1-7 ポンペ庫(LPガス収納) 1棟	コンクリート造	布基礎コンクリート造	9.53㎡ 9.53㎡	1-8~18 外構及び工作物	一式			1-19 新築 仮眠室棟	鉄骨造平家建て	布基礎コンクリート造	1棟 54.09㎡ 54.09㎡		既製品鋼製物置延べ面積	6.73㎡×2棟	13.46㎡ 13.46㎡	<p>⑧ 施工調査</p> <p>○分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイムル、クロソライト、トリモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td> <td>JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 仕上表による ○ 8 箇所 ・ 箇所</p> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ○ 図示 仕上表 建築物石綿含有建材調査者が調査箇所を選定する。(1.5.2)</p> <p>施工数量調査 (1.5.2)</p> <p>調査範囲に ○ 解体範囲全て(解体前、解体後) 調査方法に ○ 設計数量表及び設計図面との照合(解体前) ○ 全引抜き長さ検尺(杭解体後) ○ その他部位マニフェスター覧数量計算書作成(解体後)</p> <p>調査報告書の提出部数 ○ 2部</p> <p>○ 埋設物試験調査 地下埋設工作物の位置確認を目的とする。 [1-8] 地下浄化槽1 [1-9] 地下浄化槽2 [1-10] 地下排水槽</p> <p>技能士 (1.6.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工事種別</th> <th>職 種</th> <th>技能検定の作業の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>と び</td> <td>○とび作業</td> </tr> <tr> <td>給・排水工事</td> <td>配 管</td> <td>○建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造 園</td> <td>○造園工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>技術検査 (1.7.2) 工事施工途中の技術検査の実施 ・行わない ○行う(○実施回数等は発注者の指示による)</p>		材 料 名	定性分析方法	定量分析方法	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4	適用工事種別	職 種	技能検定の作業の種別	仮設工事	と び	○とび作業	給・排水工事	配 管	○建築配管作業	植栽工事	造 園	○造園工事作業			・			・	<p>⑨ 施工</p> <p>⑩ 工事検査</p>		<p>① 騒音・粉塵等の対策 (2.2.1)</p> <p>② 足場等 (2.2.2)</p> <p>「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>外部足場 ○枠組足場 ・単管足場</p> <p>監督職員事務所 (2.3.1) ・設ける(規模、仕上、備品及び数量等は現場説明書による) ○設けない (2.4.3) (3.9.1)</p> <p>山留め (2.4.3) (3.9.1) ○設ける(設置範囲、工法、仕様、深さ等は図示による) 鋼矢板等の抜き後の処理 ○直ちに砂等で充填する ○地下浄化槽1、2 ○ 図示による 4周 自立式鋼矢板打込み 山留め工法(鋼矢板自立 山留計算書提出のこと)</p> <p>工事用水 (構内既存の施設) ・利用できる(・有償 ・無償) ○利用できない 工事用電力(構内既存の施設) ・利用できる(・有償 ・無償) ○利用できない</p> <p>浄化槽、排水槽等 (3.2.1) ○解体共通仕様書3.2.1(コ)による事前措置を行う オイルタンク等 ○解体共通仕様書3.2.1(サ)による事前措置を行う</p> <p>解体の方法 ○手作業 ○手作業及び機械による作業 (3.9.1)</p> <p>杭の解体 ○行う(・杭頭から mまで ○全長) 杭の種別、径、長さ、撤去範囲等 ○ 図示による 杭の解体方法 ○引抜き工法() ○粉碎による解体 ○図示による 引抜き後の処理 ・直ちに砂等で充填する ○杭伏図 特記による (3.10.1)</p> <p>解体する工作物等 詳細は、図面番号 K00-05による (3.10.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>解体範囲、構造、仕様、寸法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○地下浄化槽1、2 排水槽</td> <td>○図示による</td> </tr> <tr> <td>○1-11~17</td> <td>○図示による</td> </tr> <tr> <td>○1-18 ゴミ保管庫移設</td> <td>○図示による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 図示による</td> </tr> </tbody> </table>		名 称	解体範囲、構造、仕様、寸法等	○地下浄化槽1、2 排水槽	○図示による	○1-11~17	○図示による	○1-18 ゴミ保管庫移設	○図示による	・	・ 図示による	<p>⑤ 構内舗装、樹木等 (3.11.1)</p> <p>○構内舗装の解体 ○アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 ・図示による 解体の範囲、仕様、寸法等 樹木の伐採根伐及び移植 ○行う(範囲、樹種、寸法、移植場所等:図示による)</p> <p>地下埋設物及び埋設配管の解体 (3.12.1) ○行う(範囲、種別、仕様、寸法等:図示による)</p> <p>解体後の埋戻し及び盛土 (3.13.1) ○行う 整地高さ ・現状G.L. ○ 図示による 埋戻し及び盛土の材料 ○山砂の類(購入良質土) ・山砂の類 ・他現場の建設発生土の中の良質土 ・再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 ・荒整地のみ行う ・行わない</p>		<p>④ 章 建設廃棄物の処理</p> <p>① 再資源化 (4.4.1)</p> <p>再資源化する建設廃棄物の処理施設名称 (4.4.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建設廃棄物の種類</th> <th>中間処理施設又は再資源化施設の名称等(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○コンクリート</td> <td>南古川重機 岩手県盛岡市川又字赤坂12番161</td> </tr> <tr> <td>○コンクリート及び鉄から成る建設資材</td> <td>南古川重機 岩手県盛岡市川又字赤坂12番161</td> </tr> <tr> <td>○アスファルトコンクリート</td> <td>南古川重機 岩手県盛岡市川又字赤坂12番161</td> </tr> <tr> <td>・木材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○金属類</td> <td>佐藤興産 岩手県盛岡市乙部5地割320-1</td> </tr> <tr> <td>・小型二次電池</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建設廃棄物の種類</th> <th>再資源化の有無</th> <th>再資源化施設の名称等(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・水銀使用ランプ</td> <td>・する ○しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○硬質ポリ塩化ビニル管・継手</td> <td>・する ○しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ガラス</td> <td>○する ・しない</td> <td>佐藤興産</td> </tr> </tbody> </table> <p>木材を指定建設資材廃棄物として縮減(焼却)する場合 ○適用可(縮減する) ・縮減しない</p> <p>再資源化して現場利用する建設廃棄物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>利用する用途、箇所等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○仮眠室棟基礎残土</td> <td>浄化槽1解体後の埋戻し土</td> </tr> </tbody> </table> <p>※鉄筋コンクリートを現場で破砕し、再生クラッシュランとして利用する場合は、標準仕様書表22.3.11によることとし、すりへり減量(JIS A 1121)を50%以下とする。(4.4.2)</p> <p>広域認定廃棄物の活用 (4.4.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>廃棄物の種類</th> <th>処理施設の名称等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 最終処分場 (4.4.3)</p> <p>※処分施設は受注者の選定により、施工計画書により監督職員に報告する。 ○ 安定型最終処分 (4.4.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>廃棄物の種類</th> <th>処分施設の名称等(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石膏ボード類</td> <td>いわてクリンセンター 奥州市江刺岩谷堂宇大沢田113</td> </tr> <tr> <td>7ｽﾞｽﾄ含有建材(ｸﾞﾗﾝﾄﾞ)</td> <td>樋下建設 岩手県盛岡市川目2地割1番地3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>いわてクリンセンター 奥州市江刺岩谷堂宇大沢田113</td> </tr> </tbody> </table>		建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等(参考)	○コンクリート	南古川重機 岩手県盛岡市川又字赤坂12番161	○コンクリート及び鉄から成る建設資材	南古川重機 岩手県盛岡市川又字赤坂12番161	○アスファルトコンクリート	南古川重機 岩手県盛岡市川又字赤坂12番161	・木材		○金属類	佐藤興産 岩手県盛岡市乙部5地割320-1	・小型二次電池		建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等(参考)	・水銀使用ランプ	・する ○しない		○硬質ポリ塩化ビニル管・継手	・する ○しない		○ガラス	○する ・しない	佐藤興産	種 類	利用する用途、箇所等	○仮眠室棟基礎残土	浄化槽1解体後の埋戻し土	廃棄物の種類	処理施設の名称等			廃棄物の種類	処分施設の名称等(参考)	石膏ボード類	いわてクリンセンター 奥州市江刺岩谷堂宇大沢田113	7ｽﾞｽﾄ含有建材(ｸﾞﾗﾝﾄﾞ)	樋下建設 岩手県盛岡市川目2地割1番地3		いわてクリンセンター 奥州市江刺岩谷堂宇大沢田113	<p>5 章 特別管理産業廃棄物の処理等</p> <p>1. 施工計画調査 (5.1.2~3)</p> <p>※本特記仕様書に記載する各種処理施設名称は参考であり、採用については受注者の選定により、施工計画書により監督職員に報告する。</p> <p>特別管理産業廃棄物の調査に基づき処理計画を定め、施工計画書を監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特別管理産業廃棄物</th> <th>種類</th> <th>製造所</th> <th>製造年</th> <th>型式等</th> <th>使用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・分析調査 ・行う ・行わない (5.4.1)</p> <p>PCBを含む機器類の処理 ・微量PCBの分析調査 ・行う(調査材料名:図示 調査箇所:図示)</p> <p>PCB含有シーリング材の処理 ・分析調査 ・行う(調査材料名:図示 調査箇所:図示) ・撤去箇所、範囲等は図示による。</p> <p>廃油の処分方法 ・焼却処分 ・中間処理施設で再生処理 廃酸、廃アルカリの処理 ・中和処理 ・焼却処分 ・中間処理施設で再生処理</p> <p>ダイオキシン類の処理 サンプリング調査の適用 ・適用する ・適用しない 解体及び処分方法 ・関係法令に基づき施工計画書を作成の上、監督職員に提出する。</p>		特別管理産業廃棄物	種類	製造所	製造年	型式等	使用箇所							<p>① 適用基準 (1.1.4)</p> <p>1) 図面、本特記仕様書、解体共通仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ○公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) ○公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)</p> <p>2) 本特記仕様書における「標準詳細図」とは次の基準を示す。 建築工事標準詳細図(令和4年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 監修</p> <p>○適用する (1.1.4)</p> <p>③ 工事の記録等 (1.2.3)</p> <p>1 報告に用いる書式等 ※監督職員と協議による 2 工事写真 建築工事 写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック(令和5年版)による。</p> <p>④ 工事現場管理 (1.3.1~1.3.3)</p> <p>解体施工に携わる下請人について、「建設リサイクル法」に基づく要件を証明する資料を監督職員に提出する。 建設副産物対策等の責任者を選任して監督職員に報告する。 電気保安技術者 ・適用する ○適用しない</p> <p>⑤ 施工条件 (1.3.5)</p> <p>・工事用車両の駐車場及び資機材置場</p> <p>○解体共通仕様書1.3.5以外の施工条件 ○図示による ○隣接する紫波警察署業務に支障の無いよう解体工事を行うこと。</p> <p>⑥ 発生材の処理 (1.3.10)</p> <p>○発注者に引渡しを要するもの ・ 金属類、○ PCB含有物 ○工事現場において再利用及び再資源化を図るもの ○図示による</p> <p>⑦ 石綿含有建材の調査 (1.4.1)</p> <p>石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲(・ ○図示 仕上表) 貸与資料(○ 紫波警察署庁舎ほか解体工事に伴うアスベスト含有分析業務報告書</p>		<p>製 図 担 当 検 印</p> <p>特記</p> <p>年 月 日</p> <p>設計番号</p> <p>図面内容</p> <p>建築物解体工事 特記仕様書(1)</p> <p>縮尺</p> <p>区 分</p> <p>意匠図</p> <p>図面番号</p> <p>K D O - 0 1</p>	
用途	構造・規模	建築面積	延べ面積																																																																																																																																																	
1-1 宿舍建物 1棟	RC造3階建て	RC杭300φ 杭引抜き	297.93㎡ 739.23㎡																																																																																																																																																	
1-2 番長宿舎 1棟	木造平家建て(在来工法)	布基礎コンクリート造	84.99㎡ 76.44㎡																																																																																																																																																	
1-3 物置1(宿舎用) 1棟	木造平家建て(在来工法)	布基礎コンクリート造	59.62㎡ 59.62㎡																																																																																																																																																	
1-4 拾得物倉庫	木造平家建て(在来工法)	布基礎コンクリート造	23.18㎡ 23.18㎡																																																																																																																																																	
1-5 自転車置場 1棟	鉄骨造平家建て	布基礎コンクリート造+独立基礎	16.80㎡ 16.80㎡																																																																																																																																																	
1-6 物置2(番宿用) 1棟	木造平家建て(在来工法)	布基礎コンクリート造	4.96㎡ 4.96㎡																																																																																																																																																	
1-7 ポンペ庫(LPガス収納) 1棟	コンクリート造	布基礎コンクリート造	9.53㎡ 9.53㎡																																																																																																																																																	
1-8~18 外構及び工作物	一式																																																																																																																																																			
1-19 新築 仮眠室棟	鉄骨造平家建て	布基礎コンクリート造	1棟 54.09㎡ 54.09㎡																																																																																																																																																	
	既製品鋼製物置延べ面積	6.73㎡×2棟	13.46㎡ 13.46㎡																																																																																																																																																	
材 料 名	定性分析方法	定量分析方法																																																																																																																																																		
	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4																																																																																																																																																		
適用工事種別	職 種	技能検定の作業の種別																																																																																																																																																		
仮設工事	と び	○とび作業																																																																																																																																																		
給・排水工事	配 管	○建築配管作業																																																																																																																																																		
植栽工事	造 園	○造園工事作業																																																																																																																																																		
		・																																																																																																																																																		
		・																																																																																																																																																		
名 称	解体範囲、構造、仕様、寸法等																																																																																																																																																			
○地下浄化槽1、2 排水槽	○図示による																																																																																																																																																			
○1-11~17	○図示による																																																																																																																																																			
○1-18 ゴミ保管庫移設	○図示による																																																																																																																																																			
・	・ 図示による																																																																																																																																																			
建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等(参考)																																																																																																																																																			
○コンクリート	南古川重機 岩手県盛岡市川又字赤坂12番161																																																																																																																																																			
○コンクリート及び鉄から成る建設資材	南古川重機 岩手県盛岡市川又字赤坂12番161																																																																																																																																																			
○アスファルトコンクリート	南古川重機 岩手県盛岡市川又字赤坂12番161																																																																																																																																																			
・木材																																																																																																																																																				
○金属類	佐藤興産 岩手県盛岡市乙部5地割320-1																																																																																																																																																			
・小型二次電池																																																																																																																																																				
建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等(参考)																																																																																																																																																		
・水銀使用ランプ	・する ○しない																																																																																																																																																			
○硬質ポリ塩化ビニル管・継手	・する ○しない																																																																																																																																																			
○ガラス	○する ・しない	佐藤興産																																																																																																																																																		
種 類	利用する用途、箇所等																																																																																																																																																			
○仮眠室棟基礎残土	浄化槽1解体後の埋戻し土																																																																																																																																																			
廃棄物の種類	処理施設の名称等																																																																																																																																																			
廃棄物の種類	処分施設の名称等(参考)																																																																																																																																																			
石膏ボード類	いわてクリンセンター 奥州市江刺岩谷堂宇大沢田113																																																																																																																																																			
7ｽﾞｽﾄ含有建材(ｸﾞﾗﾝﾄﾞ)	樋下建設 岩手県盛岡市川目2地割1番地3																																																																																																																																																			
	いわてクリンセンター 奥州市江刺岩谷堂宇大沢田113																																																																																																																																																			
特別管理産業廃棄物	種類	製造所	製造年	型式等	使用箇所																																																																																																																																															

⑥ 章 石綿含有建材の除去等	① 石綿粉じん濃度測定	<p>石綿粉じん濃度測定 レベル3</p> <p>階段室全体 除去工事 検体数 9地点×2箇所 = 18地点 署長宿舍壁除去工事 全体 施工中 外部1箇所+中1箇所 合計2検体</p> <p>○ 階段室1箇所についての測定箇所 測定箇所 (8箇所 9地点)</p> <p>○ 石綿粉じん濃度測定 (6.1.3) 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>測定1</td> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>○ 計 1 点</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>測定2</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>○ 計 1 点</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>測定3</td> <td rowspan="4">処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>○ 計 1 点</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>測定4</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>○ 計 1 点</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>測定5</td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速 1m/sec以下の位置 ○ 計 1 点</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>測定6</td> <td>処理作業室外 ○ 施工区画周辺 ○ 敷地境界</td> <td>○ 計 2 点</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>○ 処理作業室内</td> <td>○ 計 1 点</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>測定8</td> <td>処理作業後シート</td> <td>処理作業室内</td> <td>○ 計 1 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・ 計 点</td> </tr> </table> <p>測定方法 ○ 自動測定器による測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>・測定4 ・測定5</td> <td>粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計) パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </table> <p>・ JIS K 3850-1 に基づいた測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径 (mm)</th> <th>試料の吸引流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>○ 測定4 ・ 測定5</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・ 測定</td> <td>25</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・ 測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </table>	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)	○	測定1	処理作業前	処理作業室内	○ 計 1 点	○	測定2	調査対象室外部の付近	○ 計 1 点	○	測定3	処理作業中	処理作業室内	○ 計 1 点	○	測定4	セキュリティゾーン入口	○ 計 1 点	○	測定5	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置 ○ 計 1 点	○	測定6	処理作業室外 ○ 施工区画周辺 ○ 敷地境界	○ 計 2 点	○	測定7	処理作業後 (シート養生中)	○ 処理作業室内	○ 計 1 点	○	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	○ 計 1 点	・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・ 計 点	測定名称	測定方法	・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計) パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	○ 測定4 ・ 測定5	25	5	30	・ 測定	25	10	120	・ 測定	47	10	240	<p>○ 石綿含有仕上げ塗材の除去 (6.6.1~6.6.4) 除去対象範囲 ○ 図示 仕上表 石綿含有仕上げ塗材の除去工法 ・ 電気グラインダー工法 (・ 湿潤化 ・) ・ 高圧洗浄工法 ○ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法</p> <p>除去した石綿含有仕上げ塗材 (汚泥) の処理 ○ 埋立処分 (管理型 最終処分場)</p> <p>工事計画フロー (参考)</p> <ol style="list-style-type: none"> 事前調査の実施 1) 工事計画・要領書の準備 2) 必要機器・資材の調達 事前調査結果の表示 1) 除去工事実施の表示 2) 除去工事前の粉塵測定 仮設足場の組立て 1) 作業ブーム及びブーム内に必要に応じて仮設足場を設置する。 2) 各階作業場所も同様とする。 管理区域の養生 1) 床養生 (アラックシート 2枚重 (t0.15mm以上)) 2) 設備養生 (使用機材等の養生) 3) 見直し (養生完了後に穴や、やり残し等が無いかを最終確認する。) 各設備・機材の設置 1) 真空掃除機及びディスクグラインダーの設置 (作業前点検を行い、確認次第作業場所に機材を設置する。) 2) 薬剤噴霧装置の設置 (アラックシートにて湿潤材の散布) 内壁塗材の除去 1) 除去部へ湿潤材を散布 2) 集塵装置付きディスクグラインダーでの除去作業 (作業中は飛散無の確認 (デジタル粉塵計使用) 作業中は常に湿潤材を散布する。電動ガン又は噴霧器を使う。 ※飛散が確認された場合は直ちに作業を中止し、固化材を散布) 内壁塗材の密閉処理 1) 真空掃除機内の廃棄物の回収及び袋詰め 2) 除去時湿潤材散布 3) 除去後は固化処理 (固化材) 4) 廃石綿用に2重梱包する。 作業主任者巡回 ※事前調査を実施する資格を有する者による確認 1) 撤去/運搬/袋詰状況確認 2) 上記完了状況の確認 清掃/資機材撤去 1) 作業場内の清掃 2) 床養生シート面への固化処理 3) 除去面への固化剤の散布 4) 使用工具等の清掃・搬出 (工具等は使用後点検を実施し、点検表に記入し搬出する。) 養生解体前の粉塵測定 1) 養生解体・各設備・機材 施設内の工事後清掃/測定 2重梱包材 (廃石綿袋) 搬出 1) 保管庫内の廃材を運搬車両へ積込指定処分場へ搬出する。 2) 搬出後保管庫は解体する。 仮設足場の解体・その他の清掃 足場組み立てと同様、周辺機器に注意して足場解体を行う。後に現場周辺の清掃を行い、最終処分場に運出処分する。 工事完了後の粉塵測定 1) クリーンルームを設置していた場所にて粉塵測定を実施 仮設足場の撤去 1) 不要な資機材等を撤去する。 	<p>○ 関係諸官庁への届出・関連法令を遵守し飛散防止に努める。処分は適切に行うこと。</p> <p>○ 施工手順は、監督員の承認を得る事。</p> <p>○ 施工前確認事項 1. デスクグラインダー (下地コンクリート面に達するまで完全に除去できるか) 2. 養生内での使用による有機溶剤中毒等の恐れ (換気、防護マスク着用を検討) 3. 臭気の影響 4. 作業性など</p> <p>○ 施工共通事項 1. 石綿作業主任者・除去作業員・特別管理産業廃棄物管理責任者を選定すること。 2. 大防法・安衛法及び石綿則に定める表示および掲示を行う。 3. 作業に応じた適切な呼吸用保護具及び保護衣・作業衣の着用。 4. 事前調査・作業記録 は保存すること。</p> <p>○ 養生 1. 隔離工法としない (剥離剤使用により) 2. 解体足場 (各段) に養生シート (アラック製 t=0.15) のほか、足場上部も養生シートで飛散防止を図る。 3. 足場下部には、シート (アラック製 t=0.15) + ラワン合板 t=5.5 を敷き飛散防止を図る。 4. 施工区から外に出る際は、作業着に付着している可能性がある粉塵を除去する計画をすること。</p> <p>○ その他 1. 集積袋は、アラック製 (t=0.15mm以上) または同等品以上とし、二重袋詰めとすること。 2. 袋には石綿廃棄物 (特別管理産業廃棄物) 及び取扱注意事項を明記すること。 3. 特記仕様書に明記してある大気分析を実施すること。</p>	<p>① 撤去</p> <p>※特記なき部分は建築物解体特記仕様書と併せて適用する。</p> <p>1. 一般事項 撤去前に内容物 (発電設備燃料等) の回収を要する機器、配管等の処置 ・ 事前に回収し、洗浄等の処置を行う</p> <p>② 撤去 ○ 図示された機器類、配管配線、ケーブルの解体を行う。 (地下埋設物、埋設配管を含む)</p> <p>○ 下記の廃棄物等及び機器類は内外装材の解体前に取外し回収する。 これ以外の配管配線、機器類はコンクリート及び配管配線、機器類はコンクリート及び内外装材と同時に解体してよい。</p> <p>1) 廃棄物等 再資源化を図るもの ○ 小型 二次電池 ○ 蛍光灯及び HID ランプ (水銀リサイクル共)</p> <p>特別管理産業廃棄物 ・ アスベスト含有材 () ○ PCB 含有機器 (○ 蛍光灯安定器 ・ 変圧器 ・) ・ 廃油 (・ 発電機) ○ 廃アルカリ (・ アルカリ蓄電池 ○ ニッケル水素電池)</p> <p>特殊な建設副産物 ・ イオン化式感知器 ・ 六ふっ化硫黄 (SF6) ガス (・ ガス絶縁開閉器 ・)</p> <p>2) 機器類 ○ 受電装置 ○ 直流電源装置 ・ 発電装置</p>
	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																		
○	測定1	処理作業前	処理作業室内	○ 計 1 点																																																																			
○	測定2		調査対象室外部の付近	○ 計 1 点																																																																			
○	測定3	処理作業中	処理作業室内	○ 計 1 点																																																																			
○	測定4		セキュリティゾーン入口	○ 計 1 点																																																																			
○	測定5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置 ○ 計 1 点																																																																			
○	測定6		処理作業室外 ○ 施工区画周辺 ○ 敷地境界	○ 計 2 点																																																																			
○	測定7	処理作業後 (シート養生中)	○ 処理作業室内	○ 計 1 点																																																																			
○	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	○ 計 1 点																																																																			
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・ 計 点																																																																			
測定名称	測定方法																																																																						
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計) パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																						
測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																				
○ 測定4 ・ 測定5	25	5	30																																																																				
・ 測定	25	10	120																																																																				
・ 測定	47	10	240																																																																				
② 石綿含有建材の除去	<p>○ 含有建材は、仕上表の特記による。</p> <p>○ 石綿含有吹付け材の除去 (6.3.2~3) 除去対象範囲 ○ 図示による 除去工法 ※6.3.2(1)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ○ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>○ 石綿含有保温材等の除去 (6.4.1) 除去対象範囲 ○ 図示による 除去工法 ・ 切断又は破砕して除去 ○ 手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ○ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>○ 石綿含有成形板等の除去 (6.5.1) (6.5.3) 飛散防止の養生 ○ 行う (○ 養生シート ・) ・ 行わない 除去対象範囲 ・ 図示による 除去した石綿含有成形板等の処分 ○ 石綿含有せっこうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) ○ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 ○ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p>	<p>7 章 特殊な建設副産物の処理</p> <p>1. 施工計画調査 (7.1.3) 特殊な建設副産物の調査に基づき処理計画を定め、施工計画書を監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th>特殊な建設副産物</th> <th>種類、製造所、製造年、型式等等</th> <th>使用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ フロン、ハロン</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 六ふっ化硫黄ガス</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PFOS</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 特定化学物質</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 分析調査 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>2. 特殊な建設副産物の処理等 (7.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>特殊な建設副産物</th> <th>処理及び回収等</th> </tr> <tr> <td>・ 冷媒フロン</td> <td>※登録を受けた回収業者に回収委託</td> </tr> <tr> <td>・ 建材用断熱フロン</td> <td>※焼却による破壊処理可能な処理施設</td> </tr> <tr> <td>・ ハロン</td> <td>※ハロン消火設備設置業者等に処理委託</td> </tr> <tr> <td>・ イオン化式感知器</td> <td>※法令に基づき製造業者等に処理委託</td> </tr> <tr> <td>・ 六ふっ化硫黄ガス</td> <td>※製造業者等に処理委託</td> </tr> <tr> <td>・ PFOS</td> <td>※廃棄物処理業者に処理委託</td> </tr> <tr> <td>・ 特定化学物質</td> <td>※関係法令に基づき、処理業者に処理委託</td> </tr> </table>	特殊な建設副産物	種類、製造所、製造年、型式等等	使用箇所	・ フロン、ハロン			・ 六ふっ化硫黄ガス			・ PFOS			・ 特定化学物質			特殊な建設副産物	処理及び回収等	・ 冷媒フロン	※登録を受けた回収業者に回収委託	・ 建材用断熱フロン	※焼却による破壊処理可能な処理施設	・ ハロン	※ハロン消火設備設置業者等に処理委託	・ イオン化式感知器	※法令に基づき製造業者等に処理委託	・ 六ふっ化硫黄ガス	※製造業者等に処理委託	・ PFOS	※廃棄物処理業者に処理委託	・ 特定化学物質	※関係法令に基づき、処理業者に処理委託	<p>電気設備</p>																																					
特殊な建設副産物	種類、製造所、製造年、型式等等	使用箇所																																																																					
・ フロン、ハロン																																																																							
・ 六ふっ化硫黄ガス																																																																							
・ PFOS																																																																							
・ 特定化学物質																																																																							
特殊な建設副産物	処理及び回収等																																																																						
・ 冷媒フロン	※登録を受けた回収業者に回収委託																																																																						
・ 建材用断熱フロン	※焼却による破壊処理可能な処理施設																																																																						
・ ハロン	※ハロン消火設備設置業者等に処理委託																																																																						
・ イオン化式感知器	※法令に基づき製造業者等に処理委託																																																																						
・ 六ふっ化硫黄ガス	※製造業者等に処理委託																																																																						
・ PFOS	※廃棄物処理業者に処理委託																																																																						
・ 特定化学物質	※関係法令に基づき、処理業者に処理委託																																																																						

工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製 図 担 当 検 印	特記	年月日	図面内容	縮尺	区 分	図面番号
				設計番号				

アスベスト調査資料 総括表

■今回採取箇所

凡例

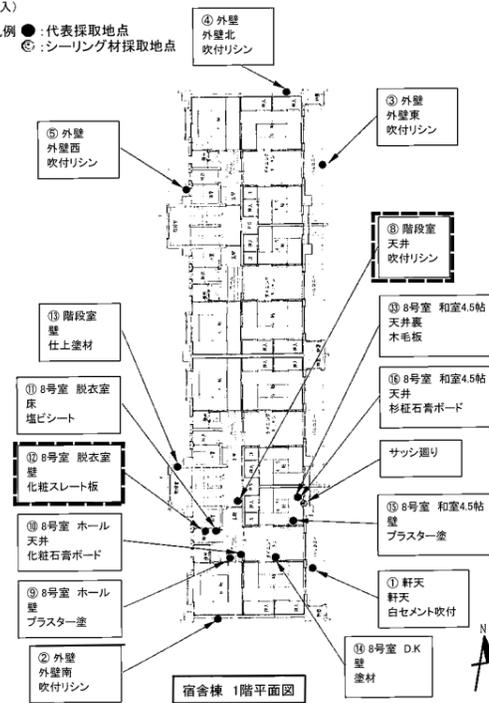
今回アスベスト検出部分を示す。

棟	通し番号	部屋名、機器	部位	材料名	レベル	調査手法	劣化度	分析結果	参照頁	備考
例)〇棟	-	地下機械室、廊下、...	(注1)	(注2)	(注3)	目視・採取	(注4)	有無、種別	検出頁数	現場の特異性等
宿舎棟 外部	54	① 軒天	軒天	白セメント吹付	-	目視・採取	-	無検出	7	-
宿舎棟 外部	55	② 外壁	外壁南	吹付リシン	-	目視・採取	-	無検出	7	-
宿舎棟 外部	56	③ 外壁	外壁東	吹付リシン	-	目視・採取	-	無検出	7	-
宿舎棟 外部	57	④ 外壁	外壁北	吹付リシン	-	目視・採取	-	無検出	7	-
宿舎棟 外部	58	⑤ 外壁	外壁西	吹付リシン	-	目視・採取	-	無検出	7	-
宿舎棟 外部	59	⑥ 袖門	袖門	吹付タイル	-	目視・採取	-	無検出	11	左側クリーム色系
宿舎棟 外部	60	⑦ 袖門	袖門	吹付タイル	-	目視・採取	-	無検出	11	右側黒色系
宿舎棟 1階	61	⑧ 階段室	天井	吹付リシン	3	目視・採取	やや劣化	クリソタイト	7	下地調整塗材から検出
宿舎棟 1階	62	⑨ 8号室 ホール	壁	プラスター塗	-	目視・採取	-	無検出	7	-
宿舎棟 1階	63	⑩ 8号室 ホール	天井	化粧石膏ボード	-	目視・採取	-	無検出	7	-
宿舎棟 1階	64	⑪ 8号室 脱衣室	床	塩ビシート	-	目視・採取	-	無検出	7	-
宿舎棟 1階	65	⑫ 8号室 脱衣室	壁	化粧スレート板	3	目視・採取	劣化なし	クリソタイト	7	-
宿舎棟 1階	66	⑬ 階段室	壁	仕上塗材	-	目視・採取	-	無検出	7	-
宿舎棟 1階	67	⑭ 8号室D.K	壁	塗材	-	目視・採取	-	無検出	7	-
宿舎棟 1階	68	⑮ 8号室 和室4.5帖	壁	プラスター塗	-	目視・採取	-	無検出	7	-
宿舎棟 1階	69	⑯ 8号室 和室4.5帖	天井	杉板石膏ボード	-	目視・採取	-	無検出	7	-
宿舎物置	70	⑰ 屋根	屋根	アスファルトフェルト	3	目視・採取	劣化なし	クリソタイト	8	-
宿舎物置	71	⑱ 外壁	外壁	センチュリーリシン	-	目視・採取	-	無検出	8	-
署長宿舎 外部	72	⑲ 軒裏	軒裏	大平板	3	目視・採取	劣化なし	クリソタイト、アモサイト	9	-
署長宿舎 外部	73	⑳ 軒裏	軒裏	ケイ酸カルシウム板	-	目視・採取	-	無検出	9	-
署長宿舎 外部	74	㉑ 外壁	外壁	センチュリーリシン	-	目視・採取	-	無検出	9	-
署長宿舎 1階	75	㉒ 台所	壁	塗材	-	目視・採取	-	無検出	9	-
署長宿舎 1階	76	㉓ 便所	天井	石膏ボード	-	目視・採取	-	無検出	9	-
署長宿舎 1階	77	㉔ 洗面脱衣室	天井	大平板	3	目視・採取	劣化なし	クリソタイト	9	-
署長宿舎 1階	78	㉕ ホール	天井	吸音ボード	-	目視・採取	-	無検出	9	-
署長宿舎 1階	79	㉖ 和室4.5帖	壁	京壁	3	目視・採取	劣化なし	クリソタイト	9	黄色系
署長宿舎物置	80	㉗ 屋根	屋根	アスファルトフェルト	-	目視・採取	-	無検出	10	-
取得物倉庫	81	㉘ 外壁	外壁	センチュリーリシン	-	目視・採取	-	無検出	8	-
取得物倉庫	82	㉙ 軒天	軒天	スレート板	3	目視・採取	劣化なし	クリソタイト	8	-
ボンベ庫	83	㉚ 屋根	屋根	スレート波板・小波	3	目視・採取	やや劣化	クリソタイト	10	-
ボンベ庫	84	㉛ 外壁	外壁	吹付リシン	-	目視・採取	-	無検出	10	-
署長宿舎 1階	85	㉜ 和室0帖	壁	京壁	3	目視・採取	劣化なし	クリソタイト	9	緑色系紙材から検出
宿舎棟 1階	86	㉝ 8号室 和室4.5帖	天井裏	木毛板	-	目視・採取	-	無検出	7	-

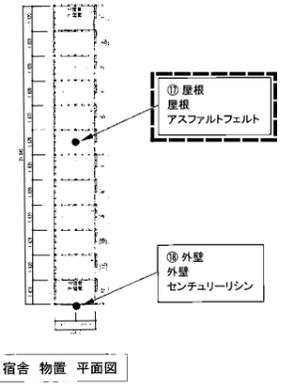
(注1) 部位欄の「天井」表記は天井仕上げ材および天井裏の見上げ上階の床下も兼ねている。
 (注2) 国土交通省「目で見えるアスベスト建材(第2版)」を参照。
 (注3) 想定されるレベルを必ず記載。レベルの定義は建設業労働災害防止協会編「石綿技術指針対応版 石綿粉じんへのばく露防止マニュアル」
 (平成24年12月22日)に掲載されている分類による。石綿含有建材ではない場合「-」と必ず記入する。
 (注4) 「劣化なし」、「やや劣化」、「劣化」の3段階で評価する。

(自由記入)

凡例 ●:代表採取地点
 ◎:シーリング材採取地点



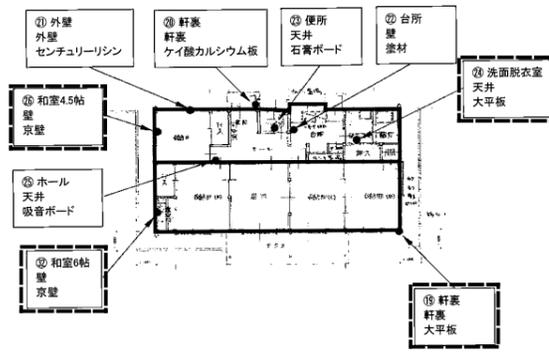
宿舎



宿舎物置 平面図

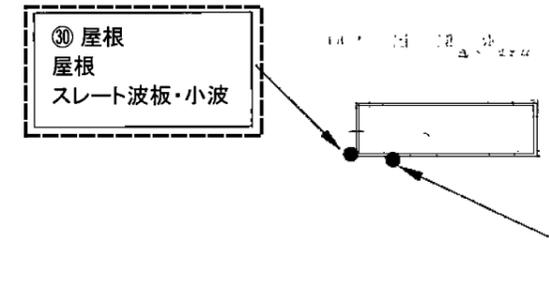


取得物倉庫 平面図

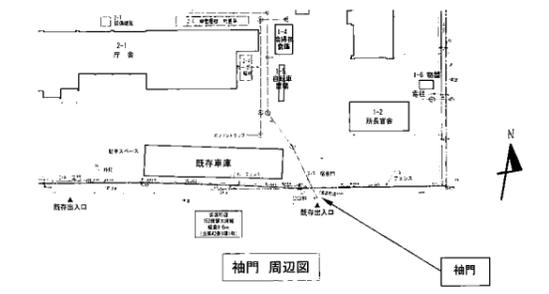


宿舎(署長)

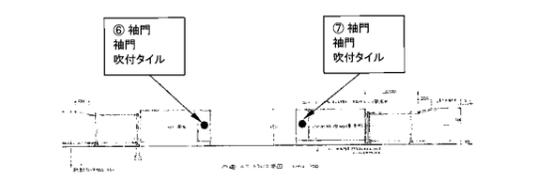
署長宿舎物置 平面図



ボンベ庫 平面図

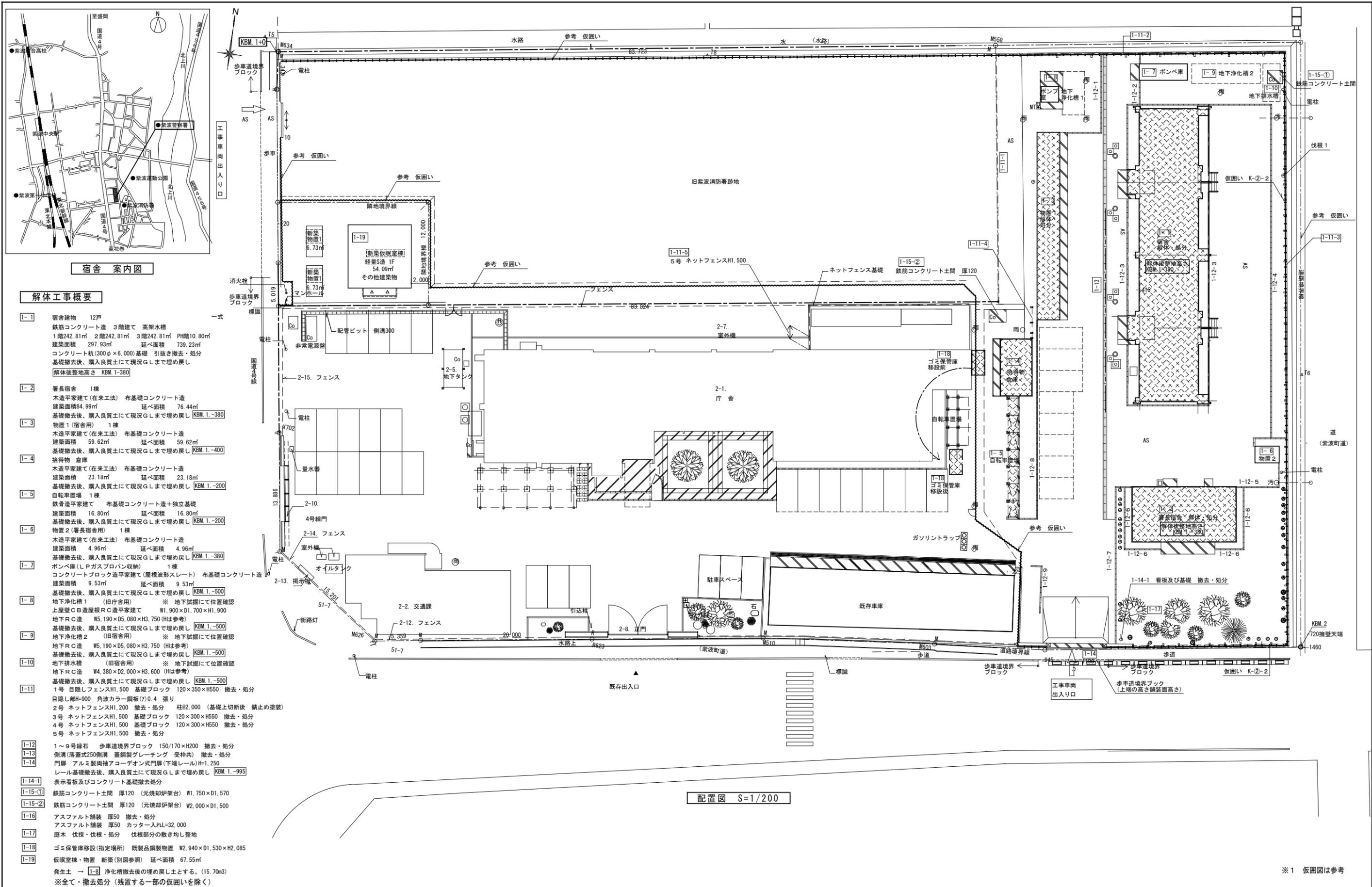


袖門 周辺図



袖門 詳細図

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製	担	検	特記	年月日	図面内容 アスベスト調査資料	縮尺 A1 1/200 A3 1/400	区	図面番号
						設計番号			分	意匠図



宿舎 案内図

解体工事概要

- 1-1 宿舎建物 12戸
鉄筋コンクリート造 3階建て 高架水槽
1階242.81㎡ 2階242.81㎡ 3階242.81㎡ PH階10.80㎡
建築面積 297.93㎡ 延べ面積 739.23㎡
コンクリート杭(300φ×6,000)基礎 引抜き撤去・処分
基礎撤去後、購入良質土にて現況GLまで埋め戻し
解体後整地高さ KBM.1-380
- 1-2 署長宿舎 1棟
木造平家建て(在来工法) 布基礎コンクリート造
建築面積84.99㎡ 延べ面積 76.44㎡
基礎撤去後、購入良質土にて現況GLまで埋め戻し KKM.1.-380
- 1-3 物置1(宿舎用) 1棟
木造平家建て(在来工法) 布基礎コンクリート造
建築面積 59.62㎡ 延べ面積 59.62㎡
基礎撤去後、購入良質土にて現況GLまで埋め戻し KKM.1.-400
- 1-4 拾得物倉庫
木造平家建て(在来工法) 布基礎コンクリート造
建築面積 23.18㎡ 延べ面積 23.18㎡
基礎撤去後、購入良質土にて現況GLまで埋め戻し KKM.1.-200
- 1-5 自転車置場 1棟
鉄骨造平家建て 布基礎コンクリート造+独立基礎
建築面積 16.80㎡ 延べ面積 16.80㎡
基礎撤去後、購入良質土にて現況GLまで埋め戻し KKM.1.-200
- 1-6 物置2(署長宿舎用) 1棟
木造平家建て(在来工法) 布基礎コンクリート造
建築面積 4.96㎡ 延べ面積 4.96㎡
基礎撤去後、購入良質土にて現況GLまで埋め戻し KKM.1.-380
- 1-7 ポンベ庫(LPガスプロパン収納) 1棟
コンクリートブロック造平家建て(屋根波形式スレート) 布基礎コンクリート造
建築面積 9.53㎡ 延べ面積 9.53㎡
基礎撤去後、購入良質土にて現況GLまで埋め戻し KKM.1.-500
- 1-8 地下浄化槽1 (旧庁舎用) ※ 地下試掘にて位置確認
上層壁C工造屋根RC造平家建て W1,900×D1,700×H1,900
地下RC造 W5,190×D5,080×H3,750(HIは参考)
基礎撤去後、購入良質土にて現況GLまで埋め戻し KKM.1.-500
- 1-9 地下浄化槽2 (旧宿舎用) ※ 地下試掘にて位置確認
地下RC造 W5,190×D5,080×H3,750(HIは参考)
基礎撤去後、購入良質土にて現況GLまで埋め戻し KKM.1.-500
- 1-10 地下排水槽 (旧宿舎用) ※ 地下試掘にて位置確認
地下RC造 W4,380×D2,000×H3,600(HIは参考)
基礎撤去後、購入良質土にて現況GLまで埋め戻し KKM.1.-500
- 1-11 1号 目隠しフェンスH1,500 基礎ブロック 120×350×H550 撤去・処分
目隠し部H-900 角波カラー鋼板(7)0.4 張り
2号 ネットフェンスH1,200 撤去・処分 柱φ2,000 (基礎上切断後 錆止め塗装)
3号 ネットフェンスH1,500 基礎ブロック 120×300×H550 撤去・処分
4号 ネットフェンスH1,500 基礎ブロック 120×300×H550 撤去・処分
5号 ネットフェンスH1,500 撤去・処分
- 1-12 1~9号緑石 歩道境界ブロック 150/170×H200 撤去・処分
- 1-13 側溝(落蓋式250側溝 蓋鋼製グレーチング 受枠共) 撤去・処分
- 1-14 門扉 アルミ製両軸アコーディオン式門扉(下端レール)H=1,250
レール基礎撤去後、購入良質土にて現況GLまで埋め戻し KKM.1.-995
- 1-14-1 表示看板及びコンクリート基礎撤去処分
- 1-15-1 鉄筋コンクリート土間 厚120 (元焼却炉架台) W1,750×D1,570
- 1-15-2 鉄筋コンクリート土間 厚120 (元焼却炉架台) W2,000×D1,500
- 1-16 アスファルト舗装 厚50 撤去・処分
アスファルト舗装 厚50 カッター入れL=32,000
- 1-17 庭木 伐採・伐根・処分 伐根部分の敷き均し整地
- 1-18 ゴミ保管庫移設(指定場所) 既製品鋼製物置 W2,940×D1,530×H2,085
- 1-19 仮眠室棟・物置 新築(別図参照) 延べ面積 67.55㎡
発生土 → 1-8 浄化槽撤去後の埋め戻し土とする。(15.70m³)
※全て・撤去処分(残置する一部の仮囲いを除く)

配置図 S=1/200

※1 仮囲図は参考

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号				

紫波署 宿舎棟
竣工 昭和50年 3月
改修竣工 平成14年 4月

① 宿舎 主要用途 共同住宅
構造種別 鉄筋コンクリート造 地上3階建
延べ面積 739.23 m²

外部仕上表

部位	工事経歴	竣工・改修年度	仕上	7μm ² 含有	備考
R1 屋根	設計	1975 (S50年)	長尺カラー鉄板	不検出	
	改修設計	2000 (H12年)	裏面ポリウレタン厚4mm瓦棒@418 アスファルトフェルト 17kg 野地板 木毛板15mm 雪止めL-40×40×5 OP(2) 塗装改修 OP(2)	不検出 施工調査① 施工調査② 施工調査③	
H1 破風	設計	1974 (S49年)	モルタル塗刷毛引アクリル系リシン吹付	不検出	
OC 軒天上	設計	1974 (S49年)	コンクリート打放 (ベニヤ板枠) 白セメント吹付	不検出	
OW 外壁	設計	1974 (S49年)	モルタル塗刷毛引アクリル系リシン吹付	不検出	
	劣化改修	2000 (H12年)	ひび割れ 注入 補修部分のみ モルタル塗刷毛引アクリル系リシン吹付	不検出	
開口部	設計	1974 (S49年)	オーダーメイドアルミサッシ 硝子トーマイ厚3mm	対象外	
	内部側サッシ	2000 (H12年)	内部樹脂サッシ PW-1.2.3 ×12 内部DK7&サッシ AW-4A ×12	対象外 対象外	
バルコニー			床 防水モルタル塗目地切仕上 手摺 100×40×16 OP(2) 笠木 防水モルタル塗金ゴテ仕上(2層)	対象外 対象外 対象外	
			モルタル塗刷毛引仕上 床下換気口600×250鉄製OP(2) 防虫網付 軒下洗砂利敷 縁石 コンクリートブロックH100mm	対象外 対象外 対象外 対象外	
外構			両袖門 コンクリート打放しビシャン仕上げの上リコン吹付け コンクリート打放の上吹付けタイル	不検出	

紫波署 宿舎 物置 12戸

竣工 昭和50年 3月
主要用途 物置
構造種別 木造 平家建
延べ床面積 39.74m² (12.02坪)
1,820×21,840 = 39,7488m² (12.02坪)

部位	工事経歴	設計・改修年度	仕上	7μm ² 含有	備考
R1 屋根	設計		長尺カラータン31# 平葺 勾配2/10 アスファルトフェルト 17kg 野地板 松板15mm	有い ^レ 3	
	設計		破風板	対象外	
軒裏(東面)	設計			対象外	
OW 外壁	設計		センチュリーリシン厚12張り (ガラスウール25mm充填)	不検出	
開口部	設計		住宅用アルミサッシ	対象外	
基礎廻り	設計		ベニヤ板打放し 床下換気孔150×300	対象外	
内部	設計		内部 床コンクリート 外壁表面あらわし 天井 野地板あらわし	対象外 対象外	
その他	設計		内部 木欄板厚25mm	対象外	

階	室名	改修経歴	床	アスベスト含有建材	巾木	アスベスト含有建材	壁	アスベスト含有建材	天井	アスベスト含有建材	廻縁	アスベスト含有建材	備考	アスベスト含有建材
共用部	水槽室	設計	モルタル防水6層 金ゴテ仕上	対象外	モルタル防水6層 金ゴテ仕上	対象外	モルタル防水6層 金ゴテ仕上		RC	モルタル塗刷毛引仕上			点検口 換気ガラリ 500×300	
	階段室	設計	モルタル塗金ゴテ目地切仕上	対象外	モルタル塗金ゴテ EP(2)	対象外	モルタル塗金ゴテ EP(2) [調査分析箇所]	不検出	RC	[モルタル塗刷毛引白セメント吹付] [調査分析箇所]	有い ^レ 3		手摺 人造石研出し ノンスリップ 鋼製 タラップ	
各階	玄関	設計	モルタル塗金ゴテ仕上	対象外	モルタル塗金ゴテ EP(2)	対象外	モルタル塗金ゴテ EP(2)	不検出	LGS19	ジブトーン 厚9mm張り			下駄箱 傘立 帽子掛	
	ホール	H13改修			対象外	杉 H=100 OP(3)	対象外	モルタル塗金ゴテ EP(2) ラスボード下地 プラスター塗		LGS19	ジブトーン 厚9mm張り		洗面器 (設備工事)	
		H13改修	既存仕上げ撤去 T17ウ合板 化粧ブラيوفローア厚12張り	対象外	OP(3)	対象外	既存仕上げの上 プラスター薄塗り厚3.0mm EP(2) [調査分析箇所]	不検出		既存撤去の上ジブトーン 厚9mm張り [調査分析箇所]	不検出			
	脱衣室	H13改修	アスファルト防水 C-3 豆砂利コンクリート 均しモルタル厚20mm ロンリュウムタイル貼り 既存仕上げ撤去の上 モルタル金コテ押さえ厚30mm 塩ビシート厚2.0mm [調査分析箇所]	施工調査④ 対象外 無し	モルタル塗金ゴテ EP(2)	木製 OP(3)	モルタル塗金ゴテ EP(2)	対象外		既存浴室間仕切コンクリート壁撤去の上 [化粧石綿スレート板張り厚5.0] [調査分析箇所]	有い ^レ 3 対象外		脱衣棚	
	浴室		アスファルト防水 C-3 豆砂利コンクリート 均しモルタル厚20mm 24角磁器タイル 既存仕上上 ユニットバス BH-1014SBWE	施工調査⑥ 対象外 対象外			75角半磁器タイル モルタル塗金ゴテ EP(2)		LGS19					
	便所	H13改修	モルタル塗金ゴテ 塩ビシート 厚2.0mm	対象外 不検出	杉 H=100 OP 既存の上OP	対象外	下張りシーリングボード厚12.5 [化粧石綿スレート板張り厚5.0] [調査分析箇所]	施工時調査 有い ^レ 3	LGS19	下地LGS19 [化粧石綿スレート板張り厚5.0] [調査分析箇所]	有い ^レ 3			
	D.K	H13改修	既存仕上げ撤去 T17ウ合板 化粧ブラيوفローア厚12張り	対象外	杉 H=100 OP 既存の上OP	対象外	木毛板厚15の上モルタル塗上VP 流し前 木毛板厚15の上100タイル貼り 既存モルタル塗上VPの上EP 流し前 既存タイル撤去上 不燃板 接着剤厚6.0	施工時調査 施工時調査 不検出 (7.5μg/l)	LGS19				既存撤去の上ジブトーン 厚9mm張り	不検出
	和室 4.5帖	H13改修	1階 木組捨張り厚15下地 2、3階 杉7-F厚80下地 タタミ敷き	対象外	木タタミ寄せ 既存の上OP	対象外	ラスボード厚9下地 プラスター塗E P モルタル塗下地の上 プラスター塗E P プラスター塗E P	不検出 (7.5μg/l)	LGS19		木廻縁			
	和室 6帖1	H13改修	1階 木組捨張り厚15下地 2、3階 杉7-F厚80下地 タタミ敷き	対象外	木タタミ寄せ 既存の上OP	対象外	ラスボード厚9下地 プラスター塗E P モルタル塗下地の上 プラスター塗E P プラスター塗E P	不検出 (7.5μg/l)	LGS19		木廻縁			
	押入 (共通)		1階木組下地耐水ベニヤ厚6.0 2、3階 木下地7ウ合板厚5.5	対象外	木組巾張り 対象外	対象外	木脚縁組下地 7ウ合板厚4.0	対象外			木脚縁組下地 7ウ合板厚3.0	対象外	木廻縁	
和室 6帖2	H13改修	1階 木組捨張り厚15下地 2、3階 杉7-F厚80下地 化粧ブラيوفローア厚12張り タタミ敷き 化粧ブラيوفローア厚12張り	対象外	木タタミ寄せ 対象外	対象外	ラスボード厚9下地 プラスター塗E P モルタル塗下地の上 プラスター塗E P プラスター塗E P	不検出 (7.5μg/l)	LGS19		木廻縁				
押入 (洋タンス)		1階木組下地耐水ベニヤ厚6.0 2、3階 木下地7ウ合板厚5.5	対象外	木組巾張り 対象外	対象外	木脚縁組下地 7ウ合板厚4.0	対象外			木脚縁組下地 7ウ合板厚3.0	不検出	木廻縁	引き出し ステンパイプ管付き	

凡例

[調査分析箇所] 解体設計時のアスベスト分析調査部分を示す。
[調査分析箇所] 解体設計時のアスベスト検出部分を示す。

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製	担	当	検	印	特記	年月日	図面内容	縮尺	区分	図面番号
							※ 定性分析については、有又は不検出(0.1%以下)					

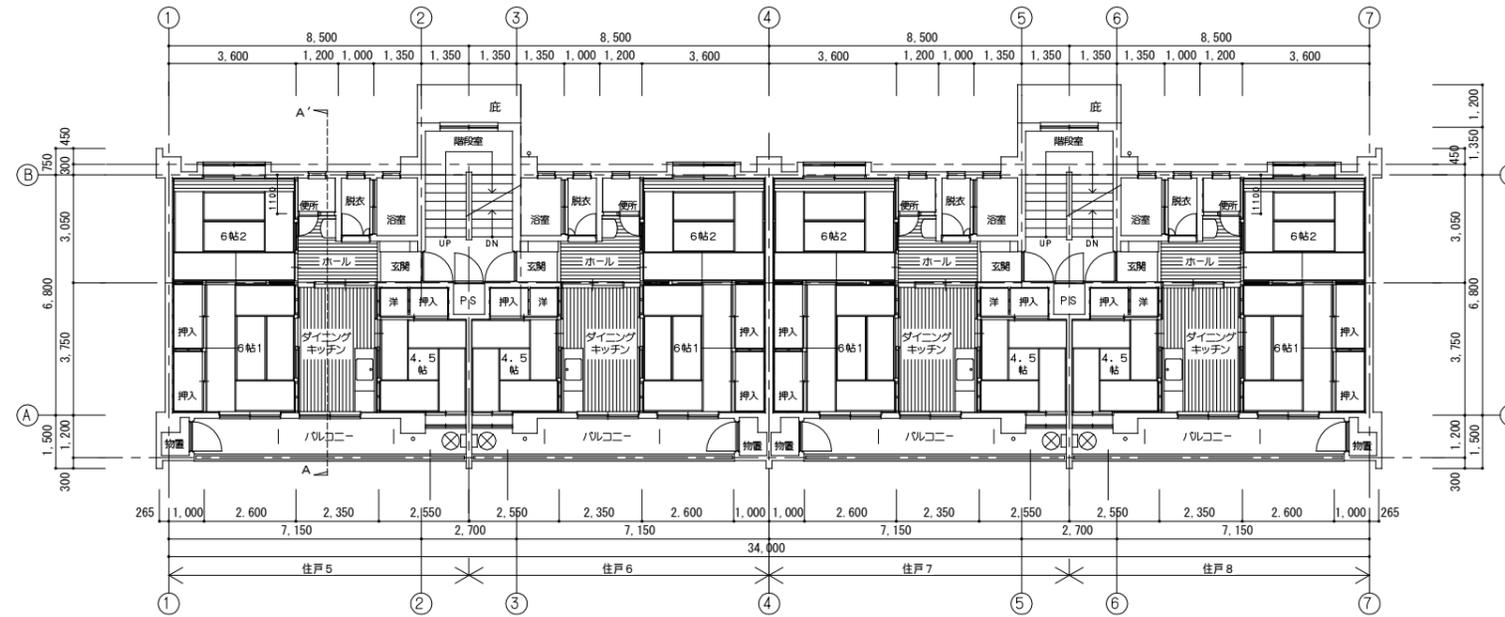
外部仕上表											
	床	基礎廻り	外壁	屋根	軒天	バルコニー	共通事項				
既存	切き：モルタル金ゴテ目地切り仕上 大定：洗い出し敷き(ア)100 緑石コンクリートブロック 1階/バルコニー階段：モルタル金ゴテ仕上 階段ノンスリップタイル 靴洗場：人造石研出仕上	モルタル刷毛引仕上 床下換気口600×250 鉄製 OP(2) 防虫網付	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 徐・庇上端：防水モルタル塗り 天井裏換気孔：100×50 協和製	三晃式瓦式カラーコート瓦葺き A号 (ア)0.3 φ418 勾配1.5/10 下地17kgアスファルトフェルト 野地板(ア)12下地 電止メ L-40×40×5 OP(2) 破傷 モルタル刷毛引アクリルリシン吹付	モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 バルコニー下地(1階) ベニヤ型枠コンクリート打敷し バルコニー下地(2・3階) モルタル刷毛引アクリルリシン吹付 軒裏換気孔 バンチングメタル450×120	床：防水モルタル仕上 塗木 防水モルタル塗金ゴテ仕上(2階) カラー鉄板 スチール製手摺り OP(2) 物干金物 φ19 OP(2) 窓網 黒ガス管 φ100 OP(2)	1. 1階床下地タタミ敷 2. 2階・3階は向しモルタル塗り(ア)20ネダホーム(ア)80下地タタミ敷 3. 外壁廻り塗膜、及び、窓物の窓室はスタイロパネル(スタイロホーム(ア)15 +木毛板(ア)15)コンクリート打込とする 4. 外壁廻り雨樋は木毛板(ア)15打込とする 5. 1階床下はポリエチレンフィルム(ア)0.02、砂利敷(ア)100とする 6. 屋根コンクリートスラブはスタイロホーム(ア)15打込とする				
改修	特記内容無し限り既存のまま 1. 靴洗場のグレーチングを1ヶ所ステンレス型 (W320×D770)に交換する 受け金物アングル取付共 1ヶ所はグレーチング撤去の上コンクリート 埋めとする	既存のまま	特記内容無し限り既存のまま 1. 割目(全面)による 2. バランス塗膜有開口部分は 不燃サンドイッチパネル張り(ア)28 受アングル金物付 4面サリソング AEP仕上 30分耐火(Wn-0711) (ロックワールシムシライト同等品) 開口寸法 W230×H340	1. 既存塗装 塗り替え SOP(2) クレン・洗浄清掃の上 錆止め塗装(1回)	1. 階段入口庇の天井仕上・天端防水改修 2. 軒裏改修 バルコニー改修 450×150	1. 下地塗木クック部分改修 2. スチール手摺り塗装改修 3. スチール手摺りの支柱の塗木取付 部分改修 4. 塗木カラー鉄板 OP塗り	1. 洋室の天井化粧石膏ボード張り(ア)9.5 910×455. 910×910は 準不燃第2016号 ジブトーン同等品とする 2. 和室の天井化粧石膏ボード張り(ア)9.5 W440 和室用は 準不燃第2016号 吉野天井板同等品とする 3. 内部和室の木部塗装WC(ウッドカラー)は油性ステイン塗りとする 4. 化粧石膏セメント板張りは不燃第1002号カラーボード(標準色)同等品とする 5. 準不燃第2016号 準不燃第2016号 タッス-A(ア)20とする 28.0 m ²				
内部仕上表 (各階共通)											
室名		床		一般内装		外部廻り内装		天井		備考	
		仕上	H	RC部	木部	仕上	断熱材	仕上	CH		
玄関	既存	モルタル塗金ゴテ仕上	100	モルタル塗り金ゴテ EP(2)				木製野縁下地 化粧石膏ボード(ア)9 (910×455)張り	2520	下駄箱 W900×D275×H1025 金立	
	下地改修	既存のまま		既存のまま				既設天井下地			
	仕上改修	既存のまま	既存塗り替え VP(2)	既存仕上面床の上塗り替え EP(2)				既存仕上面床の上 化粧石膏ボード張り (ア)9.5 910×455 準不燃第2016号		既存上り框を撤去し新設する 化粧上り框 100×80 既存木製手摺りWC張り	
ホール	既存	木組下地化粧アライフロアー(ア)12張り	100	モルタル塗り金ゴテ EP(2)	ラスボード(ア)9下地 アラスター塗り EP(2)			木製野縁下地 化粧石膏ボード(ア)9 (910×455)張り	2320	手洗器(原備)を洗面化粧台にする (シングル)バー(1枚)	
	下地改修	既存木組下地のさし・遊びを直す	88	既存仕上の上に透過プライマー塗布	既存仕上の上に透過プライマー塗布			既設天井下地	2308		
	仕上改修	既存仕上撤去の上 ラワン合板T1(ア)12下地 化粧アライフロアー(ア)12張り	既存塗り替え OP(3)	アラスター塗り(ア)3.0 EP(2)	アラスター塗り(ア)3.0 EP(2)			既存仕上面床の上 化粧石膏ボード張り (ア)9.5 910×455 準不燃第2016号			
和室 6帖・1	既存	1階木組下地化粧アライフロアー(ア)12張り 2・3階ネダフォーム(ア)80下地 タタミ敷	タタミ寄せ		ラスボード(ア)9下地 アラスター塗り EP(2)	モルタル塗り下地アラスター塗り EP(2)	外部仕上表の共通事項による	木製野縁下地 化粧石膏ボード(ア)9 準焼天井	2290	押入 天袋	
	下地改修	既存のまま		既存仕上の上に透過プライマー塗布	既存仕上の上に透過プライマー塗布			準焼天井下地			
	仕上改修	既存仕上撤去の上 タタミ敷	既存にWC張り	アラスター塗り(ア)3.0 EP(2)	アラスター塗り(ア)3.0 EP(2)			既存仕上面床の上 化粧石膏ボード張り (ア)9.5 W440 和室用 木製15×15 及び準焼天井 WC		壁の各戸別改修仕上は別図(別開図・2)による 既存天井廻りは既設WC張りとする	
押入 (共通)	既存	1階木組下地化粧ベニヤ(ア)6.0張り 1階・2階木組下地ラワンベニヤ(ア)5.5張り	端巾張り	木製野縁下地(18×45φ450) ラワンベニヤ(ア)4.0張り	ラワンベニヤ(ア)4.0張り	木製野縁下地(18×45φ450) 耐水ベニヤ(ア)6.0張り	外部仕上表の共通事項による	木製野縁下地 ラワンベニヤ(ア)3張り		中段・天袋 ラワンベニヤ(ア)5.5張り	
	下地改修	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま			
	仕上改修	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま			
和室 6帖・2	既存	1階木組下地化粧アライフロアー(ア)12張り 2・3階ネダフォーム(ア)80下地 タタミ敷 木組下地化粧アライフロアー(ア)12張り	タタミ寄せ		ラスボード(ア)9下地 アラスター塗り EP(2)	モルタル塗り下地アラスター塗り EP(2)	外部仕上表の共通事項による	木製野縁下地 化粧石膏ボード(ア)9 準焼天井	2290	外部スチール手摺り	
	下地改修	フローア部分 既存木組下地のさし・遊びを直す		既存仕上の上に透過プライマー塗布	既存仕上の上に透過プライマー塗布			準焼天井下地			
	仕上改修	既存仕上撤去の上 タタミ敷 既存仕上撤去の上 化粧アライフロアー(ア)12張り	既存にWC張り	アラスター塗り(ア)3.0 EP(2)	アラスター塗り(ア)3.0 EP(2)			既存仕上面床の上 化粧石膏ボード張り (ア)9.5 W440 和室用 約4.15×15 準焼天井 WC		既存天井廻りは既設WC張りとする	
ダイニング キッチン	既存	木組下地化粧アライフロアー(ア)12張り 1階は塩板(ア)15下地	杉 OP(3)	100		木毛板(ア)15モルタル金ゴテ張り VP(2) 流し前100角タイル貼り	木毛板(ア)15モルタル金ゴテ張り VP(2) 流し前100角タイル貼り	外部仕上表の共通事項による	木製野縁下地 化粧石膏ボード(ア)9 (910×910)張り	2320	吊戸棚W1000×H700D280 流し台 L1100 コンロ台L700 フード鉄板製 ハンガーボード 600×600 ステンレス扉 サイドカバー バックガード ステンレス張り(ア)0.6 断熱板(ア)25 (不燃サイディング下地)
	下地改修	1階既存塩板撤去 既存木組下地のさし・遊びを直す	88		既存のまま	既存のまま		既設天井下地	2308	撤去し新設する	
	仕上改修	既存仕上撤去の上 ラワン合板T1(ア)12下地 化粧アライフロアー(ア)12張り	既存塗り替え OP(3)	既存仕上面床の上塗り替え VP(2) 流し前既存タイル撤去の上不燃ボード接着 貼(ア)6.0 不燃第00385号	既存仕上面床の上塗り替え VP(2) 流し前既存タイル撤去の上不燃ボード接着 貼(ア)6.0 不燃第00385号			既存仕上面床の上 化粧石膏ボード張り (ア)9.5 910×910 準不燃第2016号 準不燃第2016号		撤去する	

(※)改修の記載は平成13年4月時点の改修図によるものであり、全て解体・撤去・処分

工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 (参考)	解体建物 1-1 宿舍既存仕上表 1 (平成14年3月 竣工)	縮尺	区分	図面番号 KDO-07
						設計番号				意匠図	

内部仕上表 (各階共通)											
室名		床	巾木		一般内装		外部廻り内装		天井		備考
			仕上	H	RC部	木部	仕上	断熱材	仕上	CH	
和室 4, 5帖	既存	1階木組格取(ア)15下地 タタミ敷 2・3階木組格取(ア)80下地 タタミ敷	タタミ寄せ		プラスター塗り EP(2)	ラスボード(ア)9下地 プラスター塗り EP(2)	モルタル塗り下地プラスター塗り EP(2)	外部仕上表の共通事項による	木製野縁下地 杉板ボード(ア)9 半縁天井 断熱天井下地	2290	押入 洋タンス 上げ蓋 900×600(1階のみ)
	下地改修	既存のまま			既存仕上の上に洗剤プライマー塗布	既存仕上の上に洗剤プライマー塗布	既存仕上の上に洗剤プライマー塗布				
	仕上改修	既存仕上撤去の上 タタミ敷	既存にWC塗り		プラスター薄塗り(ア)3.0 EP(2)	プラスター薄塗り(ア)3.0 EP(2)	プラスター薄塗り(ア)3.0 EP(2)	外部仕上表の共通事項による	既存仕上撤去の上 化粧石膏ボード張り (ア)9.5 W440 和室用 木製 15×15 天井断熱材 WC		既存天井廻り縁は無しWC塗りとする
便所	既存	シンダーコンクリート(ア)130 モルタル金ゴテ ビニールタイル貼り	杉 OP(3)	100	木製下地(18×45φ450) プリント合板目隠し張り	木製下地(18×45φ450) プリント合板目隠し張り	木製下地(18×45φ450) プリント合板目隠し張り	外部仕上表の共通事項による	木製野縁下地 大平板目隠し張り(ア)5 VP(2)	2290	既存欄(木製)W250撤去の上新設 ポリフレッシュ(ア)20
	下地改修	既存のまま			既存欄調整	既存欄調整	既存欄調整		半縁天井下地		
	仕上改修	既存仕上撤去の上 塩ビシート貼り(ア)2.0	既存張り替え OP(3)		既存仕上撤去の上 シンダーコンクリート(ア)125 化粧石綿スレート板張り(ア)5.0	既存仕上撤去の上 シンダーコンクリート(ア)125 化粧石綿スレート板張り(ア)5.0	既存仕上撤去の上 化粧石綿スレート板張り(ア)5.0	外部仕上表の共通事項による	既存仕上撤去の上 化粧石綿スレート板張り(ア)5.0 塩ビシート貼り		
脱衣	既存	モルタル金ゴテ ロンリウムタイル貼り 豆砂利コンクリート(ア)80 アスファルト防水C-3 均しモルタル(ア)20	モルタル金ゴテ VP(2)	100	モルタル金ゴテ VP(2)		モルタル金ゴテ VP(2)	外部仕上表の共通事項による	木製野縁下地 大平板目隠し張り(ア)5 VP(2)	2290	既存欄(木製)W300撤去の上新設 ポリフレッシュ(ア)20 天井点検口アルミ製450角
	下地改修	既存のまま		88	浴室開口部切替下地 W65 φ300 既存浴室開口部コンクリート壁撤去の上 化粧石綿スレート板張り(ア)5.0	建具撤去部分下地 既存木製ドア撤去の上 木下地 化粧石綿スレート板張り(ア)5.0	木下地(野縁24×45φ450) 不燃第1002号 ラワン合板T1下張り(ア)12	外部仕上表の共通事項による	断熱天井下地		
	仕上改修	既存仕上撤去の上 モルタル金ゴテ下地(ア)30 塩ビシート貼り(ア)2.0	木製 OP(3)		不燃第1002号 ラワン合板T1下張り(ア)12	不燃第1002号 ラワン合板T1下張り(ア)12	不燃第1002号 化粧石綿スレート板張り(ア)5.0	外部仕上表の共通事項による	既存仕上撤去の上 化粧石綿スレート板張り(ア)5.0 不燃第1002号 塩ビシート貼り		
浴室	既存	モルタル金ゴテ 磁器モザイクタイル24角貼り 豆砂利コンクリート(ア)50 アスファルト防水C-3 均しモルタル(ア)20			壁壁:モルタル金ゴテ下地 75角半磁器タイル貼り H1200 壁:モルタル金ゴテ VP(2)		壁壁:モルタル金ゴテ下地 75角半磁器 タイル貼り H1200 壁:モルタル金ゴテ VP(2)	外部仕上表の共通事項による	木製野縁下地 大平板目隠し張り(ア)5 VP(2)	2290 ~2390	ポリバス W800×D700×H640 バランス釜別棟共
	下地改修	既存のまま			既存のまま		既存のまま	外部仕上表の共通事項による	既存仕上撤去(野縁共)	00に26	
	仕上改修	既存張り替え ユニットバス(BH-1014SBWE同等品)直付	サ-モネット付		既存のまま 但し、脱衣部コンクリート間地盤撤去		既存のまま	外部仕上表の共通事項による	既存仕上撤去の上 ユニットバス取付部の断熱材はユニットバス部材 (力常入)とする		
押入 洋タンス	既存	1階床下地組木ベニヤ(ア)6.0張り 1階・2階床下地ラワンベニヤ(ア)5.5張り	組木張り		木製下地(18×45φ450) ラワンベニヤ(ア)4.0張り	ラワンベニヤ(ア)4.0張り		外部仕上表の共通事項による	木製野縁下地 ラワンベニヤ(ア)3張り 断熱天井下地		引出し ステンレスパイプS管付 木製欄
	下地改修	既存のまま			既存のまま	既存のまま		外部仕上表の共通事項による	既存仕上撤去の上 ラワン合板T2張り(ア)4.0		
	仕上改修	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま		外部仕上表の共通事項による	モルタル撤去引白セメント吹付		
階段室	既存	モルタル金ゴテ目地切り仕上 陶製ノンスリップタイル貼り	モルタル金ゴテ仕上	100	モルタル金ゴテ EP(2)		モルタル金ゴテ EP(2)	外部仕上表の共通事項による	モルタル撤去引白セメント吹付		手摺り 人造石研出し タラップ(スチール)φ19 OP(2) φ300 W300 既存張り替え 超厚断熱保温塗装 既存集合郵便箱(6戸用)KJ型撤去の上 BL-6戸用ステンレス製を新設する
	下地改修	既存のまま			既存のまま		既存のまま	外部仕上表の共通事項による	既存のまま		
	仕上改修	既存のまま	既存のまま		既存仕上面素地の上張り替え EP(2)		既存仕上面素地の上張り替え EP(2)	外部仕上表の共通事項による	既存仕上面素地の上 アクリルリシン吹付		
水廻室	既存	防水モルタル張り	防水モルタル張り	200			防水モルタル張り断毛引仕上	外部仕上表の共通事項による	木毛版(ア)18の上白セメント吹付		マンホールカバー(屋上用回転式)
	下地改修	既存のまま					既存のまま	外部仕上表の共通事項による	既存のまま		
	仕上改修	既存のまま	既存のまま				既存のまま	外部仕上表の共通事項による	既存のまま		
その他	1. 1階の木組床下地及びスラブ下地は断熱材積算ワレタンフォーム張張り(ア)30とする 木組部分はスクリーナ、塗布材とし、スラブ下地は接着貼りとする (アキレスボードPE特殊防水紙張り同等級品) 2. 内部壁の各戸別型改修仕様は別図(概略図・2)による 3. 内部の造作材巾木・鏡縁・廻り縁等、及び、木製建具塗装SOP(3)に準じ替える				4. 脱衣室と便所の欄はポリフレッシュ(ア)20とする 5. 壁下地の木製野縁は24×45φ450とする 6. 壁下地の木製野縁は24×45φ450とする 7. プラスター薄塗り(ア)3.0はユニットバス(西野石膏)同等品とする 8. 内部プラスター壁面の洗剤プライマーはヤブ工業(内部用)同等品とする				9. 撤去、及び、改修に伴う発生材の処理は関係法令に基づき 適切に処分するものとする		

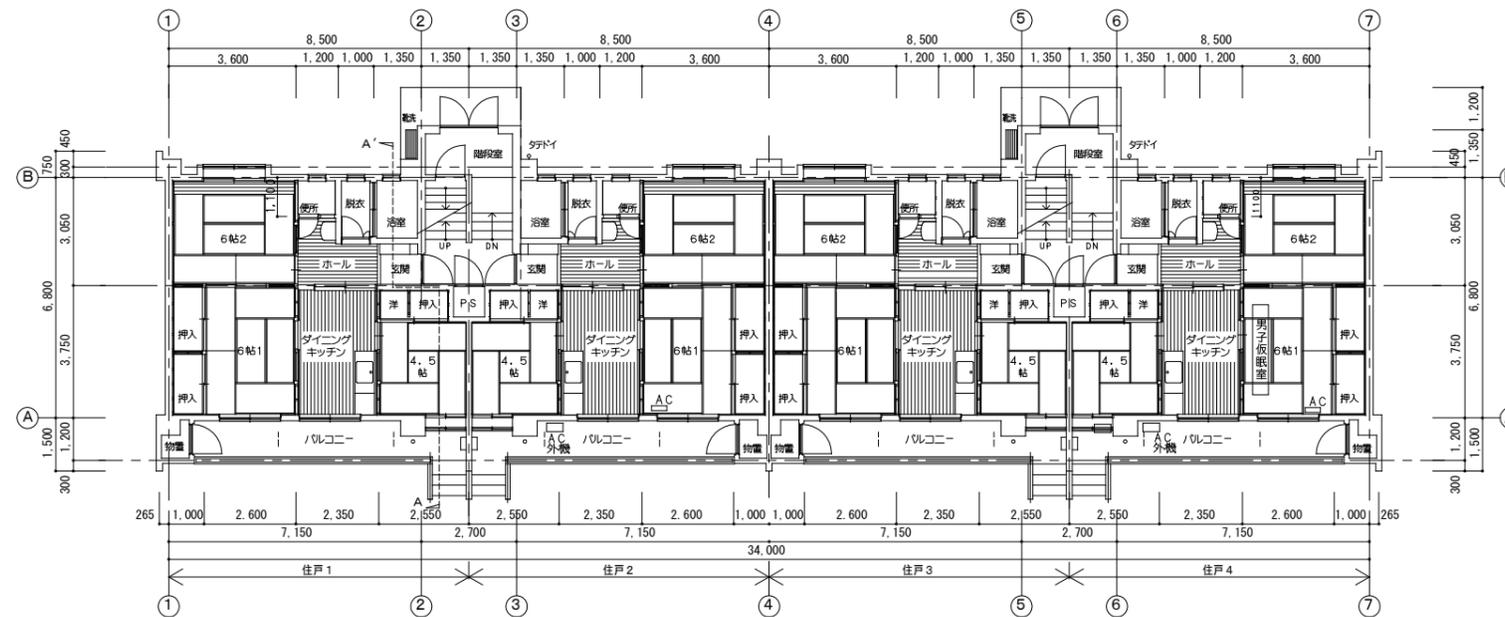
工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製	担	当	検	印	特記	年月日	図面内容 (参考) 解体建物 1-1 宿舍既存仕上表 2 (平成14年3月 竣工)	縮尺	区分	図面番号
								設計番号			意匠図	KD0-08



2階 平面図 1/100

凡例

 住戸2, 4, 6, 8 展開方向を示す。
 ※ 住戸1, 3, 5, 7は反転

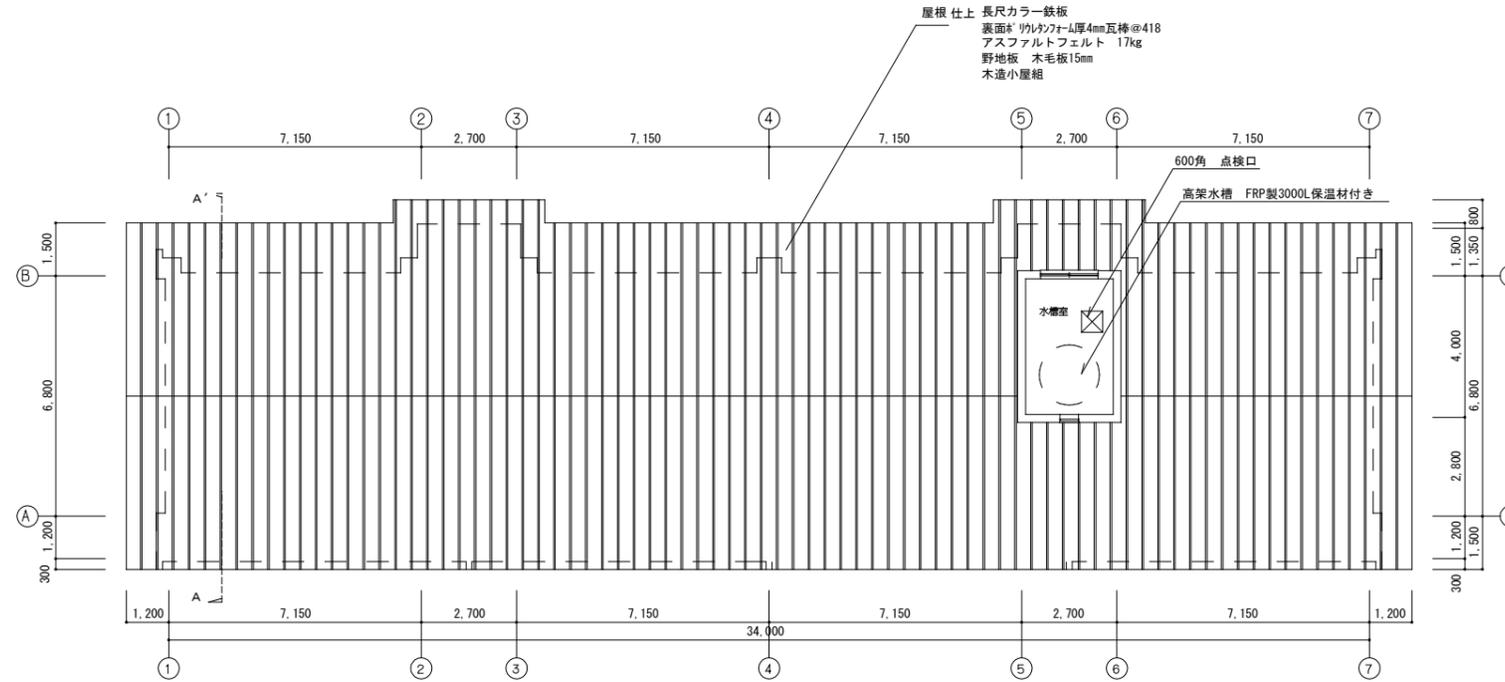
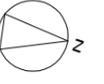


1階 平面図 1/100

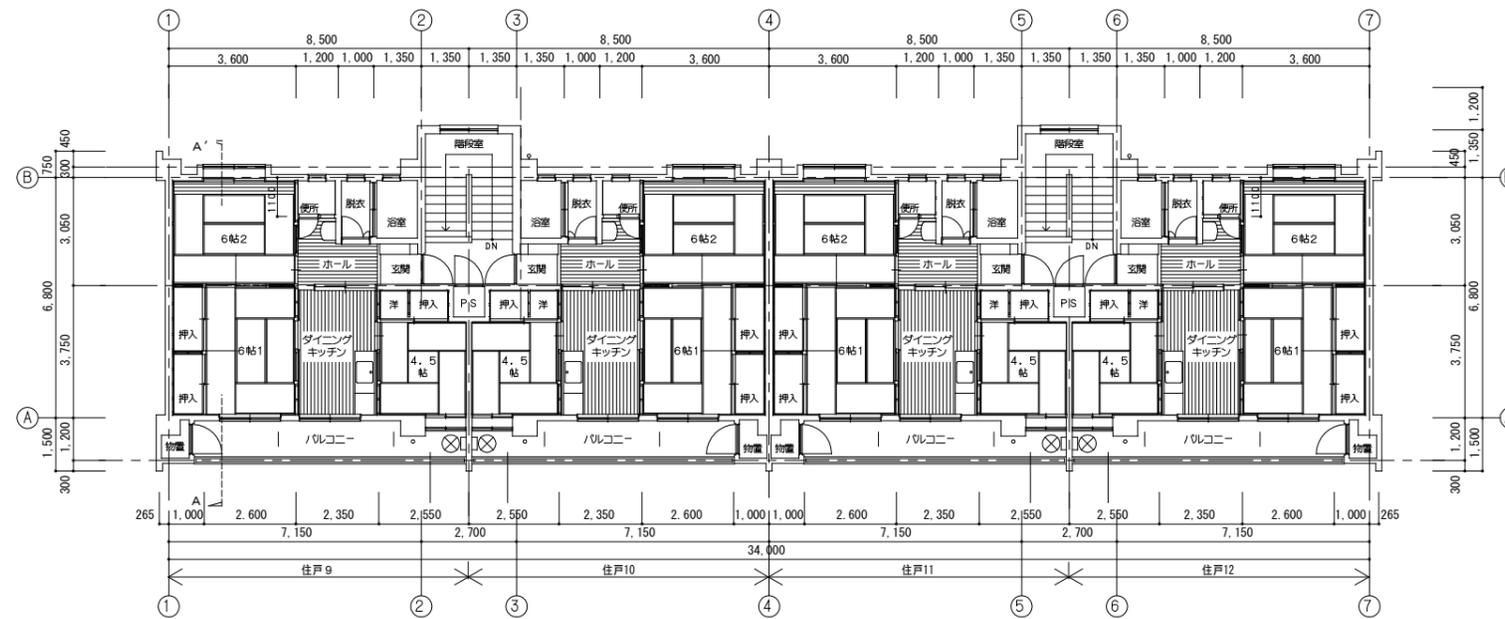
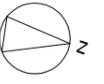
凡例

 住戸2, 4, 6, 8 展開方向を示す。
 ※ 住戸1, 3, 5, 7は反転

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 解体建物 1-1 宿舎 既存 1・2階平面図	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	区分	図面番号 K D O - 0 9
						設計番号			意匠図	



屋根伏図 1/100

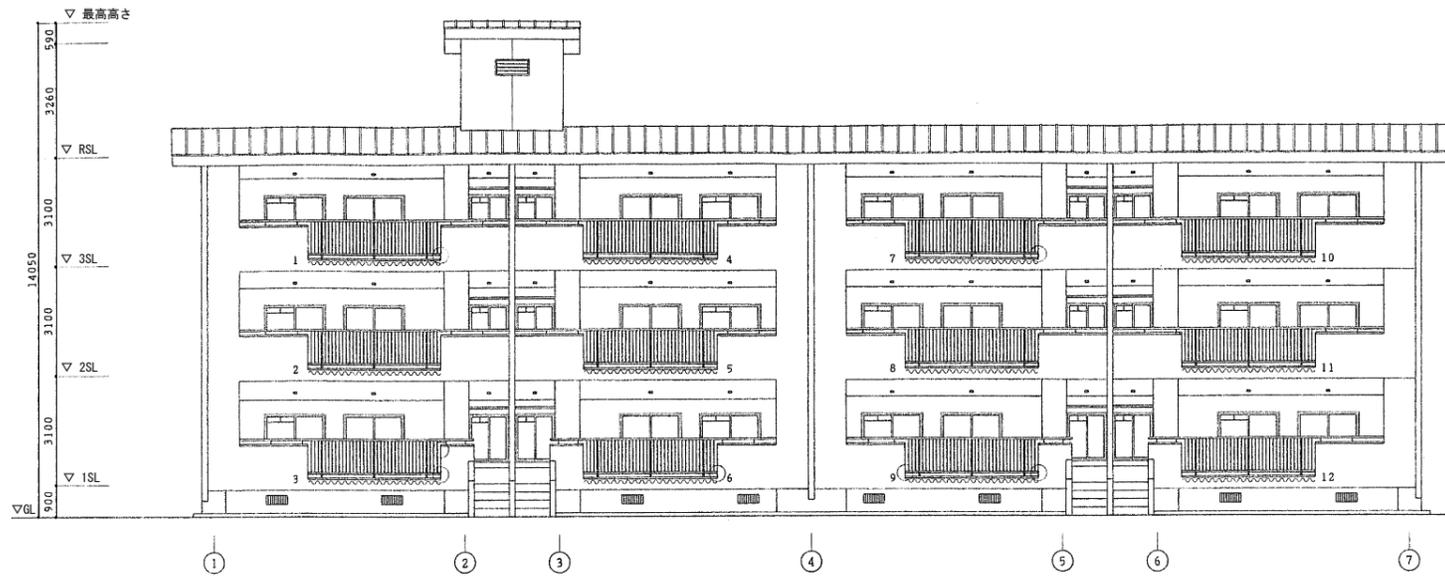


3階 平面図 1/100

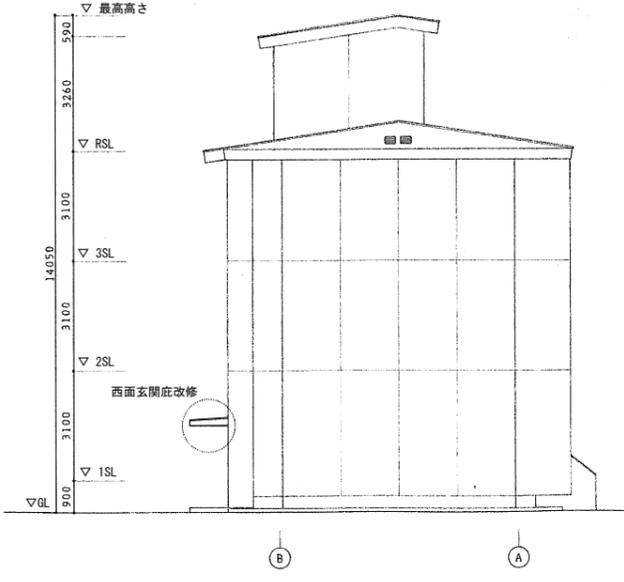
凡例

 住戸10, 12, 展開方向を示す。
 ※ 住戸9, 11, は反転

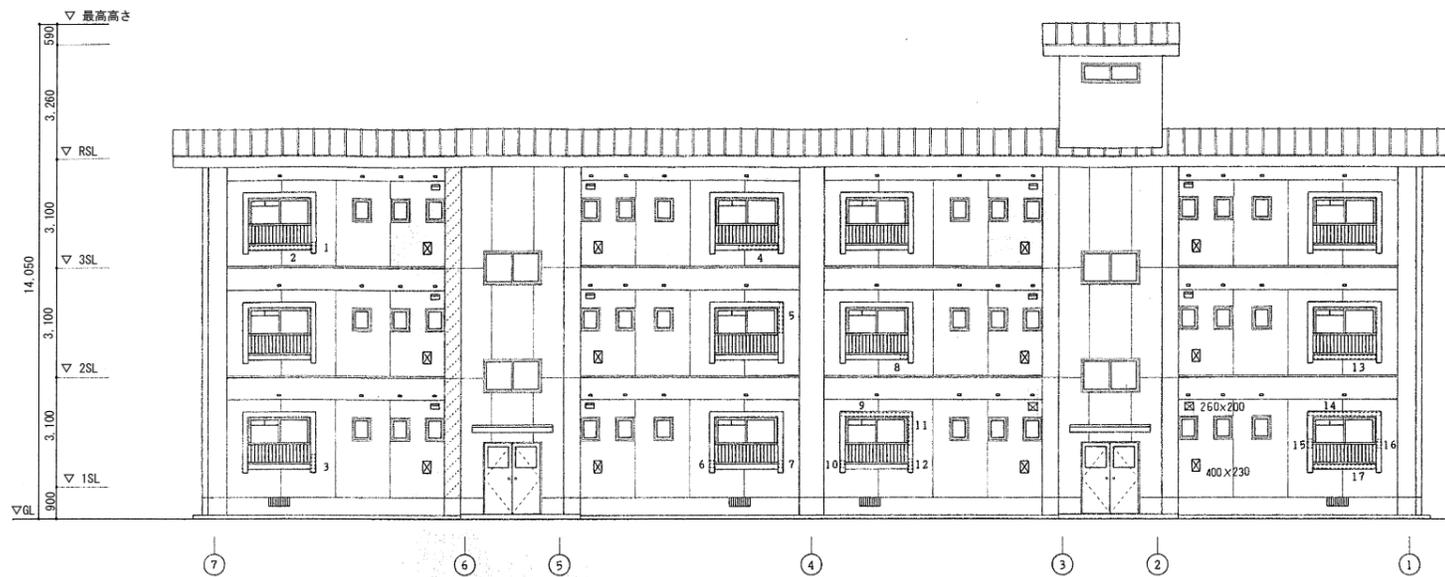
工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 解体建物 1-1 宿舎 既存3階・屋根伏図	縮尺	区分 意匠図	図面番号 K D O - 1 0
						設計番号		A1 1/100 A3 1/200		



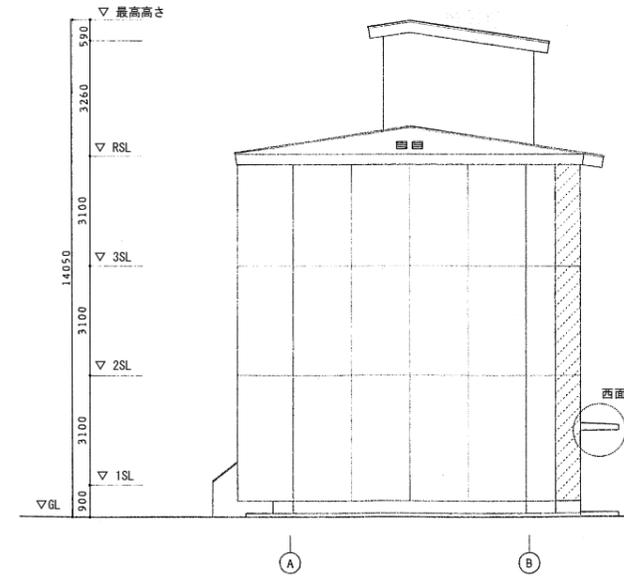
東立面図 1/100



南立面図 1/100



西立面図 1/100

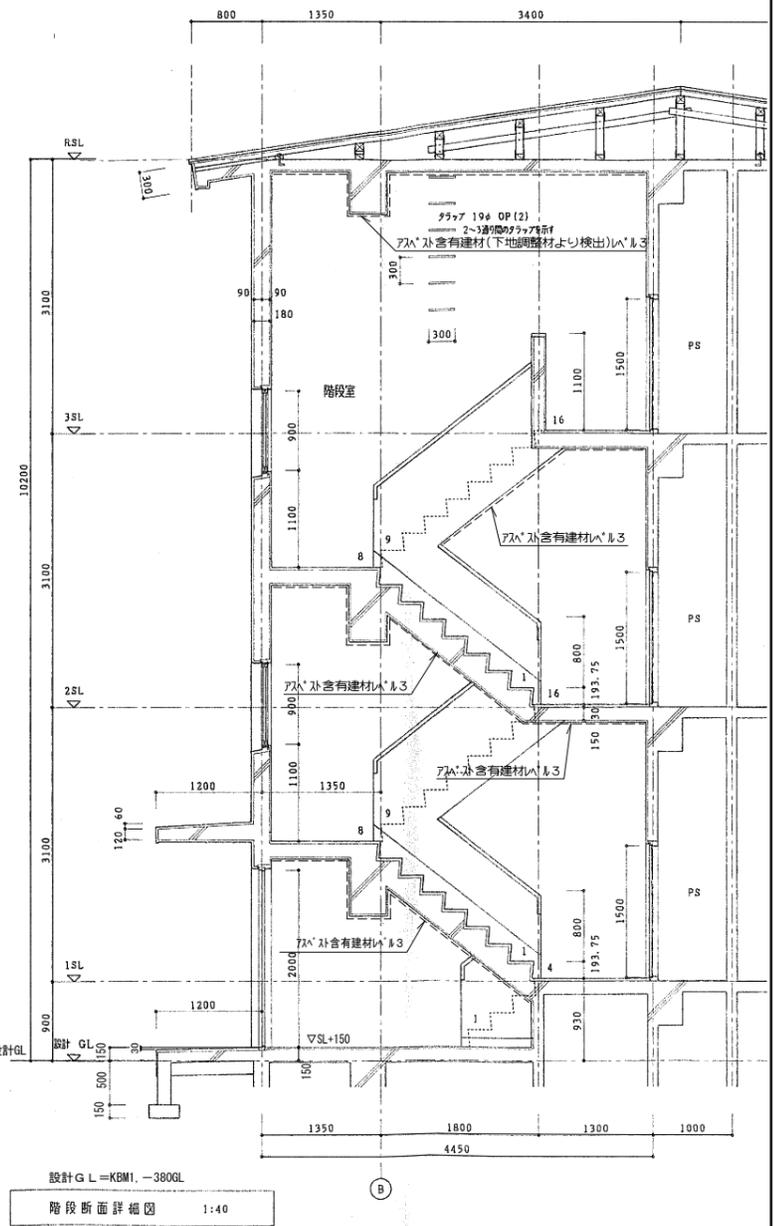
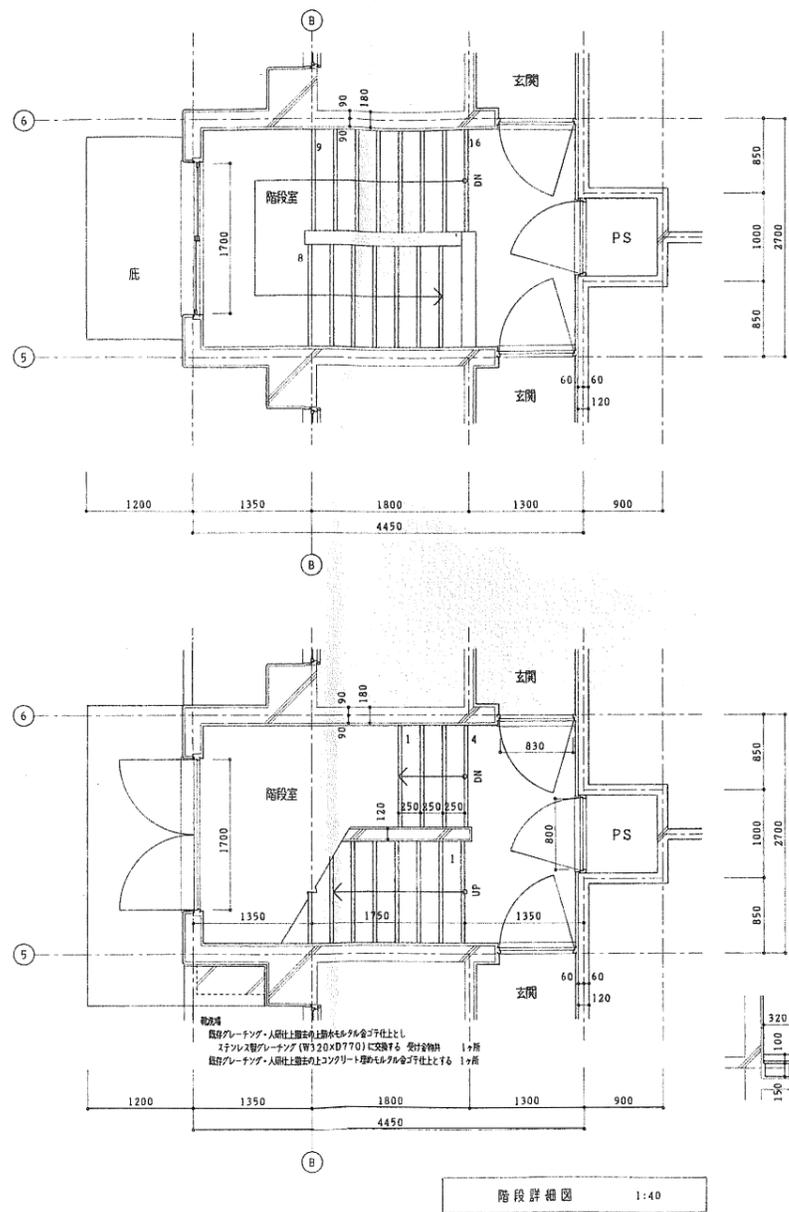
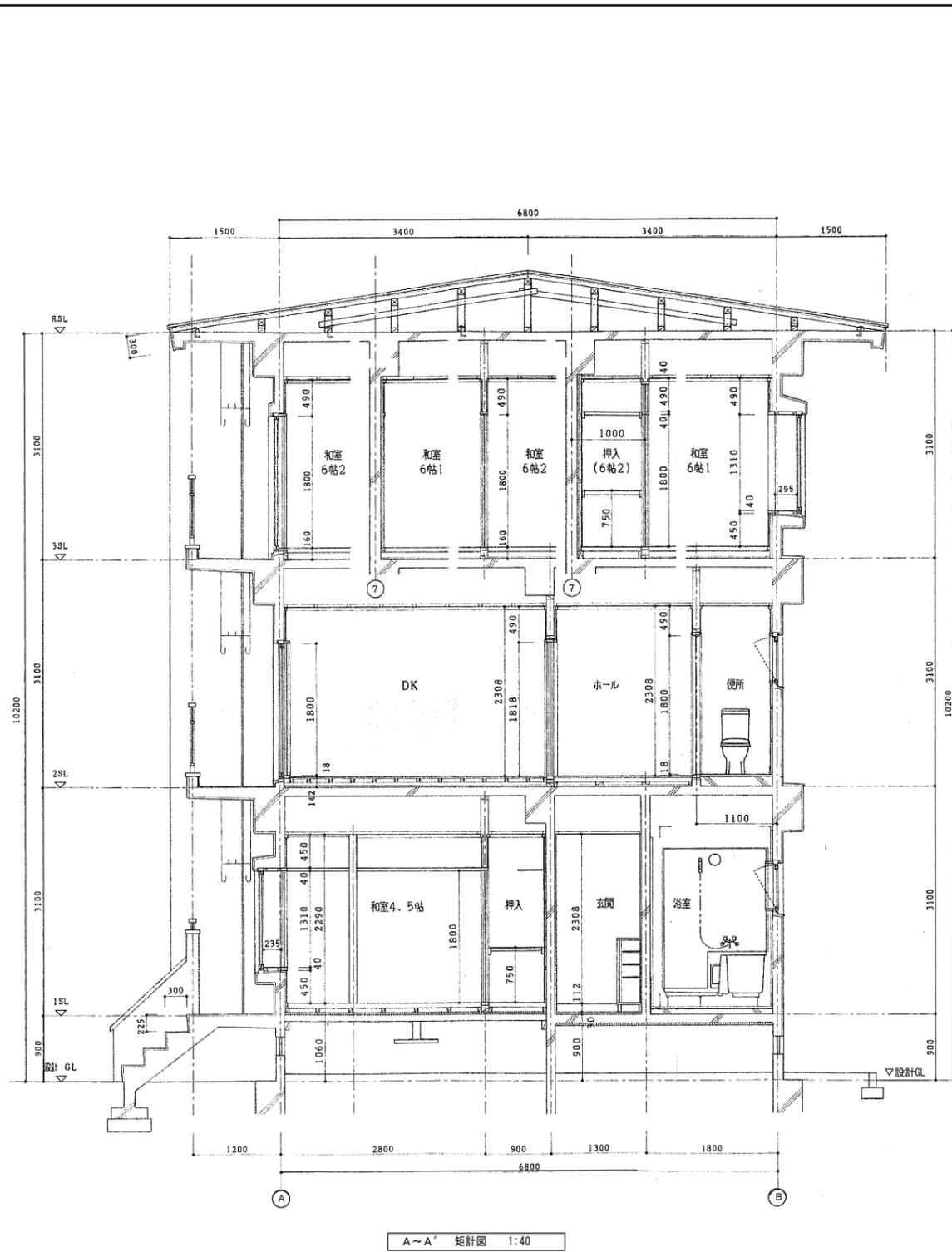


北立面図 1/100

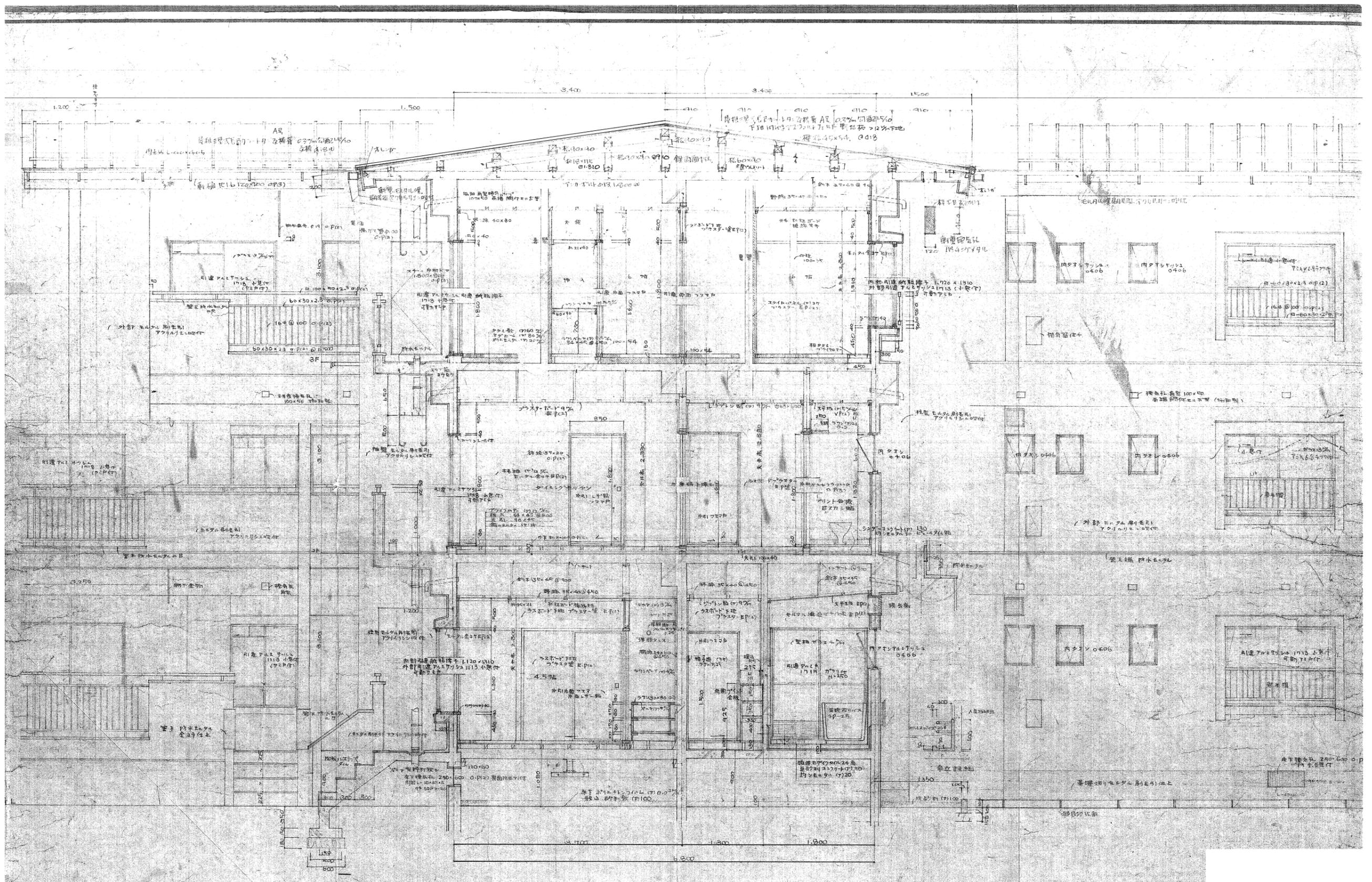
外部改修内容 (平成14年3月竣工)

<p>北面危険箇所改修</p> <p>劣化剥離危険箇所を示す(番号1~17)</p> <p>脱模化粧面はつり撤去 (17ヶ所-15.0m)</p> <p>腐食鉄筋防錆工 サンドブラスト</p> <p>防錆材塗布工 セメントフリッカー系塗料</p> <p>2.56D P 接布同等品</p> <p>改修部旧 高強度モルタル増設</p> <p>NE M同等品 俊物扱い</p> <p>無収縮コンクリート強化改修材塗布</p> <p>精品増量型 ギャベックス同等品</p> <p>深丈端部手突入 アンカービッド系 (13.9㎡)</p> <p>北面窓手摺連続改修</p> <p>角鋼既存鉄筋ケレン 三種ケレンC (31.2㎡)</p> <p>錆止め塗装 1-Dグルント同等品</p> <p>保護塗装 1-D5530同等品</p> <p>丸鋼既存鉄筋ケレン 三種ケレンC (71.4㎡)</p> <p>錆止め塗装 1-Dグルント同等品</p> <p>保護塗装 1-D5530同等品</p> <p>排気筒改修 ☒ 改修部分を示す(12ヶ所)</p> <p>不燃サンドイッチ(鉄丸張り) (7) 28</p> <p>受け金物付 4周シーリング AEP仕上</p> <p>30分耐火 (Wn-0711)</p> <p>ロックワールインシュライト同等品</p> <p>屋根連続改修</p> <p>既存塗装 塗り替え SOP (2)</p> <p>ケレン・洗浄清掃の上錆止め塗装 (1回)</p>	<p>北面玄関底改修</p> <p>底漆層既存塗膜撤去</p> <p>サンダーケレン 2ヶ所 (5.4㎡)</p> <p>洗浄清掃</p> <p>電気用底漆層樹脂塗布</p> <p>底漆増設 S I R C同等品 (4.5㎡)</p> <p>下地調整材コシ塗り カチオン系フィラー 見上げ面</p> <p>プライマー塗り</p> <p>無収縮外装薄塗り材塗布 ナノコート同等品</p> <p>防水層洗浄清掃</p> <p>下地調整 ケレン防水層部分増修</p> <p>平型ウレタン防水</p> <p>ベルウレックス同等品 (5.1㎡)</p> <p>立上りウレタン防水</p> <p>ベルウレックス同等品 (2.9㎡)</p> <p>防水層保護塗装 アクリル樹脂系</p> <p>防水層押え金具取付</p> <p>防水層押え金具シーリング</p> <p>北面部分塗装改修</p> <p>☒ 改修部分を示す</p> <p>既存鉄筋サンダーケレン 汚損ケレン (14.0㎡)</p> <p>洗浄清掃</p> <p>浸透性プライマー取付</p> <p>無収縮外装薄塗り材塗布 ナノコート同等品</p> <p>その他</p> <p>取付金物付 4周シーリング (7) 28</p> <p>260x260 12ヶ所 受け金物付 4周シーリングAEP仕上</p> <p>注記 1. 作業は高所作業車使用とする</p>
---	--

工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製 図	担 当	検 印	特 記	年月日	図面内容	縮尺	区 分	図面番号
						設計番号				

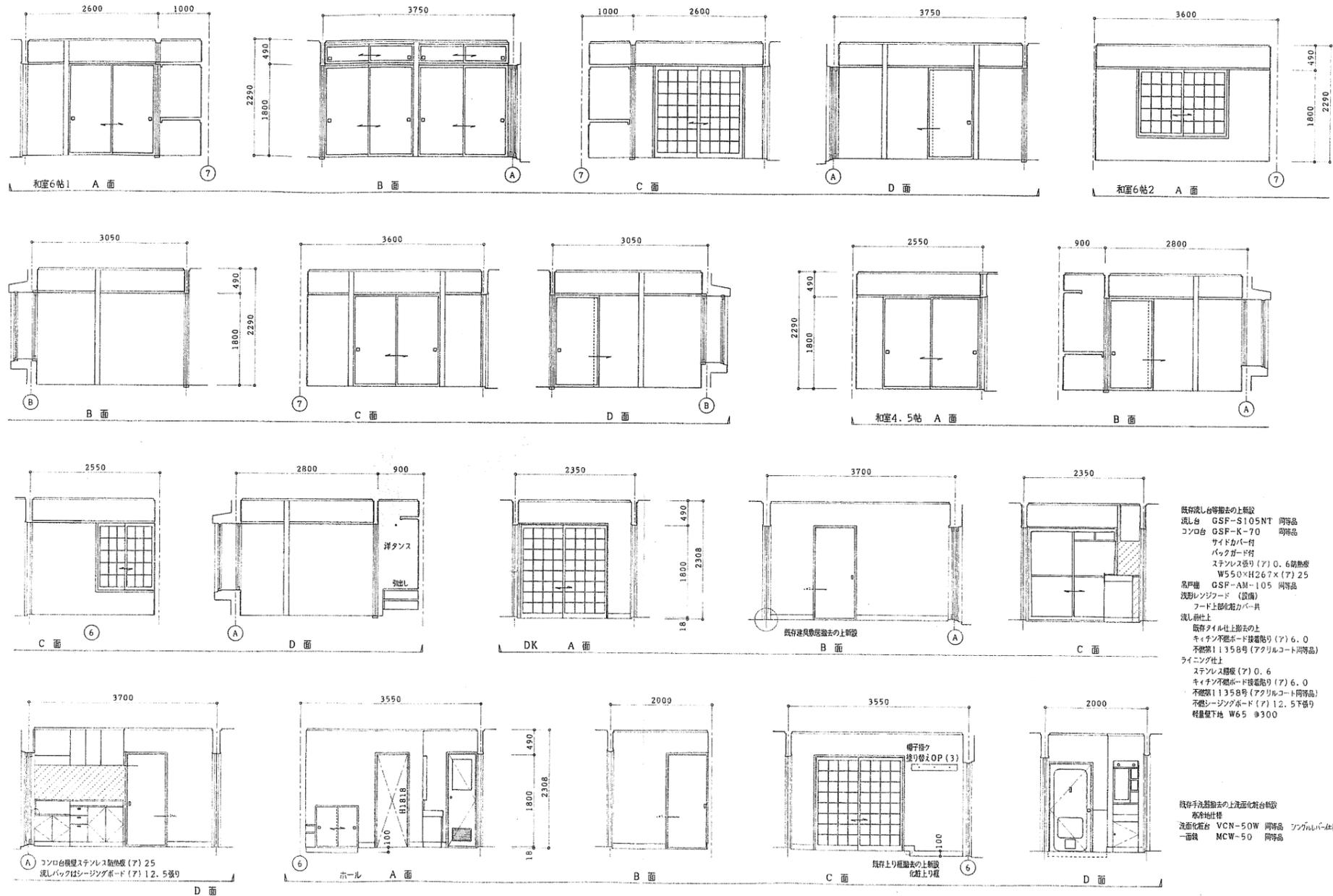


工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 宿舎 既存 断面詳細図	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	区分 意匠図	図面番号 KDO-12
						設計番号				



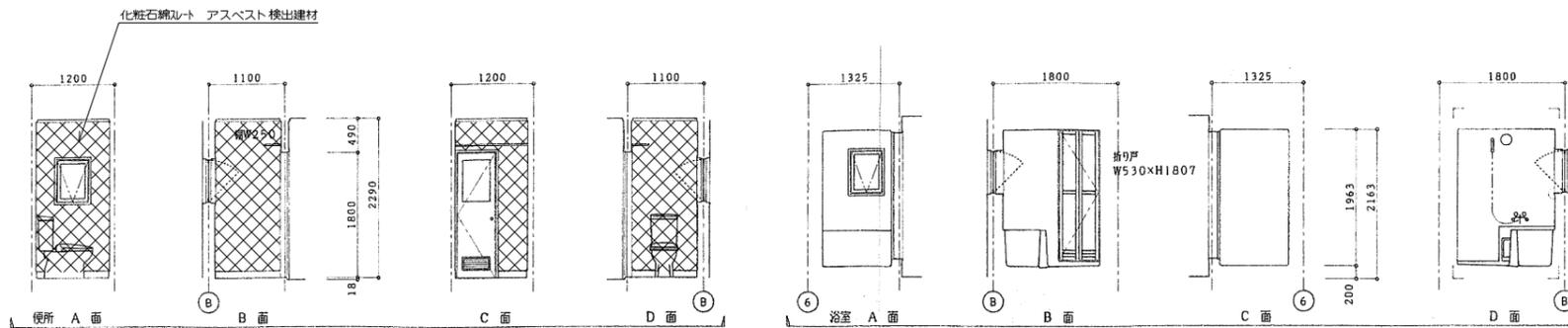
A~A 矩計図 1:30

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 宿舎 既存 矩計図	縮尺	区分 意匠図	図面番号 KDO-13
						設計番号		A1 1/30 A3 1/60		

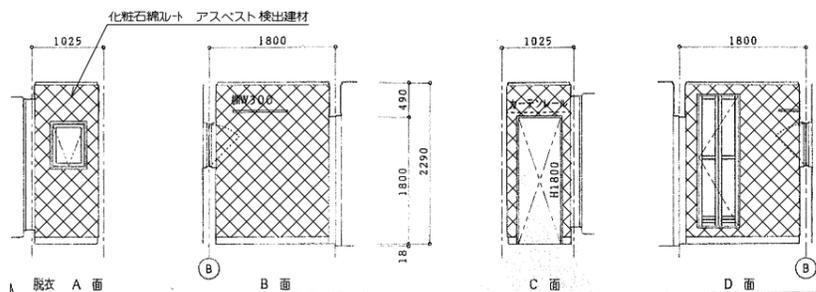


(※) 改修の記載は平成13年4月時点の改修図によるもので有り、全て解体・撤去・処分

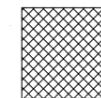
工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製	担	当	検	印	特記	年月日	2024.07	図面内容	縮尺	区分	図面番号
								設計番号	2023-044			宿舎 既存展開図 1	



既存浴槽・バランス釜撤去の上
ユニットバス新設 専用地坪
巻キ蓋付
UB BH-1014SBWE
同等品
窓の廻りは既存窓の上
ユニット部材(力入れ)で新設
サーモスタッド付



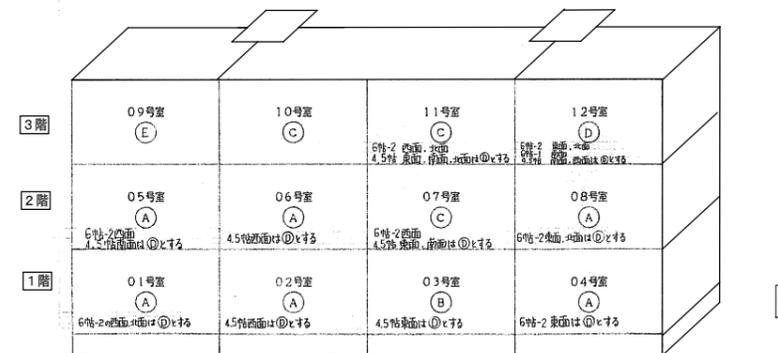
凡例



大平板 (アスベスト検出建材)

各戸別壁改修仕様		
	下地改修	仕上改修
(A)	既存仕上の上に浸透プライマー塗布	アススター薄塗り (ア) 3.0 EP (2)
(B)	和室の両壁以外のコンクリート下地面の既存アススター撤去の上アススター塗り 同上以外は既存仕上の上に浸透プライマー塗布	EP (2) アススター薄塗り (ア) 3.0 EP (2)
(C)	和室 (6帖1・2・4・5帖) の外壁面の既存アススター撤去の上アススター塗り 同上以外は既存仕上の上に浸透プライマー塗布	EP (2) アススター薄塗り (ア) 3.0 EP (2)
(D)	和室のコンクリート下地面の既存アススター撤去の上アススター塗り コンクリート面に浸透プライマー塗布 同上以外は既存仕上の上に浸透プライマー塗布	EP (2) アススター薄塗り (ア) 3.0 EP (2)
(E)	和室は既存のまま (洋室は仕上表により改修する)	和室は既存ビニールクロス貼りのまま (洋室は仕上表により改修する)

南面

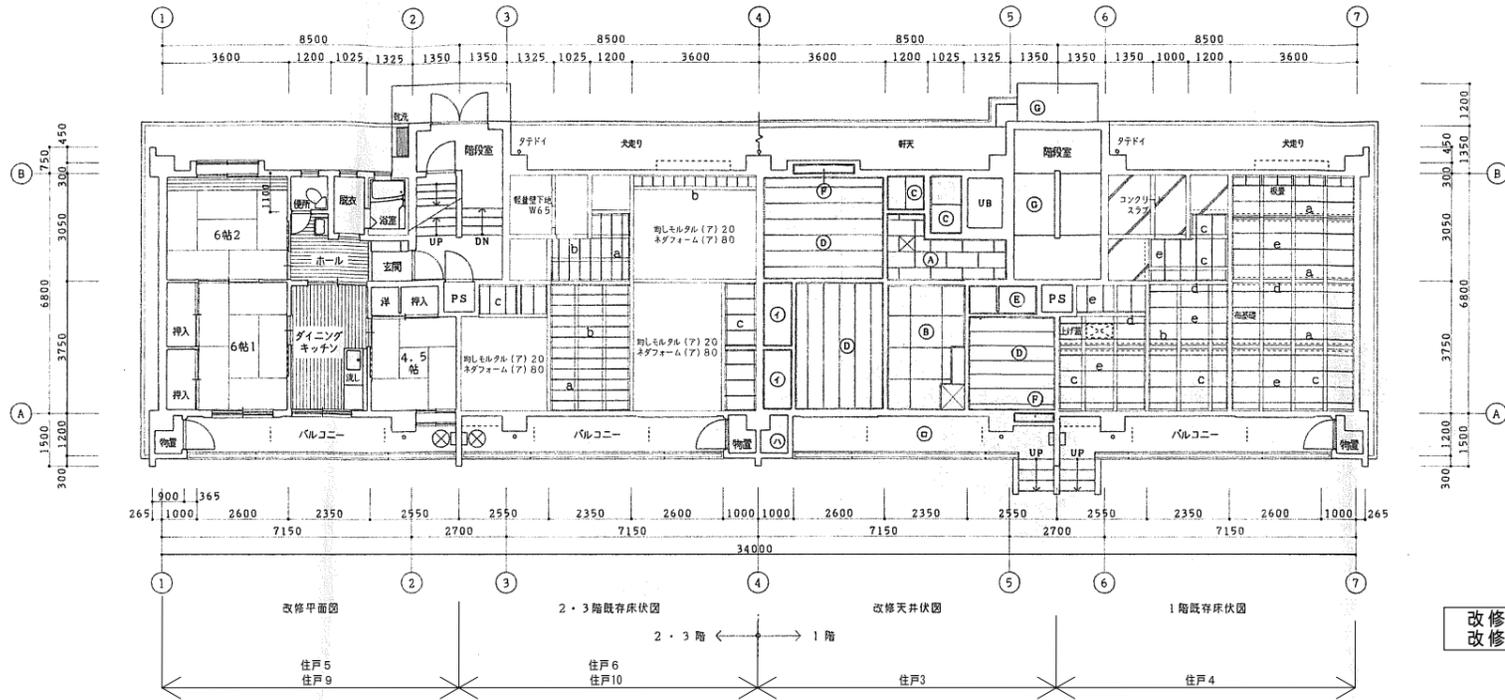


各戸別壁改修仕様 断面図

北面

(※) 改修の記載は平成13年4月時点の改修図によるもので有り、全て解体・撤去・処分

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 宿舎 既存展開図 2	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	区分	図面番号 KDO-16
						設計番号			意匠図	



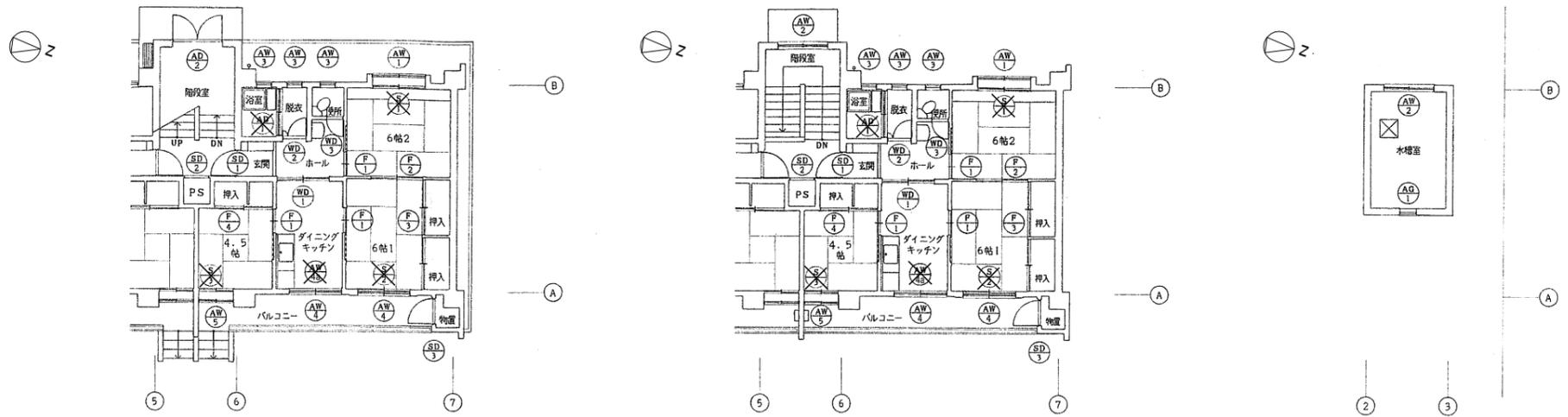
改修平面図・2・3階既存床伏図・
改修天井伏図・既存1階床伏図 1:00

注 記	2・3階既存床伏図	改修天井伏図	1階既存床伏図
	a 大引 松 100×40 # 910	Ⓐ 既存仕上撤去の上 化粧石コウボード張り (ア) 9.5 910×455 準不燃第2016号 (ジブトーン同等品)	a 軽建梁 2 [-200×50×3.2
	b 根太 松 54×45 # 300	Ⓑ 既存仕上撤去の上 石コウボード張り (ア) 9.5 910×910 準不燃第2016号 (ジブトーン同等品)	b # 2 [-250×50×3.2
	根太指 100×50	Ⓒ 既存仕上撤去の上 化粧石綿セメント板張り (ア) 5.0 不燃第1002号 (カラーード同等品)	c 大引 105×120 # 900
	c 根太 松 54×45 # 450	Ⓓ 既存仕上撤去の上 石コウボード張り (ア) 9.5 W440 不燃第2016号 (吉野天井板同等品)	大引受 120×60
	根太指 100×50	Ⓔ 既存仕上撤去の上 ラワン合板T2 (ア) 4.0張り	d 土台 90×60
	和 室 均しモルタル (ア) 20	Ⓕ 既存仕上撤去の上 特殊加工化粧合板張り (ア) 2.7 (ネオワッド同等品)	e 根太 54×45 # 450
	ネダフォーム (ア) 80	Ⓖ ラワン合板T1 (ア) 4.0下地	根太指 105×30
		Ⓖ 既存仕上撤去の上 下地処理 アクリルリシン吹付 アスベスト含有建材	その他 上げ蓋1ヶ所
		Ⓖ 既存のまま (ラワン合板T2 (ア) 3張り)	改修内容 1階の木組床下地及びスラブ下地は新築材 破損ウレタンフォーム板張り (ア) 30とする 木組部分はスクリュー釘留め敷付とし、 スラブ下地は接着貼りとする (アキレスボードPE特殊防水紙同尺同等品)
		Ⓖ 既存のまま (モルタル塗刷毛引白セメント吹付) アスベスト無し	
		Ⓖ 既存のまま (モルタル塗刷毛引白セメント吹付) アスベスト無し	
		Ⓖ 天井点検口 450角 アルミ製	

部 材 表

(※) 改修の記載は平成13年4月時点の改修図によるものであり、全て解体・撤去・処分

工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製 図 担 当 検 印	特 記	年 月 日	図面内容	縮 尺	区 分	図面番号
				設計番号				



既存建具位置図

1階平面図 1:100

2・3階平面図 1:100

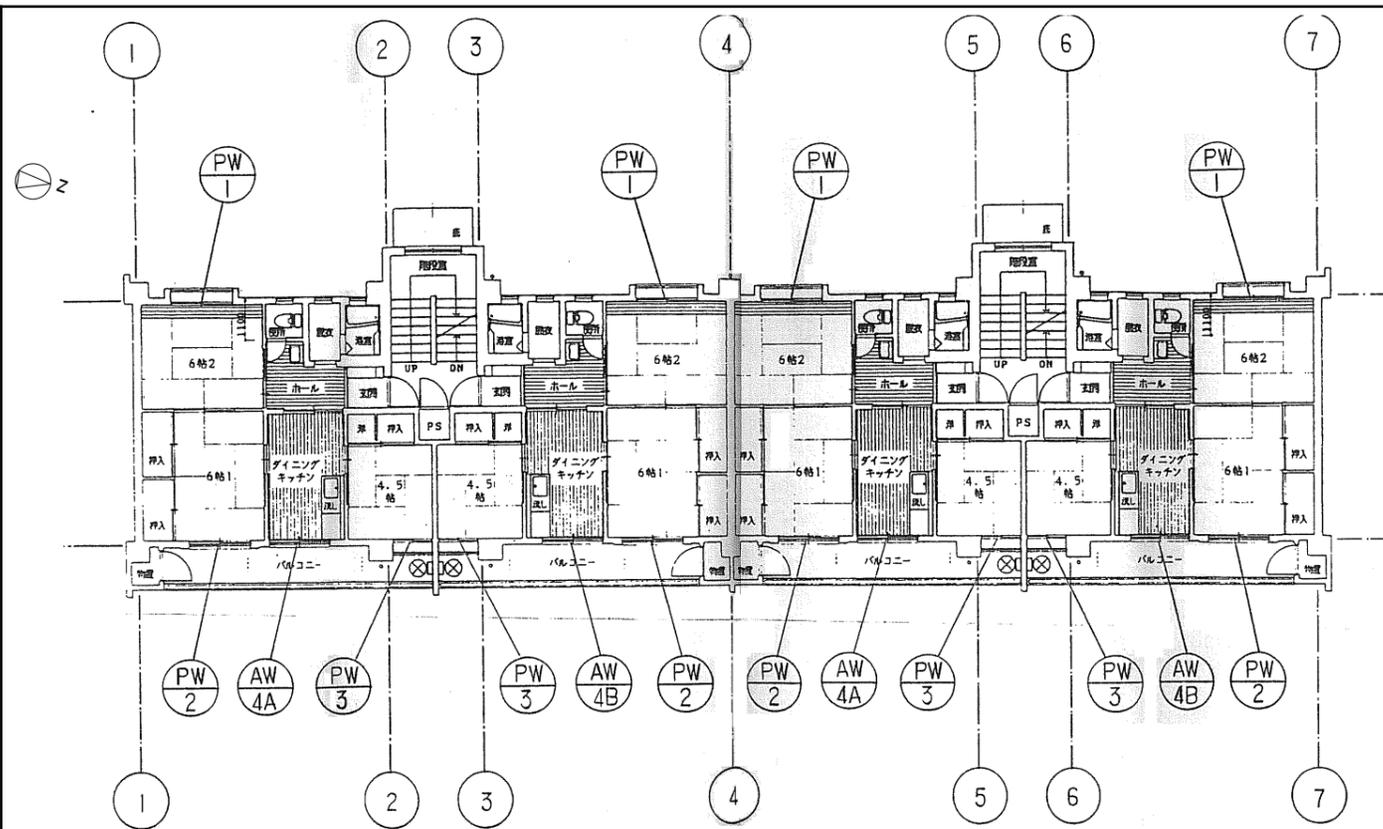
屋根平面図 1:100

記号・数量	SD x 12	SD x 6	SD x 12	SD x 1	AD x 12	AD x 2	AW x 12	AW x 5
形状								
場所	玄関	PS	物置	受水機室	浴室	脱衣室	和室6帖2	脱衣室
形式	片開きフラッシュドア KJ型	片開きアングルドア KJ型	片開き片面フラッシュドア KJ型	片開き片面フラッシュドア KJ型	引き違い扉 KJ型	脚開きアルミフラッシュドア KJ型	引き違い窓 (小窓付) KJ型	引き違い窓 KJ型
見込	80	80	80	80				
材質・仕上	スチール OP (2)	スチール OP (2)	スチール OP (2)	スチール OP (2)	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
備考	蝶丁番 ドアチェーン ドアチェーンサムターン付きシリンドラ錠 戸当り	蝶丁番 取手 シリンドラ錠	丁番 錠錠 アームストッパー	丁番 ロック錠	蝶ガラス (ア) 4.0	透明換入ガラス (ア) 6.8	透明換入ガラス (ア) 6.8	透明換入ガラス (ア) 6.8
改修内容	ドアチャイム 牛乳錠箱 ドアスコープ	蝶丁番 取手 シリンドラ錠	蝶丁番 錠錠 アームストッパー	蝶丁番 ロック錠	蝶ガラス (ア) 4.0	透明換入ガラス (ア) 6.8	透明換入ガラス (ア) 6.8	透明換入ガラス (ア) 6.8
改修内容	蝶丁番 取手 シリンドラ錠	蝶丁番 取手 シリンドラ錠	蝶丁番 錠錠 アームストッパー	蝶丁番 ロック錠	蝶ガラス (ア) 4.0	透明換入ガラス (ア) 6.8	透明換入ガラス (ア) 6.8	透明換入ガラス (ア) 6.8
記号・数量	AW x 36	AW x 24	AW x 12	AW x 12	AG x 1	WD x 12	WD x 12	WD x 12
形状								
場所	便所 脱衣 浴室	和室6帖1 DK	DK	和室4.5帖	水機室	DK	脱衣	便所
形式	内開し窓 KJ型	引き違い窓 (小窓付) KJ型	引き違い窓内扉 (小窓付)	引き違い窓 (小窓付) KJ型	ガラリ KJ型	引き違いガラス扉扉	片開きフラッシュドア	片開き換入フラッシュドア
見込							36	36
材質・仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	杉 OP (3)	シナ合板 OP (3)	シナ合板 OP (3)
備考	蝶ガラス (ア) 4.0	透明ガラス (ア) 3.0	透明ガラス (ア) 3.0	透明ガラス (ア) 3.0	蝶ガラス (ア) 4.0	蝶ガラス (ア) 4.0	蝶ガラス (ア) 4.0	蝶ガラス (ア) 4.0
改修内容	蝶ガラス (ア) 4.0	透明ガラス (ア) 3.0	透明ガラス (ア) 3.0	透明ガラス (ア) 3.0	蝶ガラス (ア) 4.0	蝶ガラス (ア) 4.0	蝶ガラス (ア) 4.0	蝶ガラス (ア) 4.0
改修内容	蝶ガラス (ア) 4.0	透明ガラス (ア) 3.0	透明ガラス (ア) 3.0	透明ガラス (ア) 3.0	蝶ガラス (ア) 4.0	蝶ガラス (ア) 4.0	蝶ガラス (ア) 4.0	蝶ガラス (ア) 4.0
記号・数量	F x 36	F x 12	F x 12	F x 12	S x 12	S x 12	S x 12	
形状								
場所	和室6帖1 和室6帖2 和室4.5帖	和室6帖1	押入	押入・洋ダンス	和室6帖2	和室6帖1	和室4.5帖	
形式	片引き両面アスマフ	引き違いアスマフ	引き違い両面アスマフ 天袋小アスマフ付	引き違い両面アスマフ	引き違い両面アスマフ	引き違い両面アスマフ	引き違い両面アスマフ	
見込	27	27	27	27	27	27	27	
材質・仕上	カシマ	カシマ	カシマ	カシマ	カシマ	カシマ	カシマ	
備考	鳥の子紙 レザー貼り	鳥の子紙	鳥の子紙 (ベニヤ下地)	鳥の子紙 (ベニヤ下地)	和紙貼り	和紙貼り	和紙貼り	
改修内容	鳥の子紙 レザー貼り	鳥の子紙	鳥の子紙 (ベニヤ下地)	鳥の子紙 (ベニヤ下地)	和紙貼り	和紙貼り	和紙貼り	
改修内容	鳥の子紙 レザー貼り	鳥の子紙	鳥の子紙 (ベニヤ下地)	鳥の子紙 (ベニヤ下地)	和紙貼り	和紙貼り	和紙貼り	

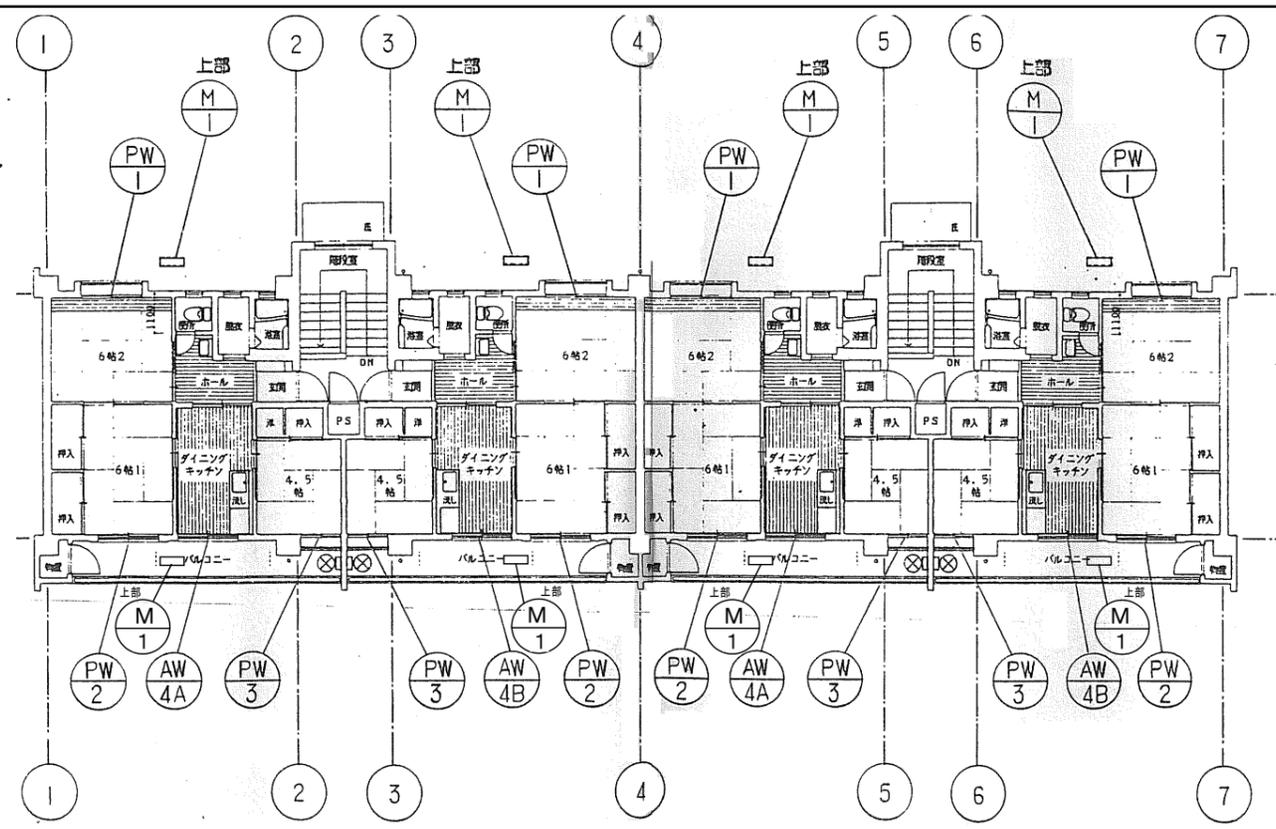
注記
1. アルミサッシの既存建具位置は戸取及びガラス止めガセット交換、丁番・DCの調整等とする
1. アミはステンレスネットとする

(※) 改修の記載は平成13年4月時点の改修図によるものであり、全て解体・撤去・処分

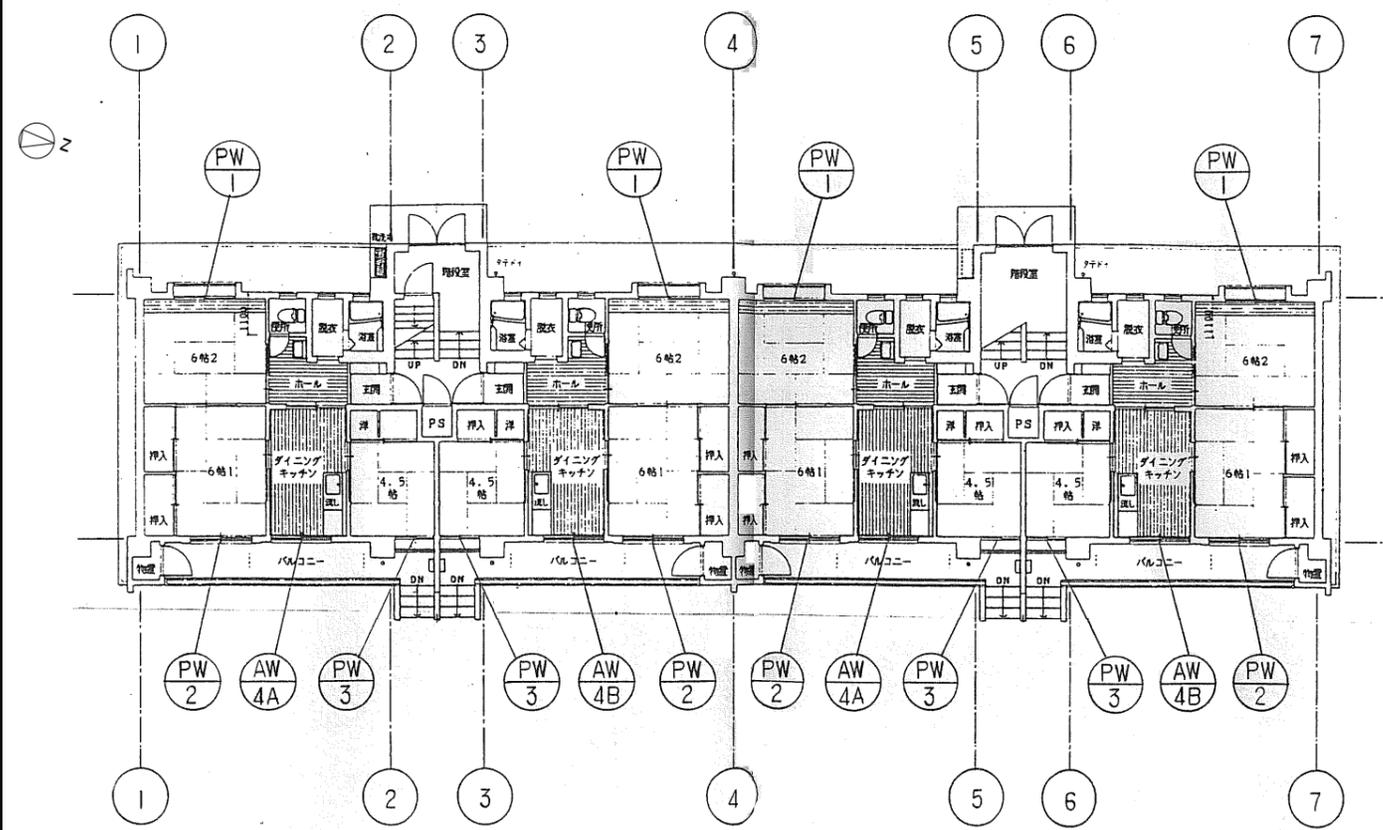
工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号				



2階 建具キープラン 1/100



3階 建具キープラン 1/100

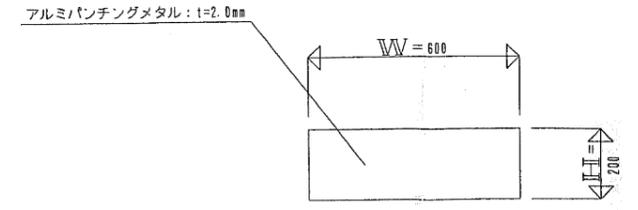
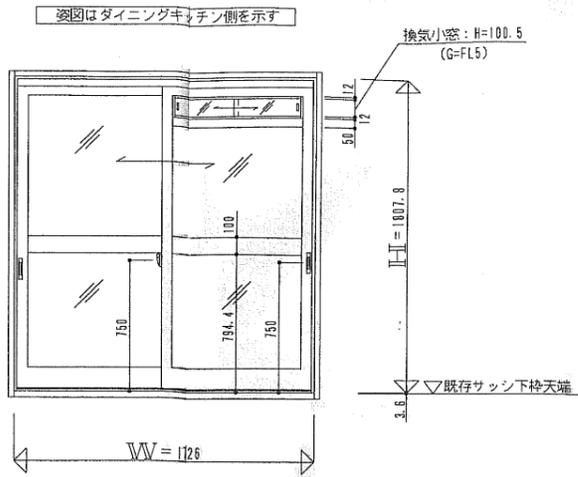


1階 建具キープラン 1/100

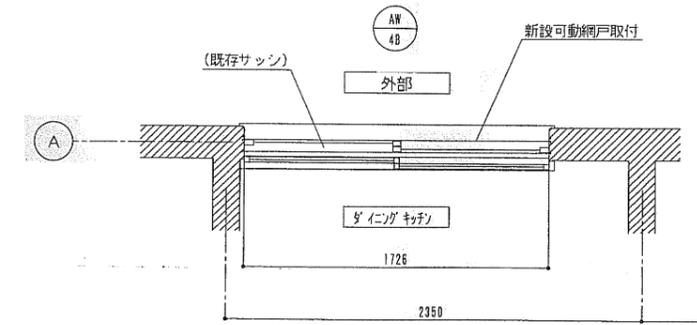
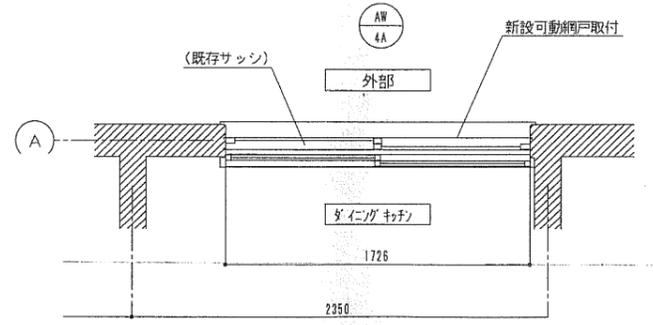
符号	名称	枠見込	寸法		合計	取					備考
			W	H		1F	2F	3F	合		
AW-4A	引違い戸	70	1.726	1.807.8	2		2		2		
AW-4B	引違い戸	70	1.726	1.807.8	6	2		2		2	
-											
PW-1	引違い窓(榻間サッシ)	55.4	1.728	1.300	12	4		4		4	
PW-2	引違い窓(榻間サッシ)	80	1.728	1.813	12	4		4		4	
PW-3	引違い窓(榻間サッシ)	55.4	1.132	1.300	12	4		4		4	
-											
M-1	アルミパンチングメタル	-	600	200	8					8	

(※)改修の記載は平成13年4月時点の改修図によるものであり、全て解体・撤去・処分

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号				



建具符号	M-1	取付場所	3F 軒天
合計数量	8	カラー区分	シルバー
ガラス厚	有・無	製品形式	YS1170G 2枚
網戸	有・無	ガラス厚	3・4・5・6・8・8・8参照参照
網戸	有・無	網戸形式	ガasket・シール
部品名		品番・形式	数量



建具符号	AW-4A	取付場所	1~3F ダイニングキッチン
合計数量	6	カラー区分	シルバー
ガラス厚	有・無	製品形式	YF70
網戸	有・無	ガラス厚	3・4・5・6・6・8・8参照参照
網戸	有・無	網戸形式	ガasket・シール
部品名		品番・形式	数量
引き手	2K-6355		2セット
クレセント	制成品		1
戸車	制成品		4
上戸車	制成品		4
換気小窓			
標準金具一式			

建具符号	AW-4B	取付場所	1~3F ダイニングキッチン
合計数量	6	カラー区分	シルバー
ガラス厚	有・無	製品形式	YF70
網戸	有・無	ガラス厚	3・4・5・6・6・8・8参照参照
網戸	有・無	網戸形式	ガasket・シール
部品名		品番・形式	数量
引き手	2K-6355		2セット
クレセント	制成品		1
戸車	制成品		4
上戸車	制成品		4
換気小窓			
標準金具一式			

(※)改修の記載は平成13年4月時点の改修図によるもので有り、全て解体・撤去・処分

工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製	担	当	検	印	特記	年月日	図面内容	縮尺	区分	図面番号
								設計番号			意匠図	
									宿舍 既存建具改修 AW-4A・4B、M-1 (平成14年4月 竣工)	A1 1/20 A3 1/40	意匠図	KD0-20

紫波署 署長宿舎
竣工 S63年12月
主要用途 署長宿舎
構造種別 木造 平家建て
延べ床面積

外部仕上表 延べ面積 76.44㎡

部位	場所	記号	工事経歴	年度	仕上	7μS以上含有	備考
R1 屋根			設計		長尺カラートタン28# 瓦棒葺(真木無し) 勾配2/10 アスファルトフェルト 17kg 野地板 松板15mm 雪止めL-40×40×5 OP(2) 軒樋28# Φ90 笠樋28# Φ90 (カラートタン) 塗装改修 OP(2)	対象外 7μS以上 施工調査⑦	
H1 破風			設計		破風板	対象外	
00 軒天上			設計		大平葺厚5mm VP2 換気孔50×300 パンチングメタル張	有いμ3 対象外	
0W 外壁			設計		センチュリーリシン厚12張り (ガラスウール25mm充填)	不検出 対象外	
開口部			設計 内部制サッシ	2000 (H12年)	住宅用アルミサッシ 内部樹脂サッシ PW-1×2.2.3×4.4.5×3	対象外 対象外	
テラス			設計		床 コンクリート叩金ゴテ仕上 一部パーゴラ付 (木造、屋根材)以外系合成樹脂波板葺)	対象外	
基礎廻り			設計		ベニヤ仮枠打放し 床下換気孔150×300	対象外 対象外	
その他							

紫波署 署長宿舎 物置

竣工 S63年12月

主要用途 物置
構造種別 木造 平家建
延べ床面積 4.96㎡ (1.5坪)

1,820×2,730 = 4,968㎡ (1.5坪)

部位	場所	記号	工事経歴	年度	仕上	7μS以上含有	備考
R1 屋根			設計		長尺カラートタン28# 瓦棒葺(真木無し) 勾配2/10 アスファルトフェルト 17kg 野地板 松板15mm	不検出	
H1 破風			設計		破風板	対象外	
0W 外壁			設計		小波カラー鋼板張り (7)0.4	対象外	
開口部			設計		住宅用アルミサッシ	対象外	
基礎廻り			設計		ベニヤ仮枠打放し 床下換気孔150×300	対象外	
内部			設計		内部 床コンクリート 外壁裏面あらわし 天井 野地板あらわし	対象外 対象外	
その他			設計		内部 木欄板厚25mm	対象外	

階	室名	改修経歴	床	アスベスト含有建材	巾木	アスベスト含有建材	壁	アスベスト含有建材	天井	アスベスト含有建材	廻縁	アスベスト含有建材	備考	アスベスト含有建材
	玄関		コンクリート叩金ゴテ仕上	対象外	ラワン厚25 0.5 H=80	対象外	プリント合板張 2×8	対象外	木野縁40×40 吸音ボード 厚9mm張 V.P2	不検出			下駄箱	
	ホール		プライフロア一張	対象外	ラワン厚25 0.5 H=80	対象外	プリント合板張 2×8	対象外	木野縁40×40 吸音ボード 厚9mm張 V.P2 調査分析箇所	不検出				
	便所	洋風便器へ改修	プライフロア一張 改修後 プライフロア一張	対象外	ラワン厚25 0.5 H=80	対象外	プリント合板張 2×8	対象外	木野縁40×40 石膏ボード 厚9mm張 V.P2 調査分析箇所	不検出				
	洗面脱衣室		プライフロア一張	対象外	ラワン厚25 0.5 H=80	対象外	プリント合板張 2×8	対象外	木野縁40×40 大平板 厚5mm打上 調査分析箇所	有いμ3				
	浴室		50角モザイクタイル貼	対象外			100角施軸磁器タイル貼 H=1,200 腰上 ラスモルタル金ゴテ V.P2	対象外 対象外	木野縁40×40 大平板 厚5mm打上 調査分析箇所	有いμ3 大平板検出				
	台所		プライフロア一張 勝手口(コンクリート金ゴテ)	対象外 対象外	ラワン厚25 0.5 H=80	対象外	ラスモルタル金ゴテ V.P2 調査分析箇所	不検出	木野縁40×40 吸音ボード 厚9mm張 V.P2	不検出			流し台、吊戸棚、 ステンレス水切棚(1段) 戸棚、レンジフード	
	居間		フロアパネル(市松)張	対象外	ラワン厚25 0.5 H=80	対象外	プリント合板張 2×8	対象外	木野縁40×40 厚5.5T-1 ベニヤ下地 クロス貼	対象外			目録石	
	4.5帖間		畳敷(捨板松厚15mm)	対象外	ホタタミ寄せ	対象外	ラスボード下地プラスター 京壁仕上 調査分析箇所	有いμ3 京壁検出	木野縁40×40 杉 桎ベニヤ 目透し張	対象外	木廻縁	対象外	押入	
	6帖間(A)		畳敷(捨板松厚15mm)	対象外	ホタタミ寄せ	対象外	ラスボード下地プラスター 京壁仕上	有いμ3 京壁検出	木野縁40×40 杉 桎ベニヤ 目透し張	対象外	木廻縁	対象外	押入、床の間(床樞、床板、 床柱、落し掛、ウスベリ共、 掛軸金物付)	
	6帖間(B)		畳敷(捨板松厚15mm)	対象外	ホタタミ寄せ	対象外	ラスボード下地プラスター 京壁仕上	有いμ3 京壁検出	木野縁40×40 杉 桎ベニヤ 目透し張	対象外	木廻縁	対象外	押入 洋服タンス	
	6帖間(C)		畳敷(捨板松厚15mm)	対象外	ホタタミ寄せ	対象外	ラスボード下地プラスター 京壁仕上	有いμ3 京壁検出	木野縁40×40 杉 桎ベニヤ 目透し張	対象外	木廻縁	対象外	洋服タンス	

紫波署 拾得物 倉庫

竣工 S59年2月

主要用途 物置
構造種別 木造 平家建
延べ床面積 23.18㎡ (7.01坪)

6,370×3,640 = 23.18㎡ (7.01坪)

部位	工事経歴	年度	仕上	7μS以上含有	備考
R1 屋根	設計		長尺カラートタン厚0.4 瓦棒葺(真木無し)勾配2/10 アスファルトフェルト 22kg品	対象外 7μS以上 施工調査⑧	
軒天			野地板 合板 12mm	対象外	
H1 破風	設計		杉板 カラー鉄板包み 厚0.4	対象外	
0W 外壁	設計		センチュリーリシン厚12張り [スレート葺] 調査分析箇所	不検出 有いμ3	
開口部	設計		住宅用アルミサッシ	対象外	
基礎廻り	設計		ベニヤ仮枠打放し 床下換気孔150×300	対象外	
内部	設計		内部 床コンクリート 壁 木脚縁24*60下地 T-1ベニヤ厚5.5 天井 野地板あらわし	対象外	
その他	設計		内部 作付け欄3段		

紫波署 ボンベ庫

竣工 S50年3月

主要用途 物置
構造種別 コンクリートブロック造
延べ床面積 9.53㎡ (7.88坪) (CB390*298*150)

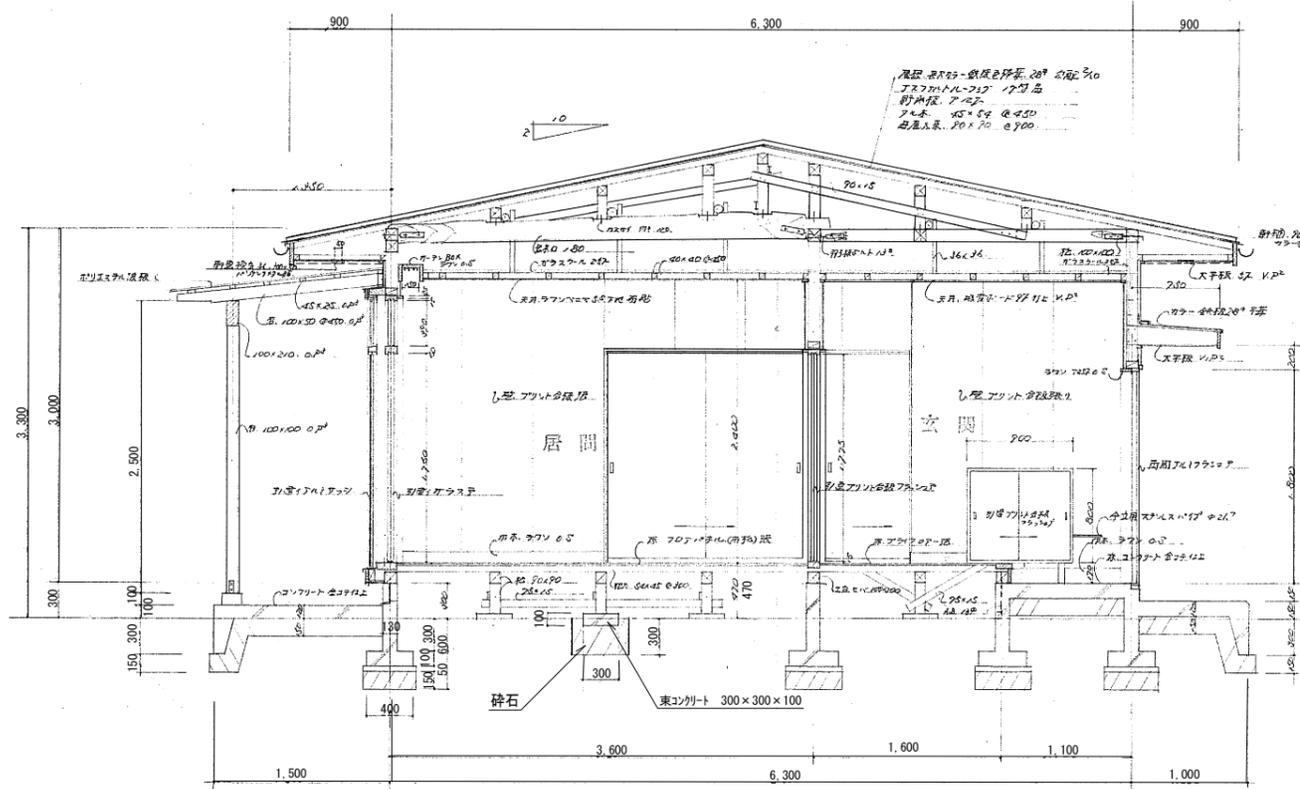
拾得物 倉庫 5,450×1,75 = 9.53㎡ (2.88坪)

部位	工事経歴	年度	仕上	7μS以上含有	備考
R1 屋根	設計		石綿小波スレート葺き 母屋 鉄骨C-90*45*10*2.3 @600	有いμ3 対象外	
H1 破風	設計		裏面 屋根共材役物 石綿スレート破風板	有いμ3	
0W 外壁	設計		下地 コンクリートブロック(390*290*150) モルタル刷毛引きアクリル樹脂収付け 調査分析箇所	対象外 不検出	
開口部	設計		鋼製両開き戸 OP 換気口 上下 60*30*10*2.3軽量枠 9@格子 24箇所	対象外 対象外	
基礎廻り	設計		ベニヤ仮枠打放し	対象外	
内部	設計		内部 床コンクリート 壁 CBあらわし 天井 屋根裏あらわし		
その他					

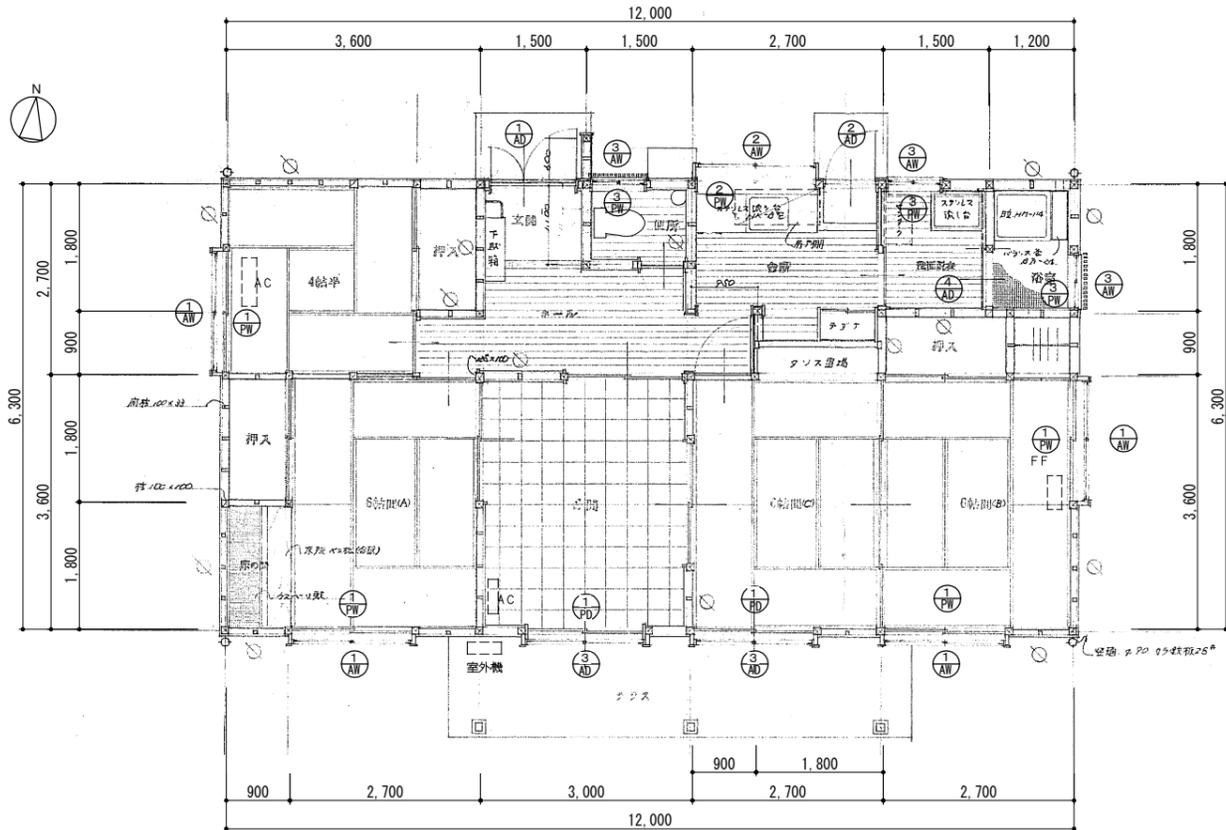
凡例
 解体設計時のアスベスト分析調査部分を示す。
 解体設計時のアスベスト検出部分を示す。

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製	担	当	検	印	特記	年月日	図面内容	縮尺	区分	図面番号
							※ 定性分析については、有又は不検出(0.1%以下)					

1-2



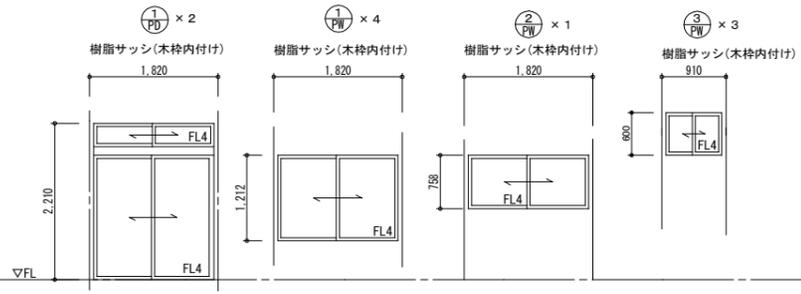
断面詳細図 1/30



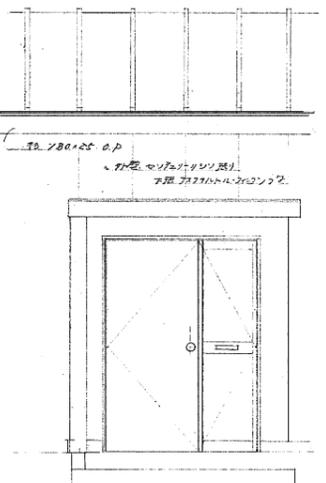
平面詳細図 1/50

1-2

改修 樹脂サッシ建具表



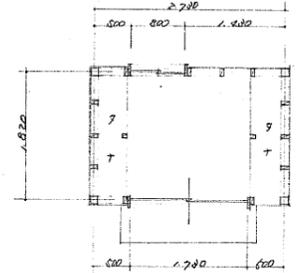
樹脂サッシ建具表 1/50



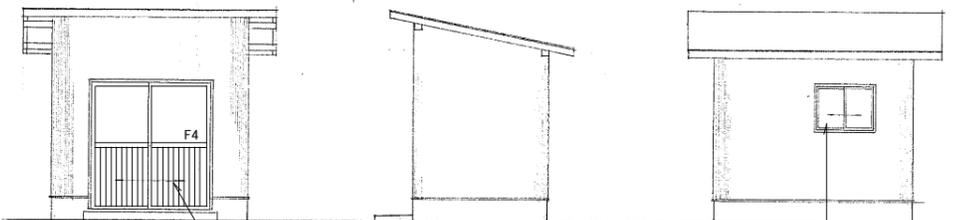
玄関 姿図

(※) 改修の記載は平成13年4月時点の改修図によるものであり、全て解体・撤去・処分

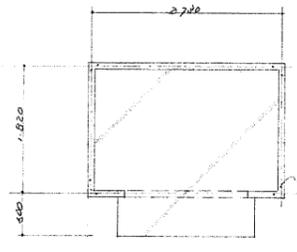
1-6 物置



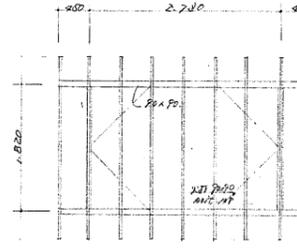
平面図 1/50



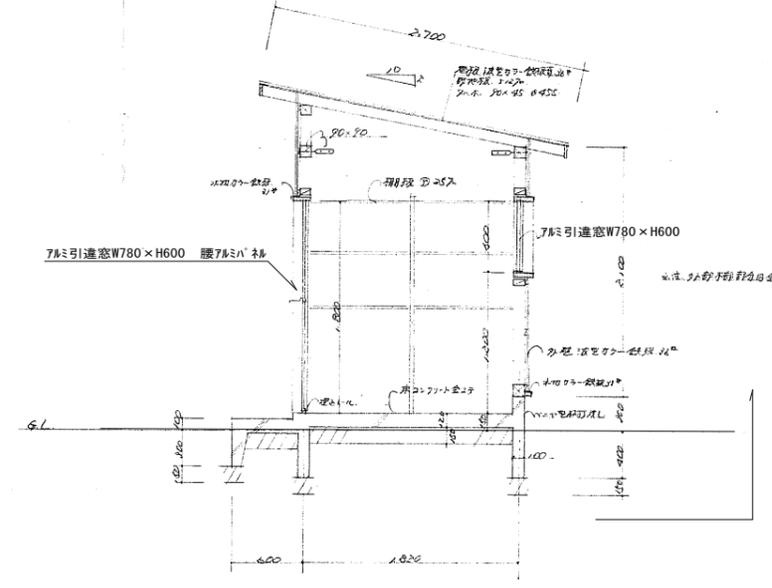
立面図 1/50



基礎伏 1/50



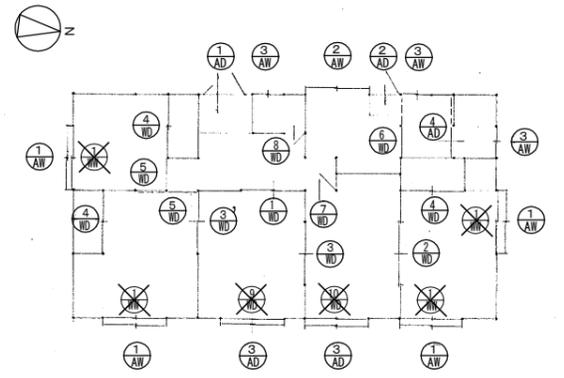
小屋伏 1/50



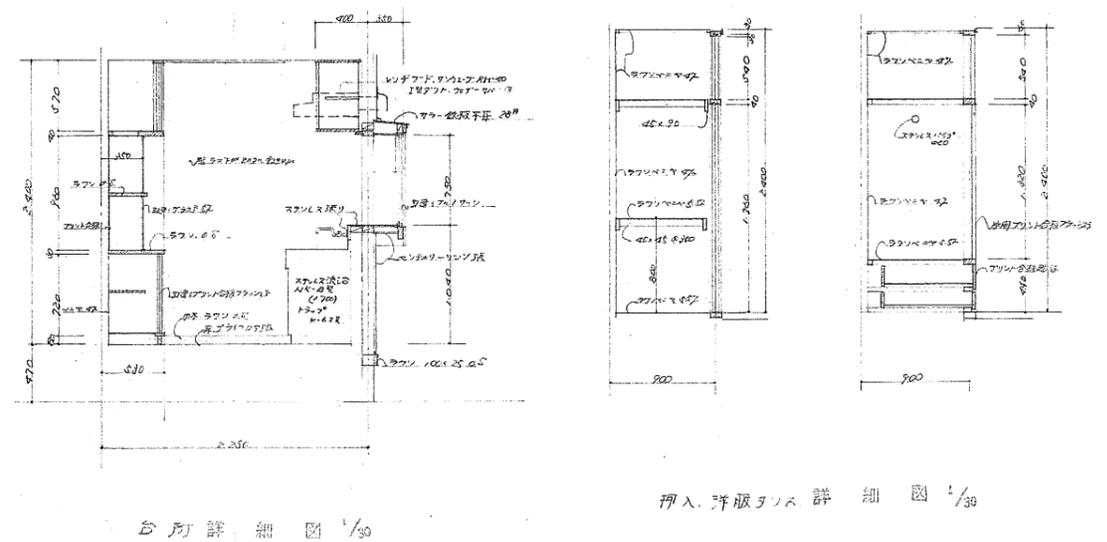
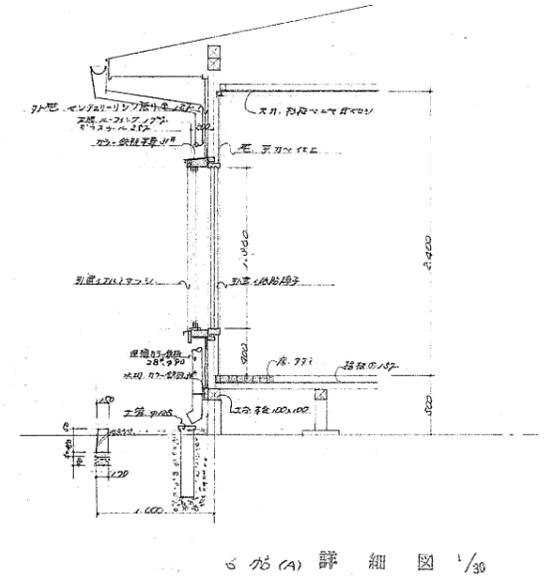
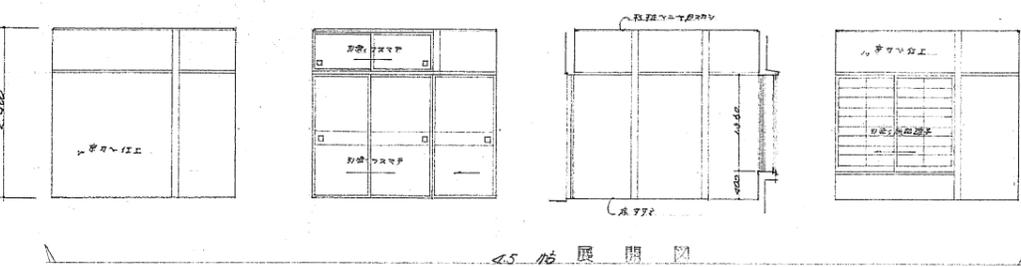
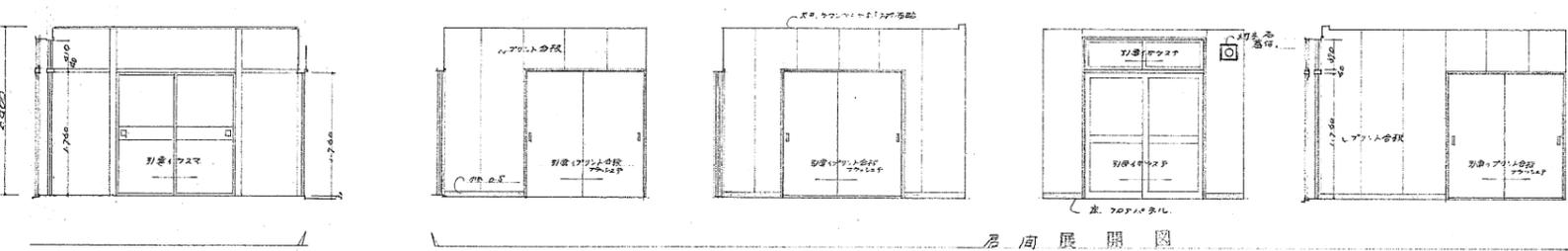
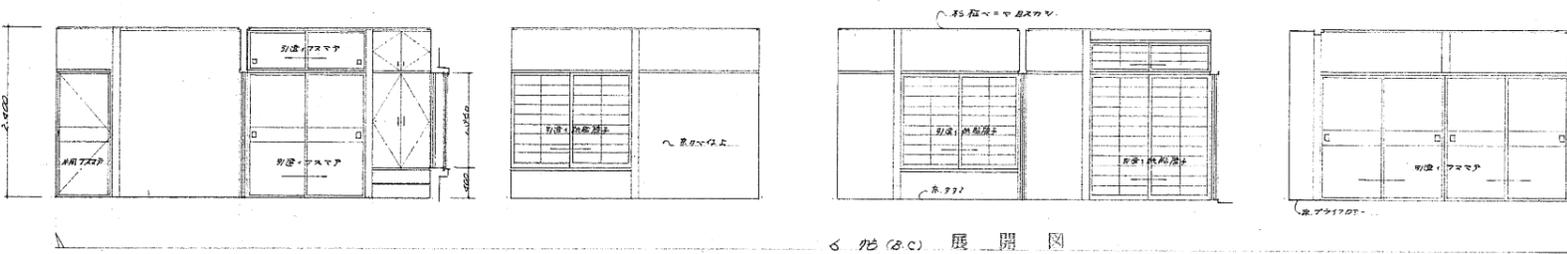
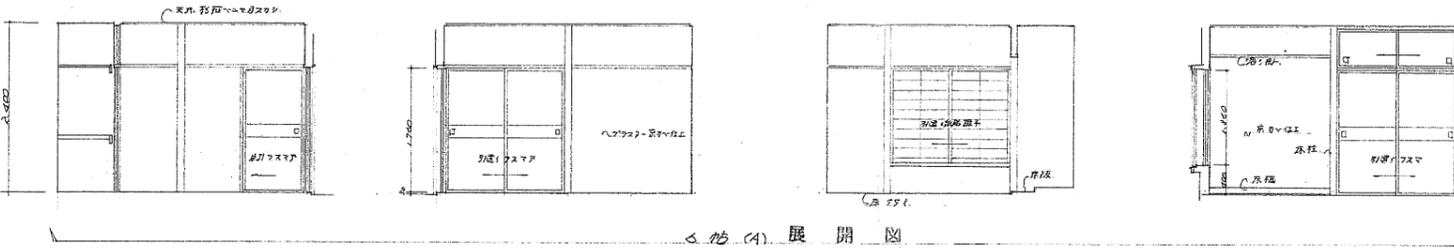
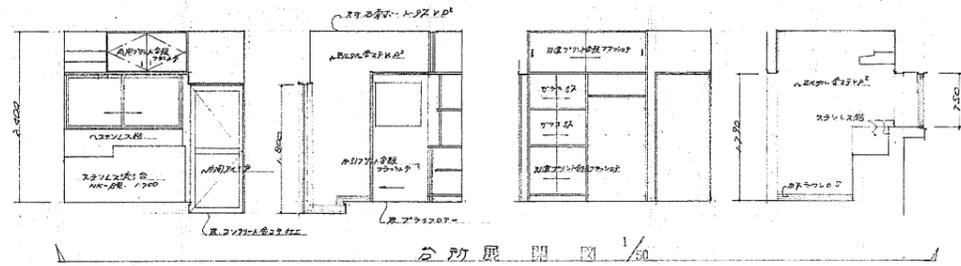
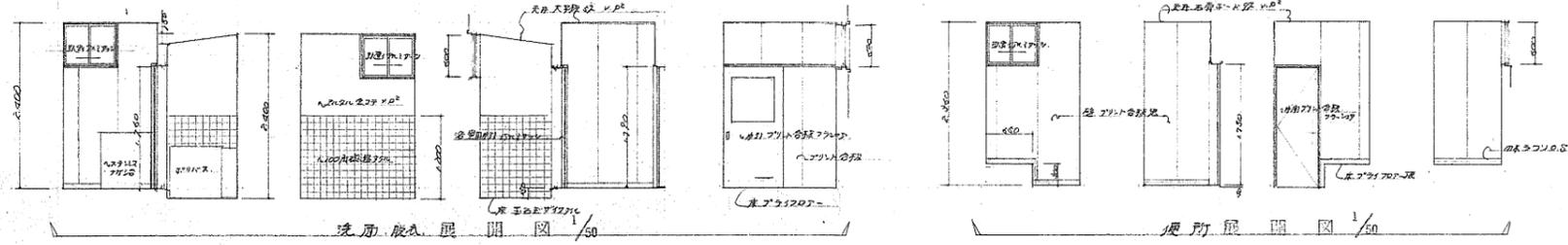
断面詳細図 1/30

工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	2024.07	図面内容 1-2 宿舍(署長宿舍) 平面図詳細図、矩計図 1-6 物置 平面図、立面図、 基礎・小屋伏図、矩計図	縮尺 A1 1/50 A3 1/100 A1 1/50 1/30 A3 1/100 1/60	区分	意匠図	図面番号	KDO-24
						設計番号	2023-044						

行号	① AD 両開アルミサッシ 1ヶ所	② AD 片開アルミサッシ 1ヶ所	③ AD 両開アルミサッシ ランマ付 2ヶ所	④ AD 片開アルミサッシ (浴室用) 1ヶ所	① AW 両開アルミサッシ 4ヶ所	② AW 両開アルミサッシ 1ヶ所	③ AW 両開アルミサッシ 3ヶ所	
仕様								
仕様	アルミ	全 左	全 左	全 左	全 左	全 左	全 左	
金物	附属金物一式、DC	全 左	附属金物一式	全 左	全 左	全 左	全 左	
ガラス	複ガラス 4mm	複ガラス 6mm	ト-メ 8mm	複ガラス 4mm	ト-メ 8mm	複ガラス 4mm	全 左	
その他	郵便受付		アイド付		アイド付		アイド付	
行号	① WD 引違いアルミサッシ 1ヶ所	② WD 引違いアルミサッシ 1ヶ所	③ WD 引違いアルミサッシ 1ヶ所	④ WD 引違いアルミサッシ 3ヶ所	⑤ WD 引違いアルミサッシ 2ヶ所	⑥ WD 引違いアルミサッシ 1ヶ所	⑦ WD 引違いアルミサッシ 1ヶ所	⑧ WD 引違いアルミサッシ 1ヶ所
仕様								
仕様	アルミサッシ	新島サッシ、カシメ	新島サッシ、アルミサッシカシメ	新島サッシ、カシメ	新島サッシ、アルミサッシカシメ	アルミサッシ	新島サッシ、アルミサッシカシメ	アルミサッシ
金物	L-ル、戸車、引子	引子	引子	引子	引子	引子、L-ル、戸車	戸車、引子、二層ガラス	戸車、表示目隠玉
ガラス	複ガラス 2mm					複ガラス 2mm		
その他	見込 26	見込 26	見込 26	見込 26	見込 26	見込 26	見込 26	見込 26
行号	① WD 引違いガラスサッシ ランマ付 1ヶ所	② WD 引違いガラスサッシ ランマ付 1ヶ所	③ WD 引違いガラスサッシ 4ヶ所					
仕様								
仕様	ガラス、カシメ	新島サッシ	全 左					
金物	L-ル、戸車、引子	引子	全 左					
ガラス	複ガラス 4mm							
その他	見込 26	見込 30	見込 30					



工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 宿舎(署長宿舎) 1-2 既存建具キープラン 既存建具表	縮尺 A1 1/100 A3 1/100 A1 1/50 A1 1/100	区分 意匠図	図面番号 KDO-25
						設計番号				

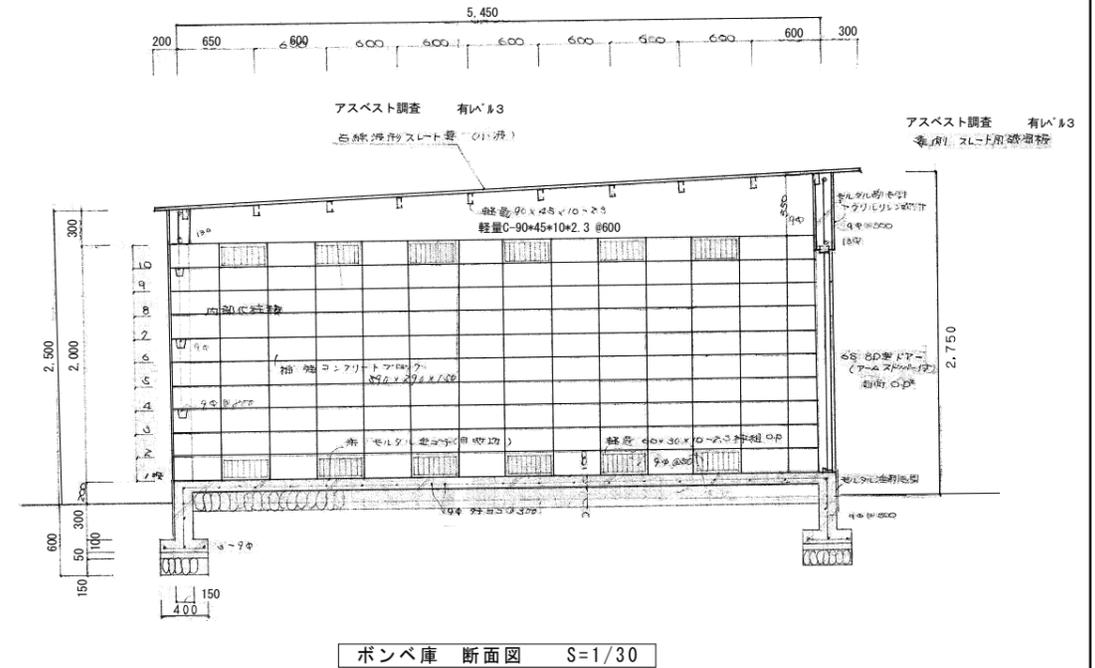
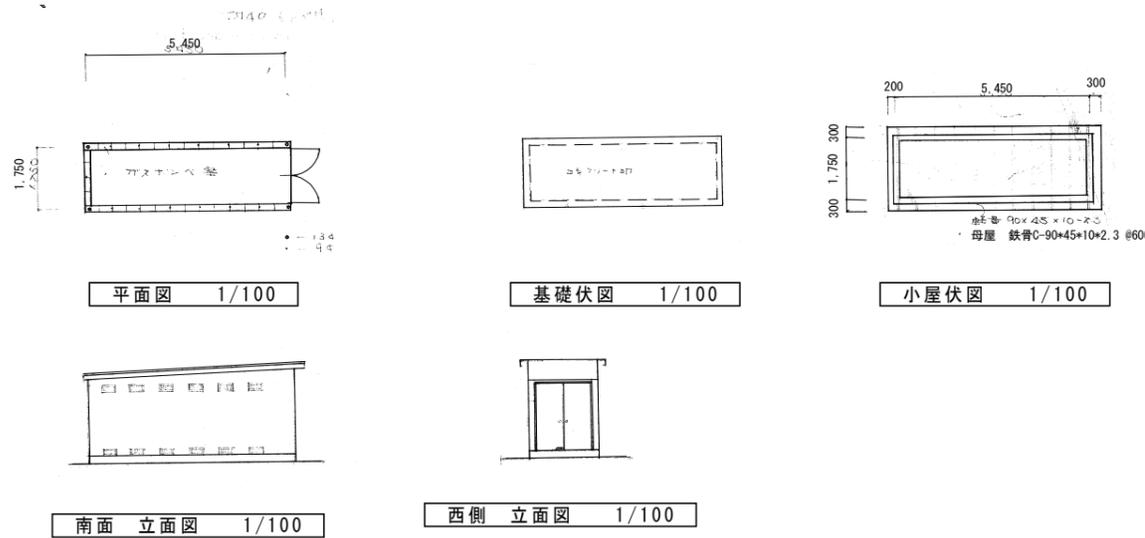


工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 1-2 宿舍(署長宿舍) 既存展開図	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	区分 意匠図	図面番号 KDO-26
						設計番号				

1-7 ポンベ庫 コンクリートブロック造 平家建て

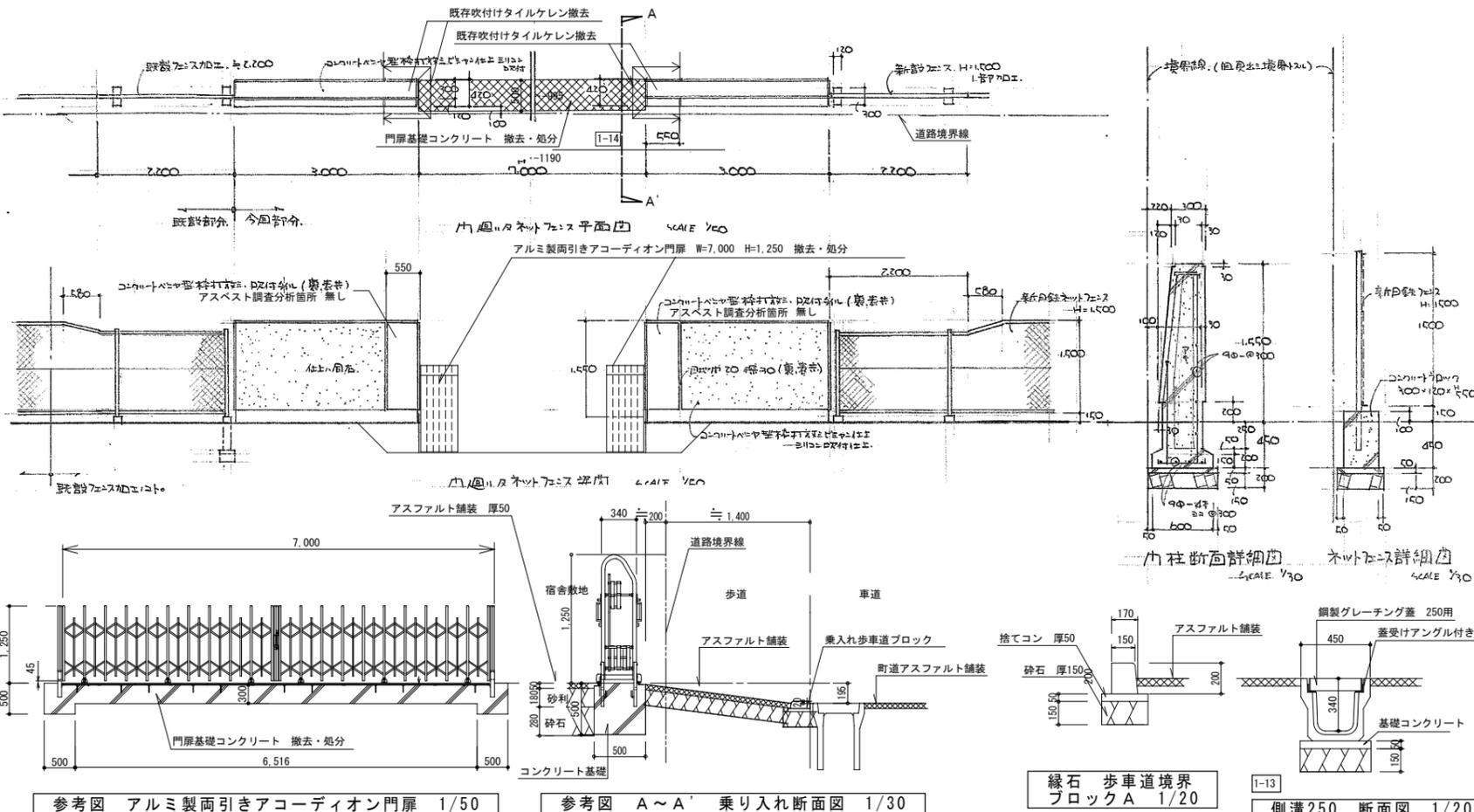
紫波署宿舎 ポンベ庫
竣工 S50年3月
延べ床面積 9.53㎡ (2.88坪) (CB390*298*150)

- R1 屋根 石綿小波スレート葺き アスベスト調査分析箇所 有り 1/3
母屋 鉄骨C-90*45*10*2.3 #600
表面 石綿スレート破風板 アスベスト調査 有り 1/3
- H1 破風
- OW 外壁 下地 コンクリートブロック (390*290*150)
モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付け
換気口 上下 60*30*10*2.3軽量枠 9#格子 24箇所
- 開口部 鋼製両開き戸 OP
- 基礎廻り ベニヤ板打放し
- 内部 内部 床コンクリート
壁 CBあらわし
天井 屋根裏あらわし

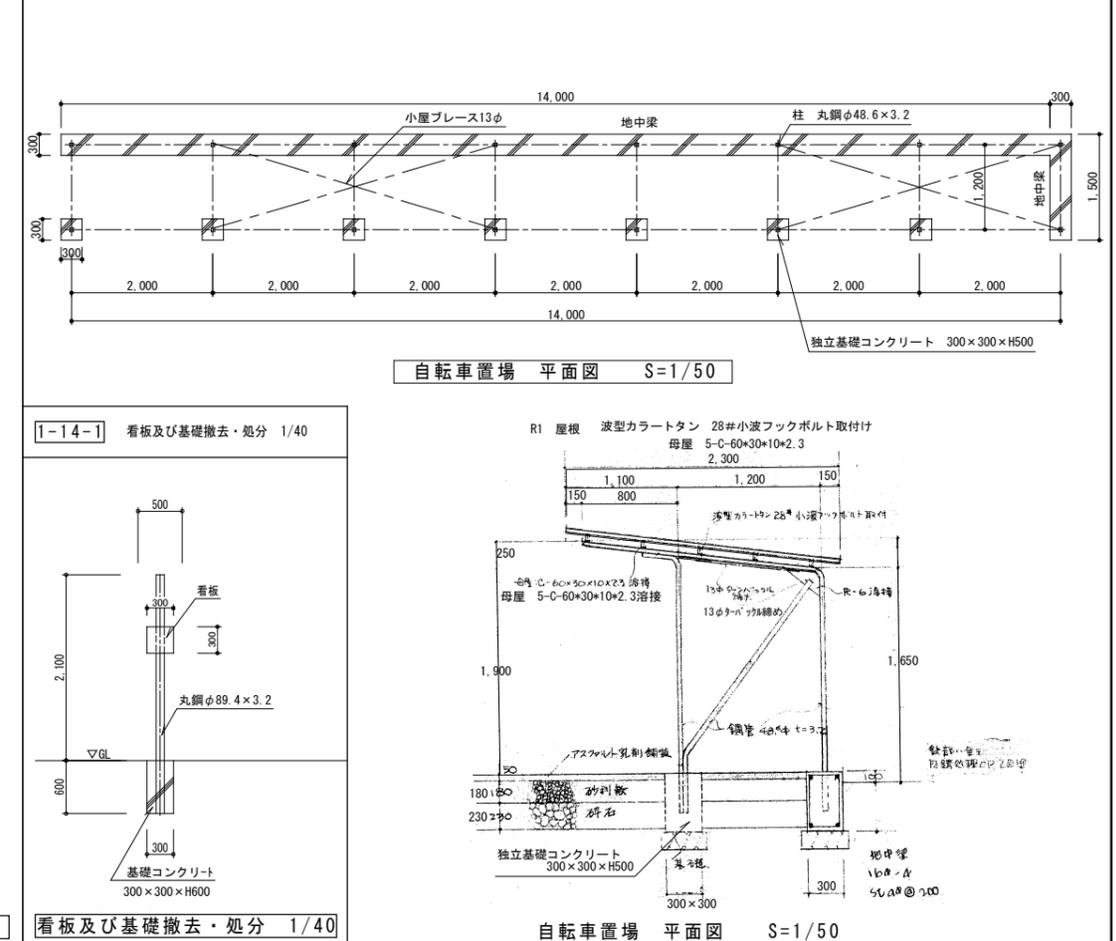


解体設計時のアスベスト検出部分を示す。

1-14 門扉(両袖門扉)



1-5 自転車置場 解体・処分



工事名 紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事

製 担 担 担 担
図 当 当 当 当
 当 当 当 当
 当 当 当 当
 当 当 当 当
 当 当 当 当

特記
※ 定性分析については、有又は不検出(0.1※以下)

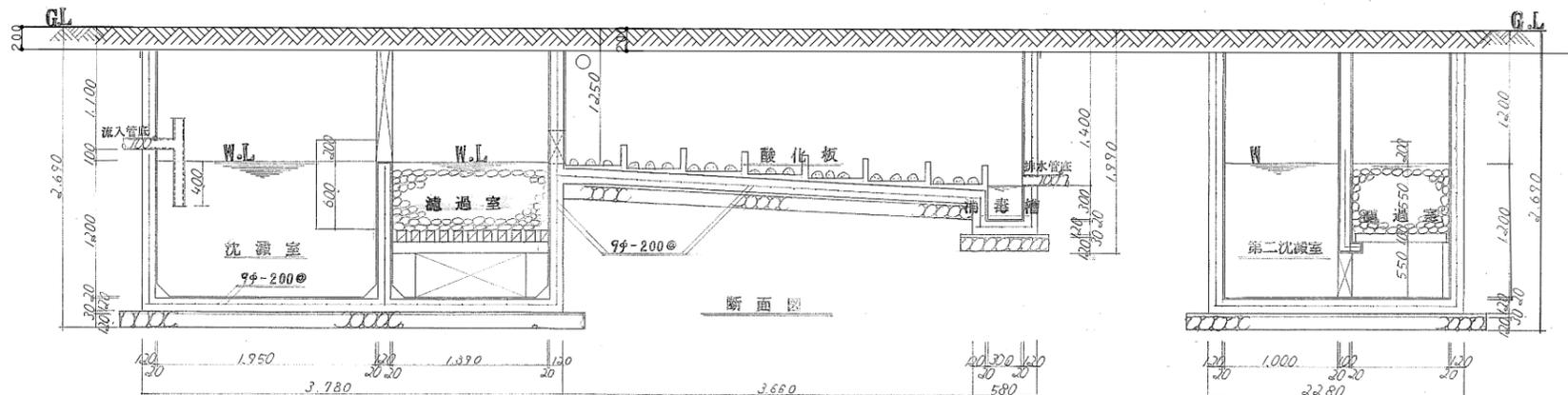
年月日
設計番号

図面内容
1-5 自転車置場
1-7 ポンベ庫
1-14 既存門扉

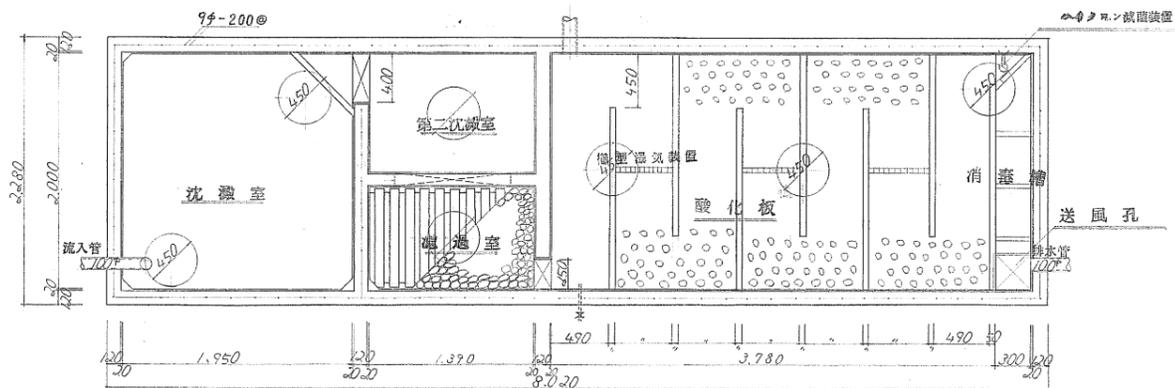
縮尺
A1 1/50 1/30
A1 1/100 1/30
A1 1/50 1/30

区分
意匠図

図面番号
KD0-28



第二沈澱室
濾過室 断面図

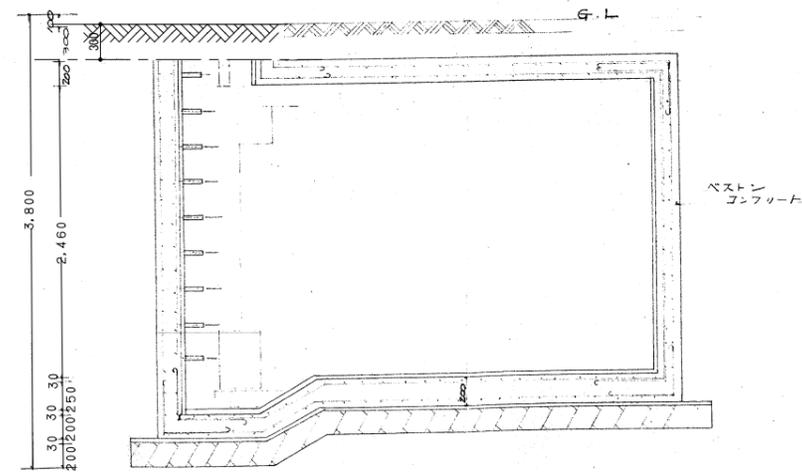
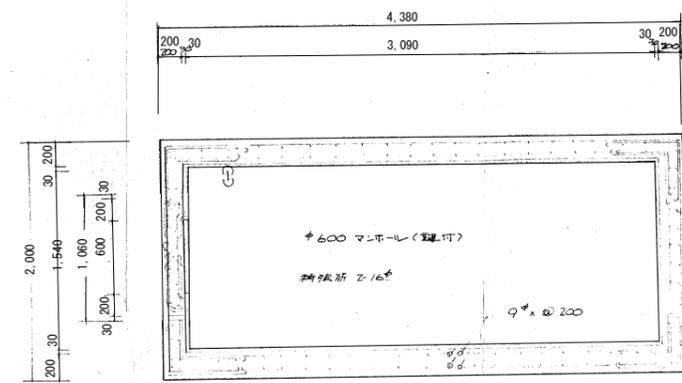


三益式尿尿浄化槽設計図 60人当

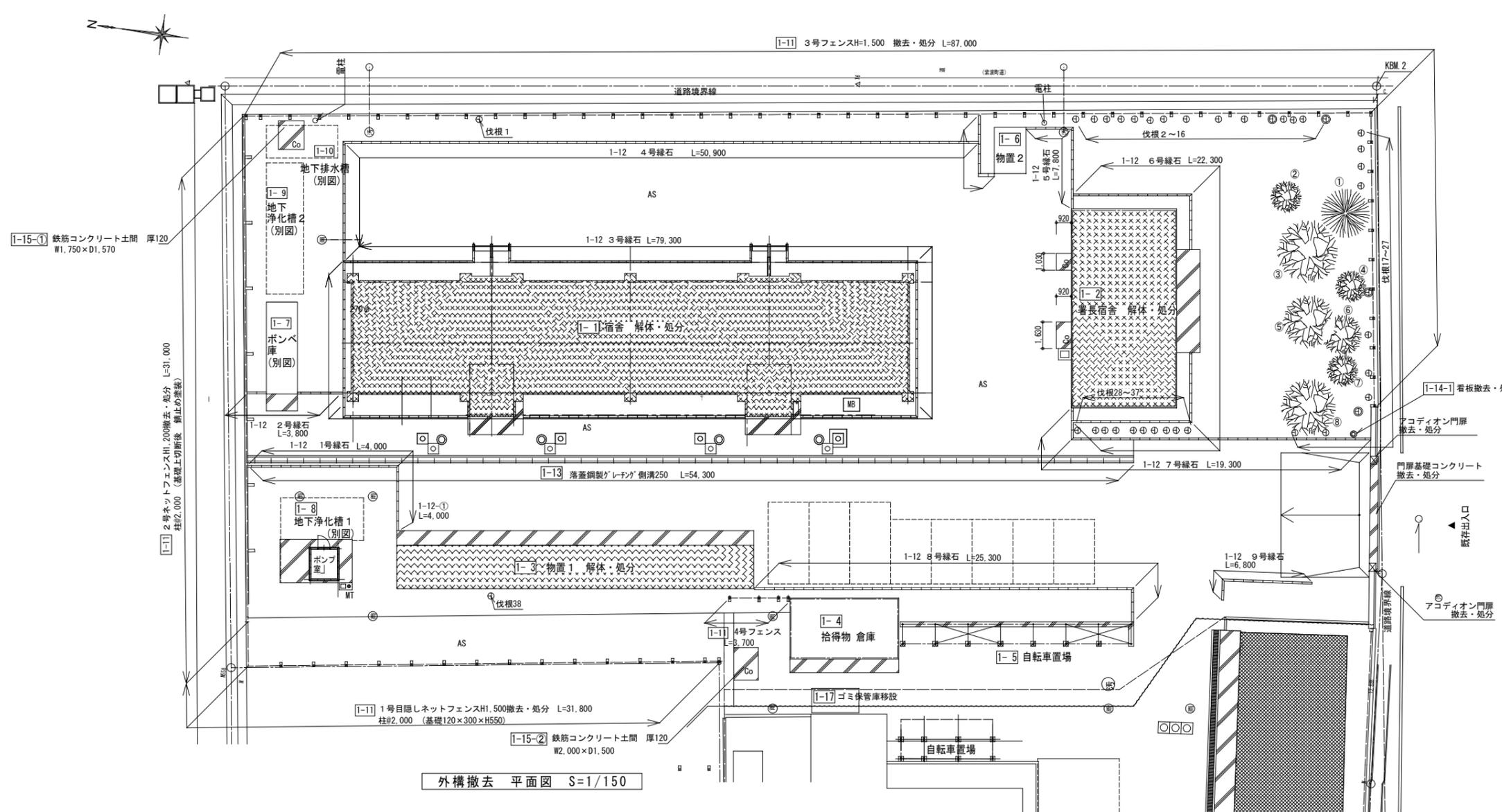
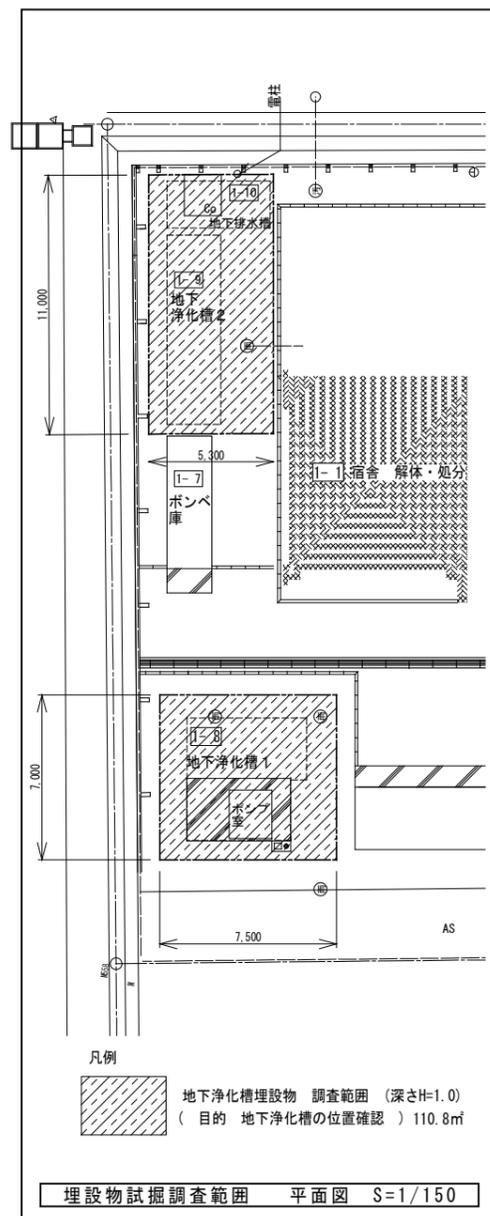
型式	参考型	平面敷設型 (与床高-0.5m以下)	(2) (3) (4)	
第1沈澱室	2000	1950	1200	4680
第2沈澱室	1390	1000	1200	1668
濾過室	1390	0860	0550	0658
硝化槽	3780	2000		7530
消毒槽	2000	0300	0300	0180
有効槽容量				7.006 m ³

岩手県警察本部警察署職員宿舎建築工事設計図

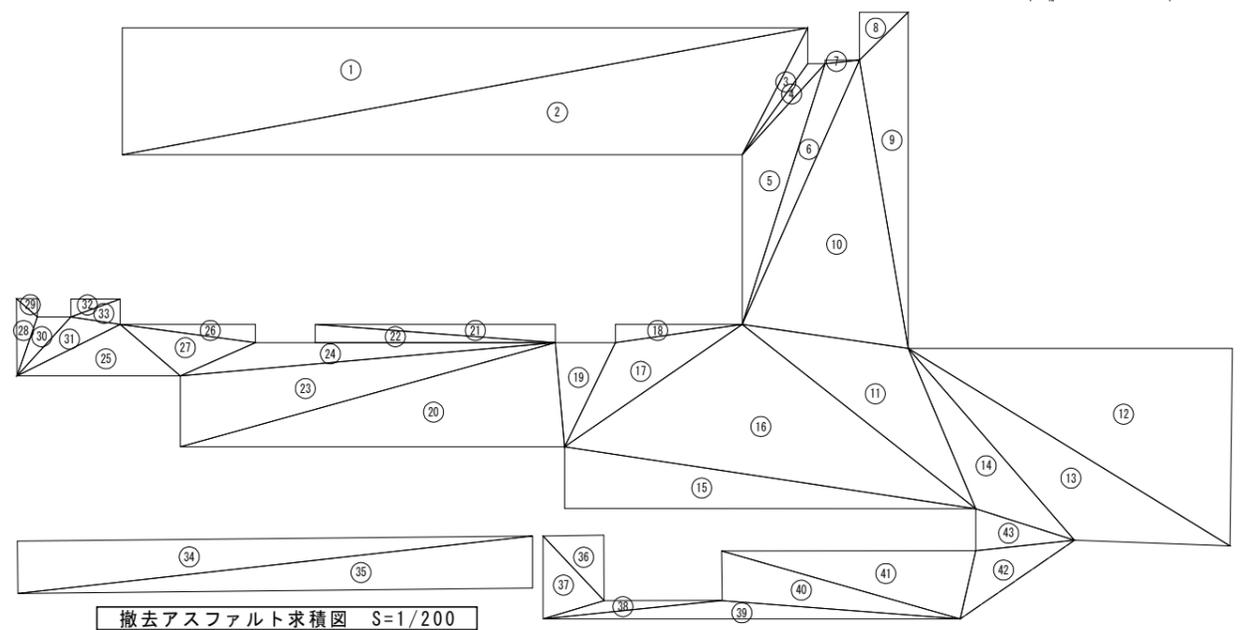
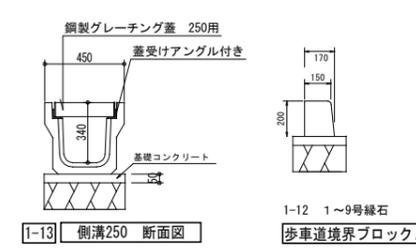
No. 6	所別	浄化槽 8-1/30
IN 7	設計	
昭和49年度	岩手県土木部建築課	



工 事 名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製 図 担 当 検 印	特 記	年 月 日	図 面 内 容	縮 尺	区 分	図 面 番 号
				設 計 番 号		1-9 地下浄化槽 2		
					1-10 地下排水槽	A1 1/30 A3 1/60		



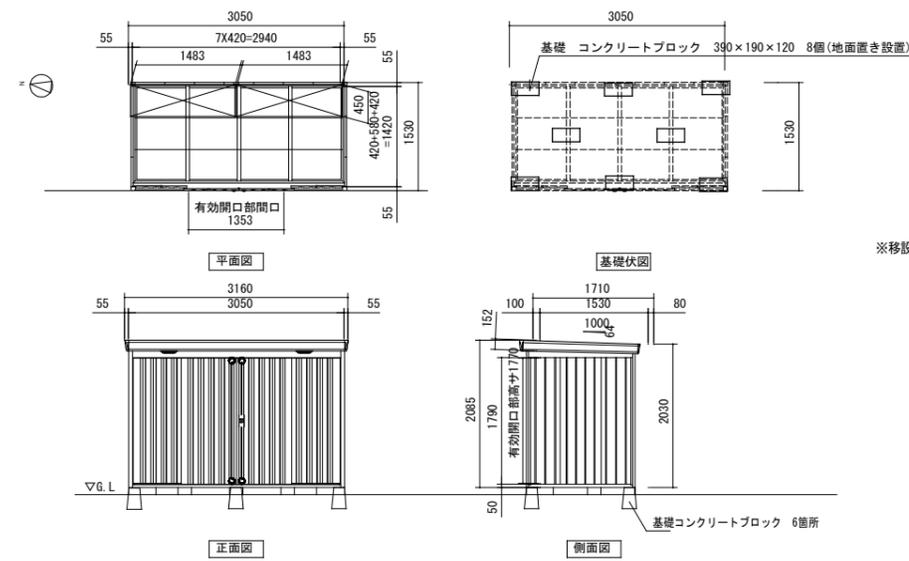
- 1-17
- 記号
- ① 庭木 (モミジ) φ3,000 H=3,600 伐採・伐根・処分
 - ② 庭木 (ドウダンツツジ) φ1,500 H=1,500 伐採・伐根・処分
 - ③ 庭木 (サツキツツジ) φ2,000 H=1,300 伐採・伐根・処分
 - ④ 庭木 (サツキツツジ) φ1,100 H=600 伐採・伐根・処分
 - ⑤ 庭木 (サツキツツジ) φ2,200 H=1,200 伐採・伐根・処分
 - ⑥ 庭木 (オオムラサツキツツジ) φ1,800 H=1,200 伐採・伐根・処分
 - ⑦ 庭木 (サツキツツジ) φ1,100 H=1,100 伐採・伐根・処分
 - ⑧ 庭木 (オオムラサツキツツジ) φ2,200 H=1,200 伐採・伐根・処分
 - ⑨ 伐根 1 ~ 38 径150以下 33箇所 伐根・処分
 径300以下 5箇所 伐根・処分



撤去アスファルト求積表

1	38.81 × 7.19 ÷ 2 =	139.52	26	7.64 × 1.04 ÷ 2 =	3.97
2	39.47 × 6.39 ÷ 2 =	126.11	27	7.71 × 2.43 ÷ 2 =	9.37
3	8.09 × 0.94 ÷ 2 =	3.80	28	4.37 × 1.17 ÷ 2 =	2.56
4	6.96 × 0.72 ÷ 2 =	2.51	29	1.18 × 1.04 ÷ 2 =	0.61
5	15.48 × 2.91 ÷ 2 =	22.52	30	4.52 × 1.41 ÷ 2 =	3.19
6	16.36 × 1.70 ÷ 2 =	13.91	31	6.54 × 1.62 ÷ 2 =	5.30
7	1.95 × 0.20 ÷ 2 =	0.20	32	2.79 × 1.03 ÷ 2 =	1.44
8	2.77 × 2.71 ÷ 2 =	3.75	33	2.97 × 1.35 ÷ 2 =	2.00
9	19.02 × 2.77 ÷ 2 =	26.34	34	29.32 × 2.93 ÷ 2 =	42.95
10	16.55 × 9.05 ÷ 2 =	74.89	35	29.32 × 2.93 ÷ 2 =	42.95
11	16.84 × 4.76 ÷ 2 =	40.08	36	5.03 × 2.53 ÷ 2 =	6.36
12	21.37 × 9.58 ÷ 2 =	102.36	37	5.03 × 3.22 ÷ 2 =	8.10
13	21.37 × 4.34 ÷ 2 =	46.37	38	10.16 × 0.68 ÷ 2 =	3.45
14	14.36 × 3.06 ÷ 2 =	21.97	39	23.07 × 0.89 ÷ 2 =	10.27
15	23.53 × 3.46 ÷ 2 =	40.71	40	13.43 × 2.70 ÷ 2 =	18.13
16	23.53 × 8.34 ÷ 2 =	98.12	41	14.39 × 3.51 ÷ 2 =	25.25
17	12.20 × 3.21 ÷ 2 =	19.58	42	8.13 × 2.31 ÷ 2 =	9.39
18	7.17 × 1.04 ÷ 2 =	3.73	43	5.87 × 2.27 ÷ 2 =	6.66
19	6.55 × 3.05 ÷ 2 =	9.99		合計 =	1148.57㎡
20	22.03 × 5.81 ÷ 2 =	64.00			
21	13.60 × 1.04 ÷ 2 =	7.07			
22	13.60 × 1.04 ÷ 2 =	7.07		求積表合計 =	1,148.57㎡
23	22.03 × 3.86 ÷ 2 =	42.52		1-15-② 減 1.5 × 2 =	-3.0㎡
24	21.32 × 1.50 ÷ 2 =	15.99		側溝減 54.3 × 0.45 =	-24.43㎡
25	9.25 × 2.92 ÷ 2 =	13.51		撤去アスファルト舗装 =	1,121.44㎡

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 外構撤去 平面図 撤去アスファルト求積図 平面図	縮尺 A1 1/150 A3 1/300 A1 1/200 A3 1/400	区分 意匠図	図面番号 KDO-31
						設計番号				

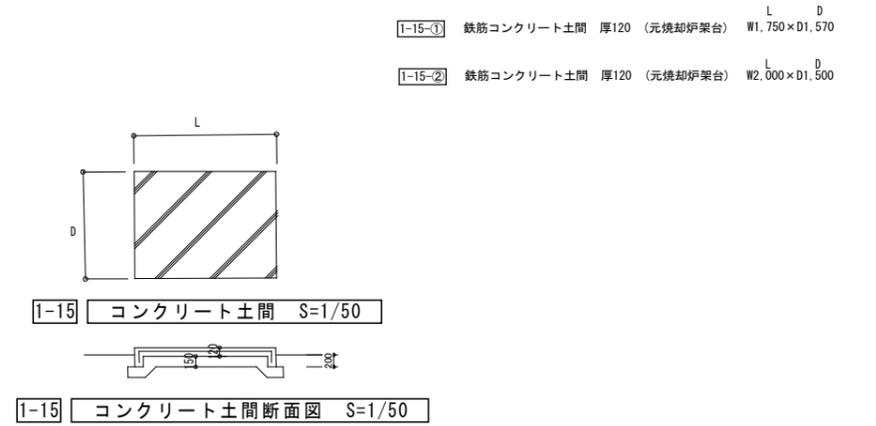


※移設後、コンクリート基石の基礎設置の上、緊結の事。
 基石基礎(参考図) 羽子板付基石...6か所
 基石...2か所
 根入れ深さ200

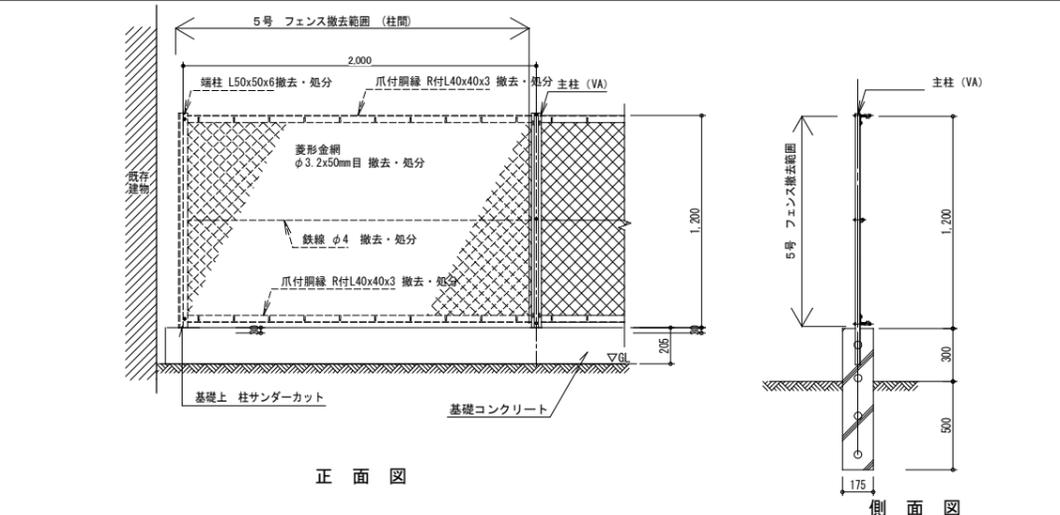
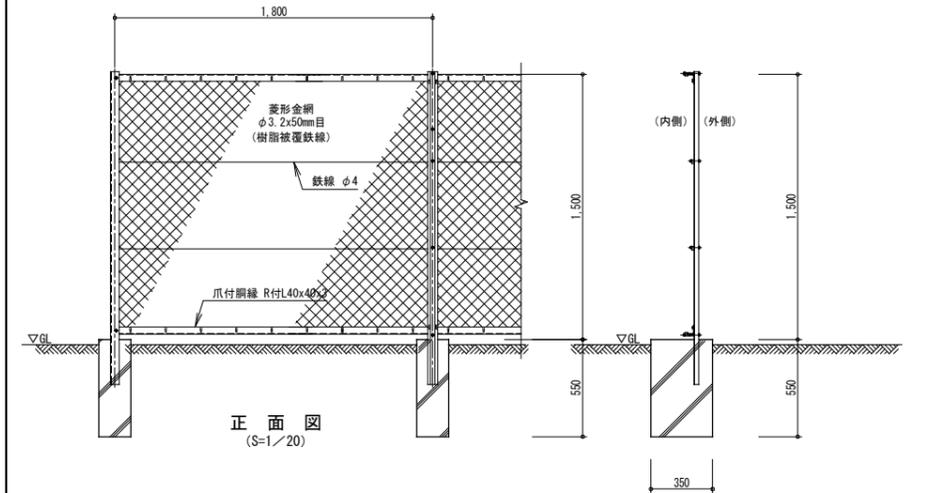
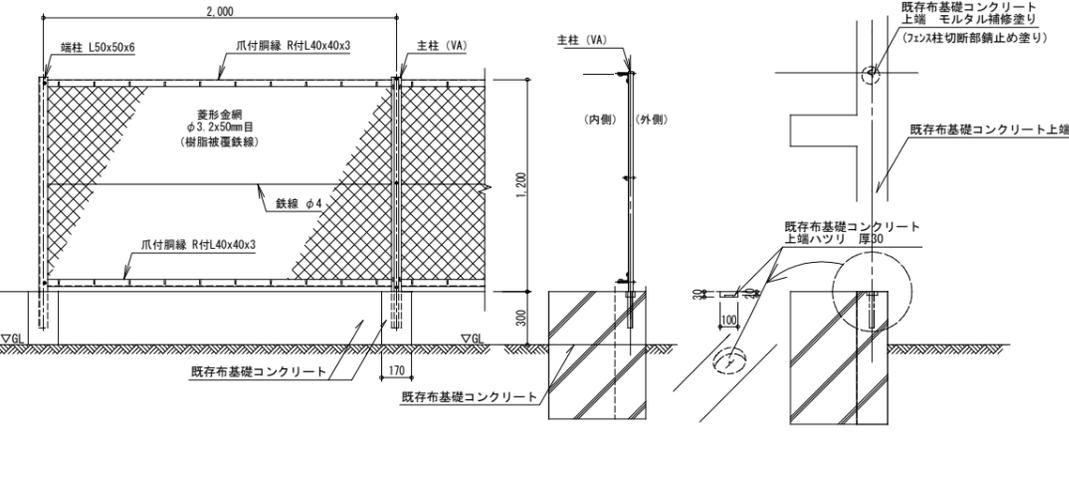
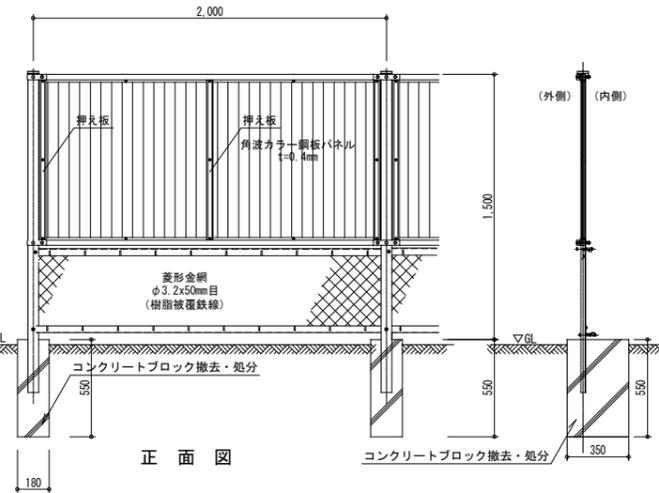
稲葉物置 スリマン MGW 全体重量 約311kg

品番	部品名	材料(材質)	板厚(mm)	
1	土台取付板	SGMH400 K27	2.3	
2	土台	SGC400 F12	1.2	
3	根木	SGCC F12	1.2	
4	柱	SGC400 F12	1.2	
5	床パネル	SGCC F12	1.0	
6	鴨居	SZAC400 Y10	1.0	
7	桁後	SZAC400 Y10	1.0	
8	妻板左右	SZAC400 Y10	0.7	
9	鼻隠シ前後	SZACC Y10	0.7	
10	屋根パネル	SZAC400 Y10	0.5	
11	母屋中(3050mm)	一般型	SGC400 F12	1.2
		多層型	SGH400 F12	2.3
		豪雪型	SGH400 F12	2.3+1.6
12	壁パネル	SGC400 F12	0.6	
13	正面パネル	SGC400 F12	0.7	
14	扉	SGCC F12	0.8	
15	棚板	SECC E8	0.6	
16	アンカープレート	SGHC F12	2.3	

SGMH400: 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323)
 SGC400, SGCC, SGH400, SGHC: 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
 SZAC400, SZACC: 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
 SECC: 電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313)

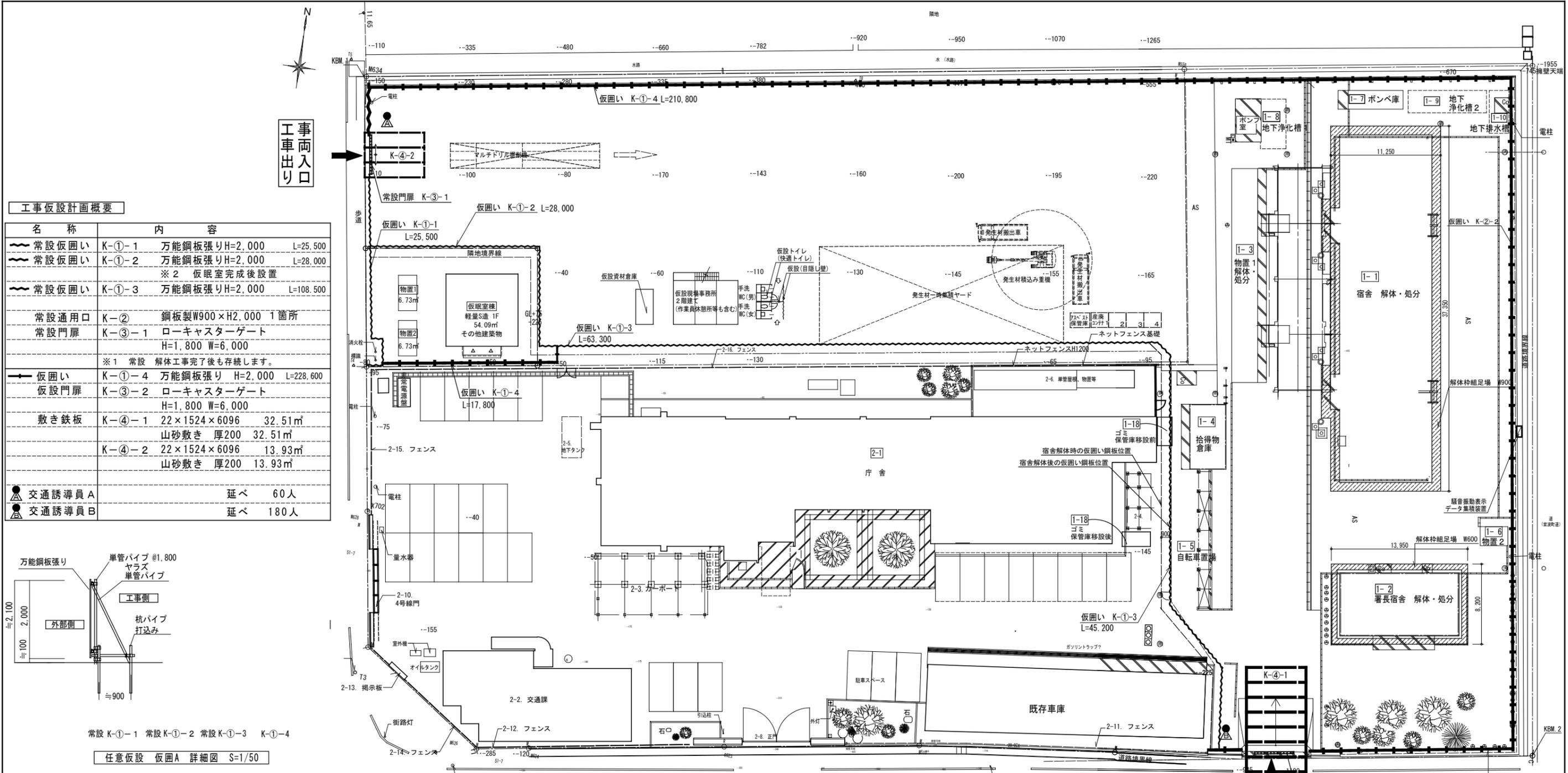


1-15-① 鉄筋コンクリート土間 厚120 (元焼却炉架台) L D W1,750×D1,570
 1-15-② 鉄筋コンクリート土間 厚120 (元焼却炉架台) L D W2,000×D1,500



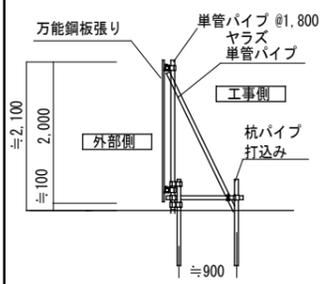
工事名 紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事

製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容	縮尺	区分	図面番号
					1-11 1~5号フェンス	A1 1/20	意匠図	KDO-32
					1-15-② コンクリート土間	A1 1/50		
					1-18 ゴミ保管庫移設	A1 1/50		

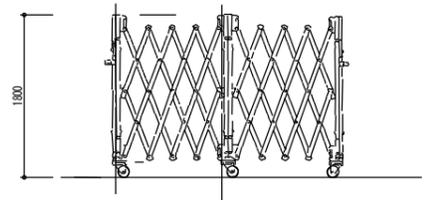


工事仮設計画概要

名称	内容
常設仮囲い	K-①-1 万能鋼板張りH=2,000 L=25,500
常設仮囲い	K-①-2 万能鋼板張りH=2,000 L=28,000
常設仮囲い	K-①-3 万能鋼板張りH=2,000 L=108,500
常設通用口	K-② 鋼板製W900×H2,000 1箇所
常設門扉	K-③-1 ローキャスターゲート H=1,800 W=6,000
※1 常設 解体工事完了後も存続します。	
仮囲い	K-①-4 万能鋼板張り H=2,000 L=228,600
仮設門扉	K-③-2 ローキャスターゲート H=1,800 W=6,000
敷き鉄板	K-④-1 22×1524×6096 32.51㎡ 山砂敷き 厚200
	K-④-2 22×1524×6096 13.93㎡ 山砂敷き 厚200
交通誘導員A	延べ 60人
交通誘導員B	延べ 180人



任意仮設 仮囲A 詳細図 S=1/50

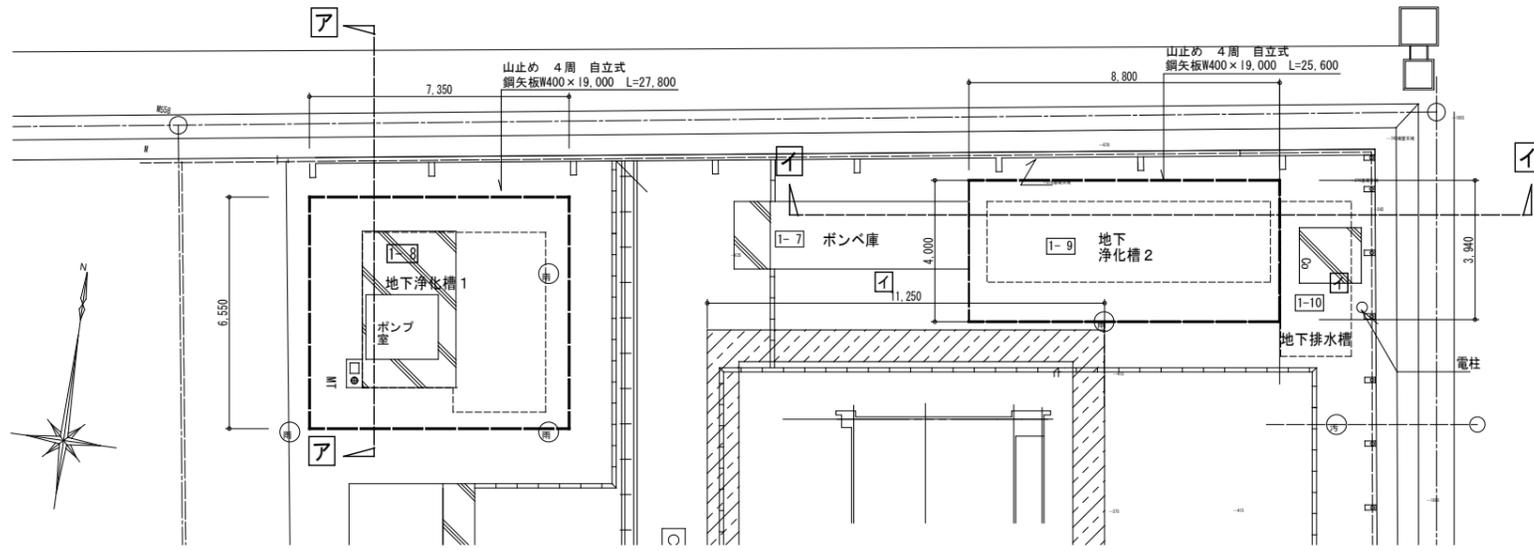


参考図 ローキャスターゲート 姿図

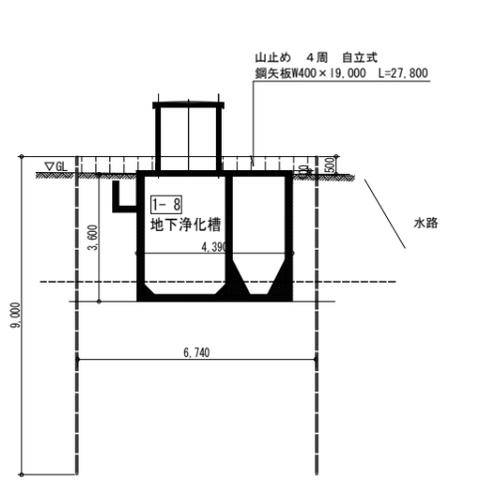
(参考) 仮設計画図 S=1/200

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 (参考) 仮設計画 平面図	縮尺 A1 1/200 A3 1/400	区分 意匠図	図面番号 KDO-33
						設計番号				

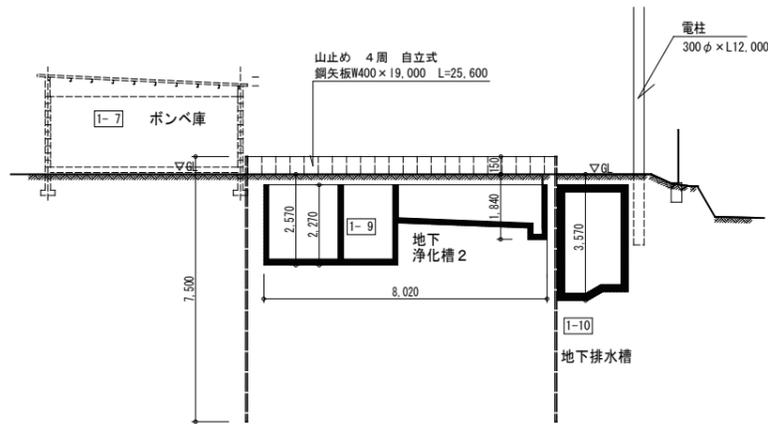
参考 仮設山留め計画図



仮設山留め計画図 S=1/100



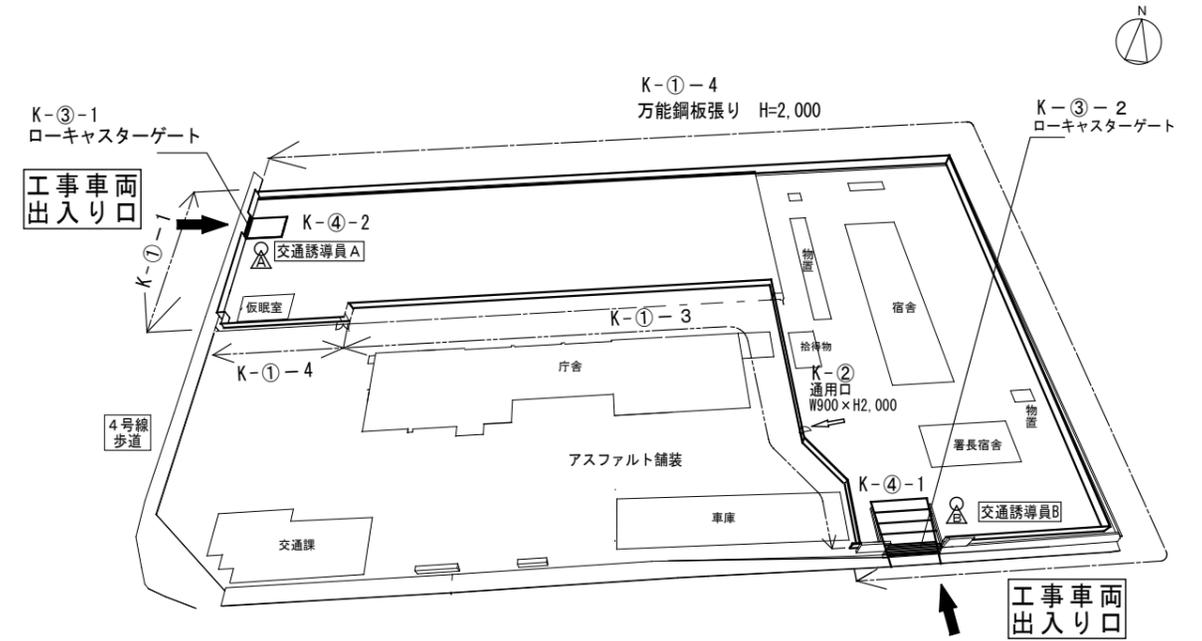
仮設計画 山留め断面図 S=1/100



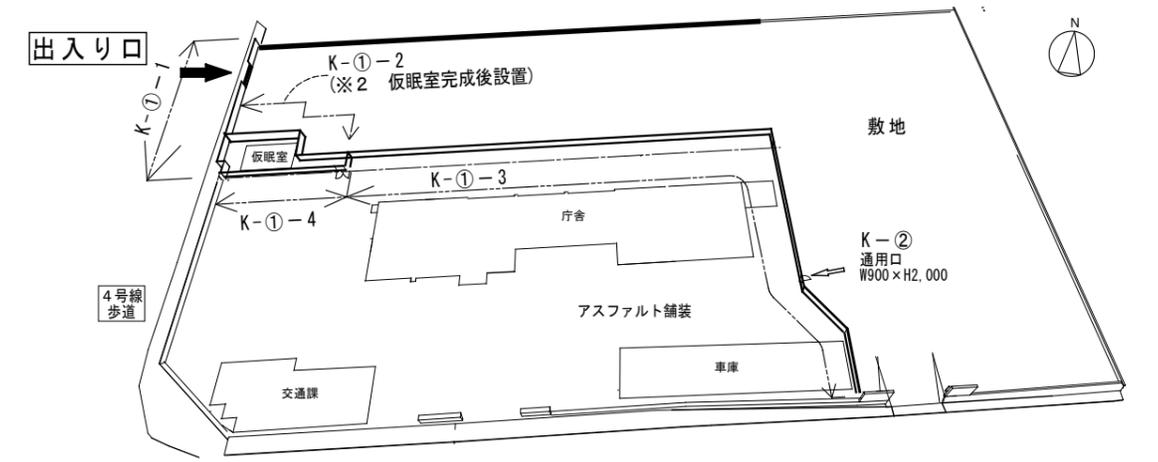
仮設計画 山留め断面図 S=1/100

仮設山留め計画図 S=1/100

参考 仮設計画 説明図

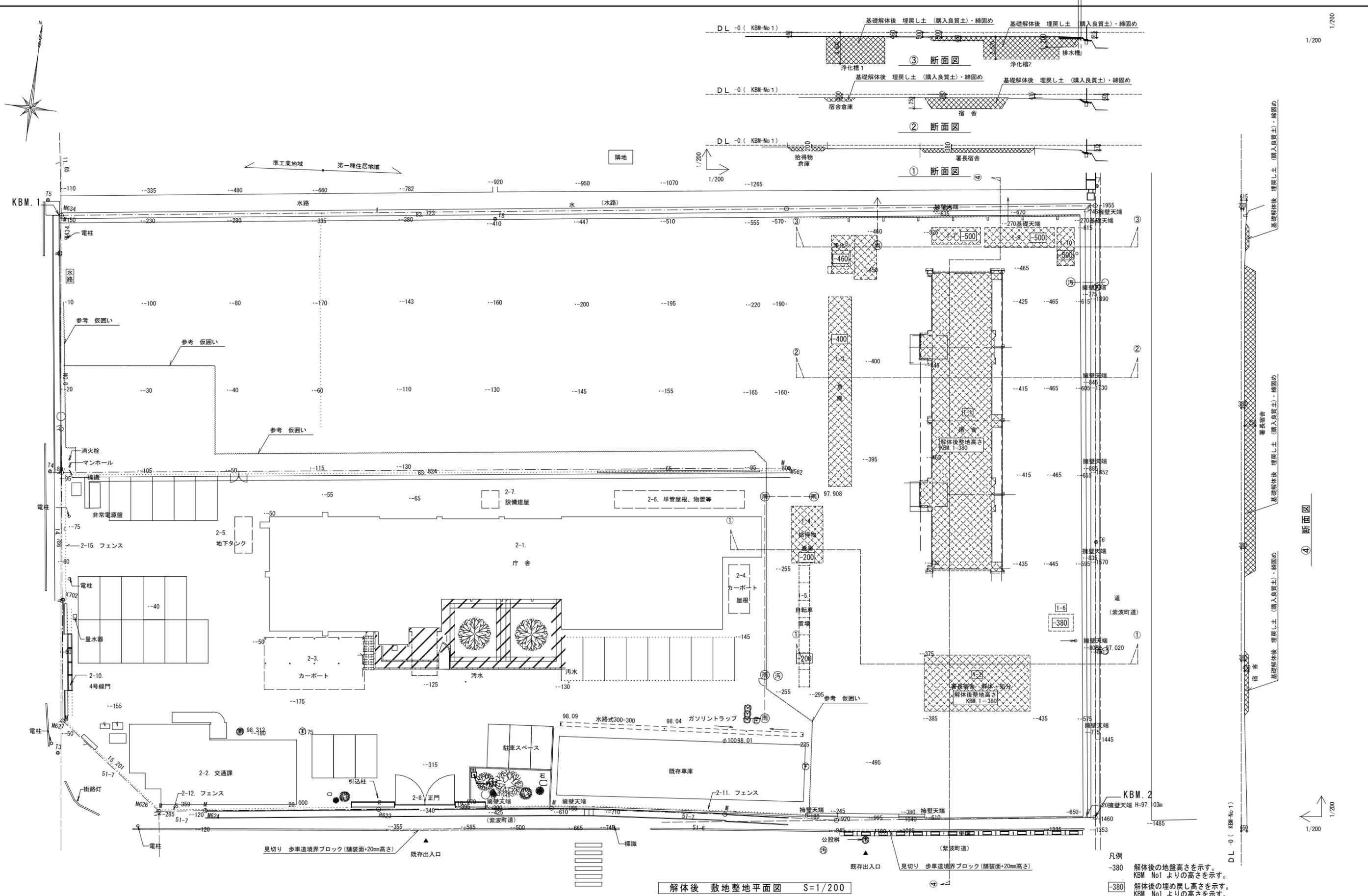


施工時の仮設計画

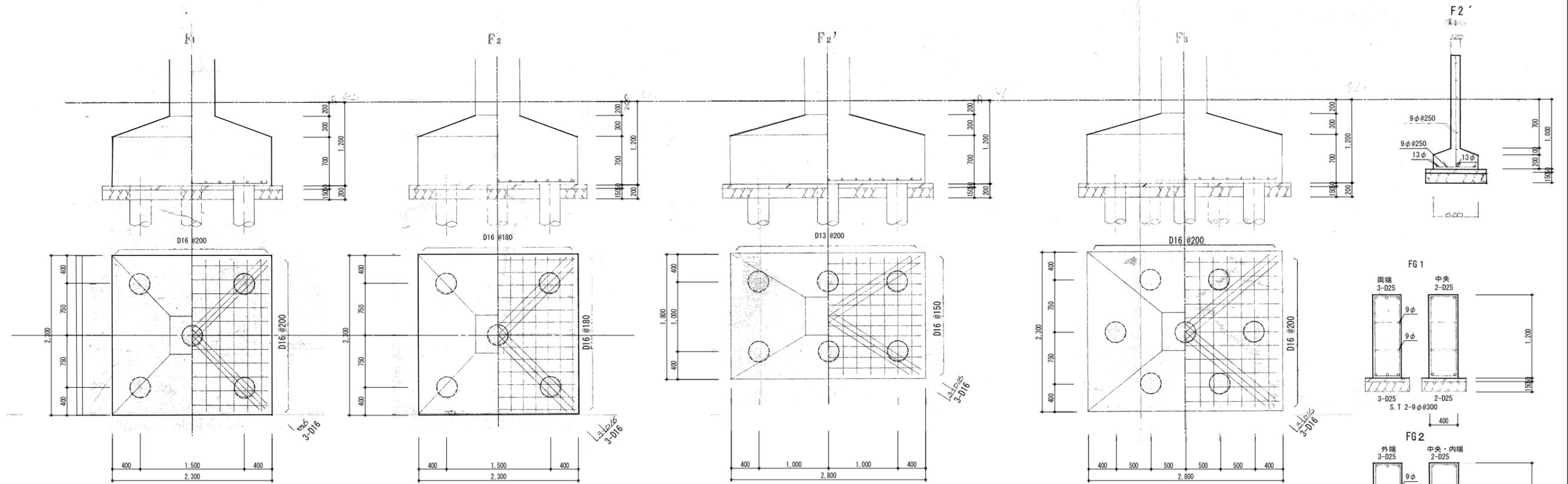


解体工事後の状況

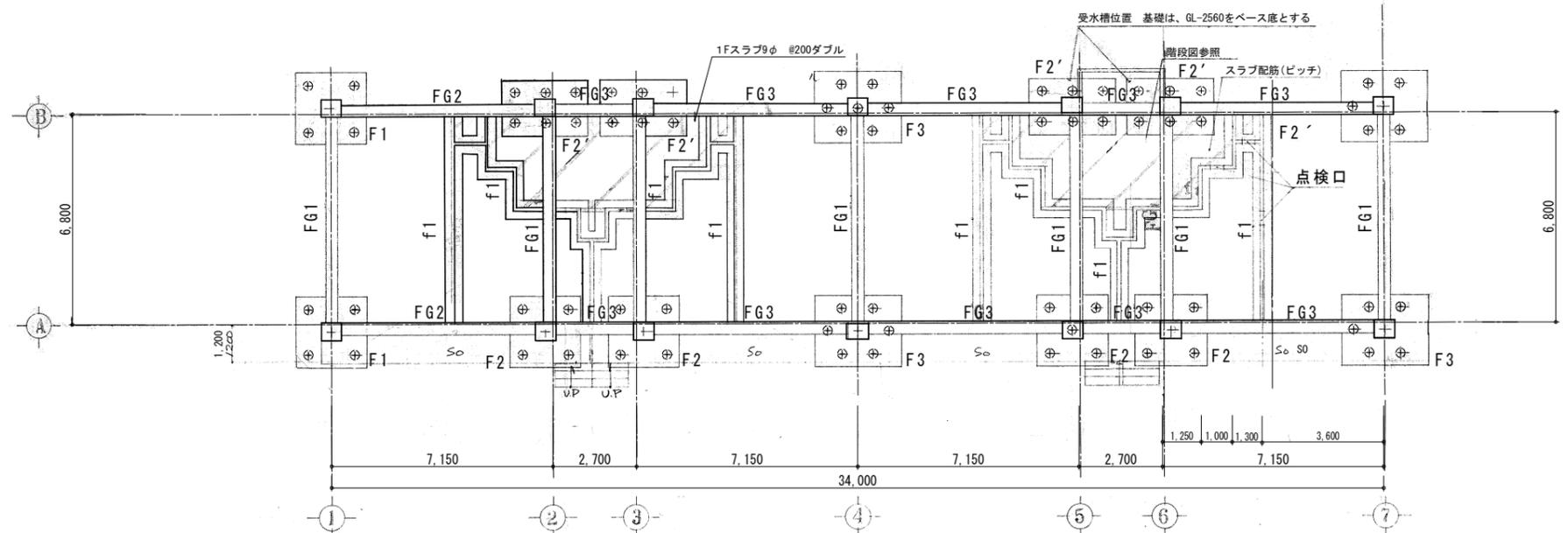
工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 (参考) 山留め計画図 (参考) 仮設計画説明図	縮尺 A1 1/100 A3 1/300 A1 1/50 A3 1/100	区分 意匠図	図面番号 KDO-34
						設計番号				



工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号				

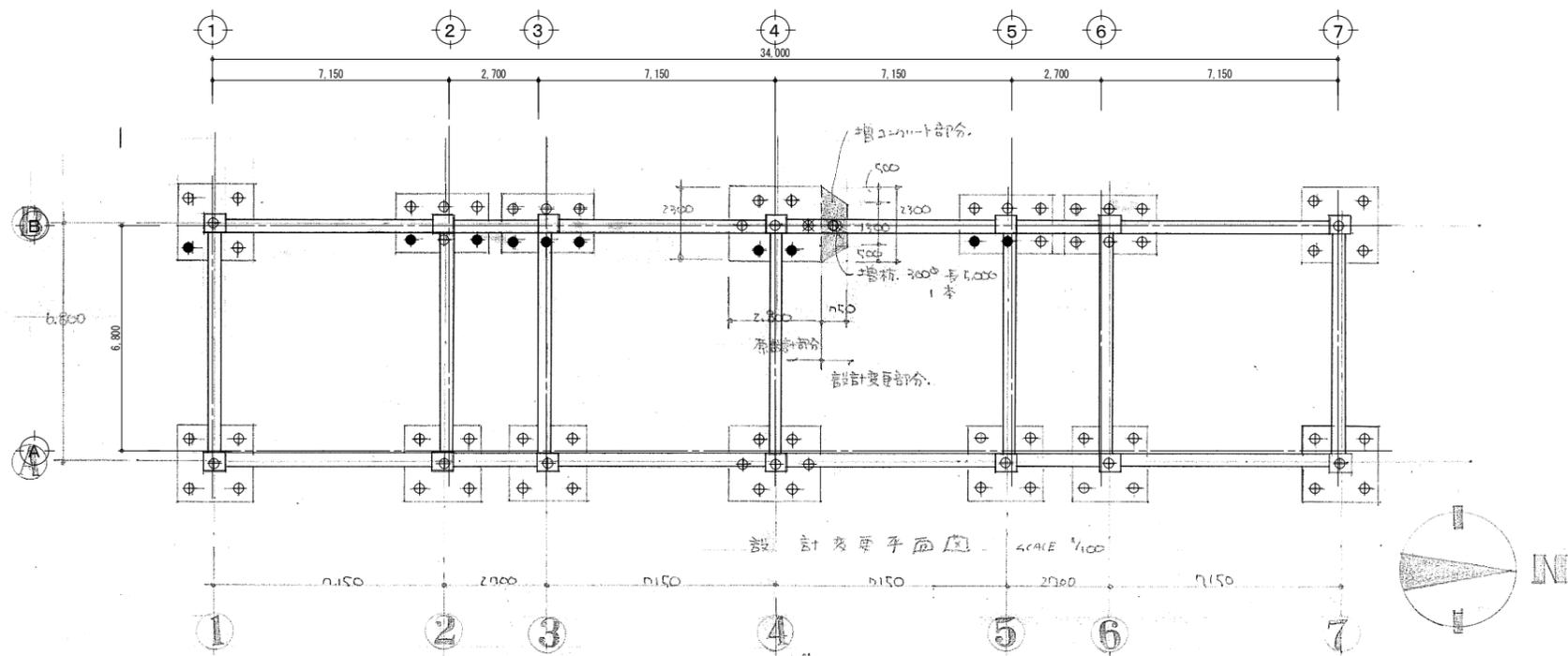


解体宿舎 基礎詳細図 S=1/100

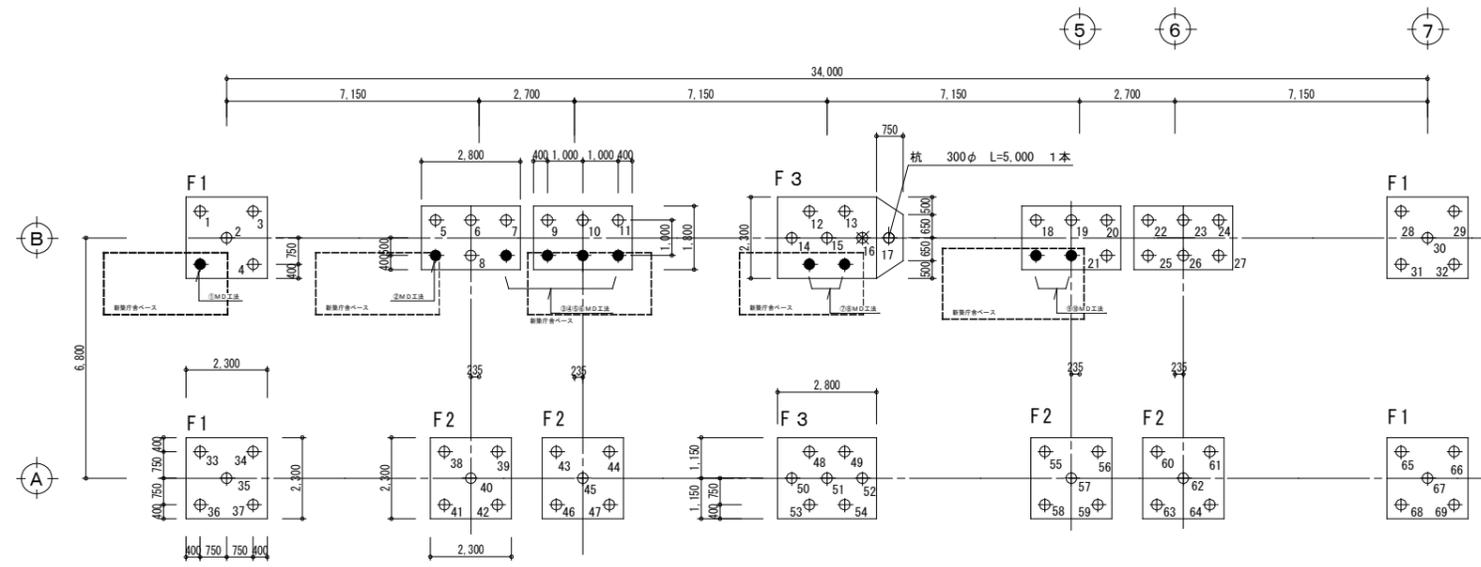
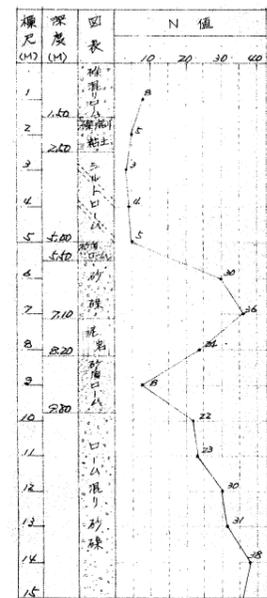


解体宿舎 基礎伏図 S=1/100

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号				

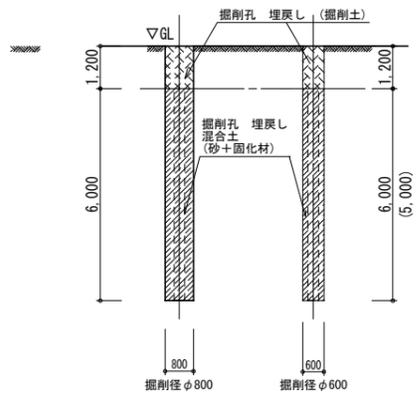


宿舎 変更基礎伏図 S=1/100



○ 1~69 杭引き抜き撤去部分を示す。(ワイヤ引っ掛け工法)
 (L=6,000 68箇所撤去 L=5,000 1箇所)
 ● ①~⑩ MD工法 杭撤去 マルチドリル工法を示す。
 (10箇所 撤去)

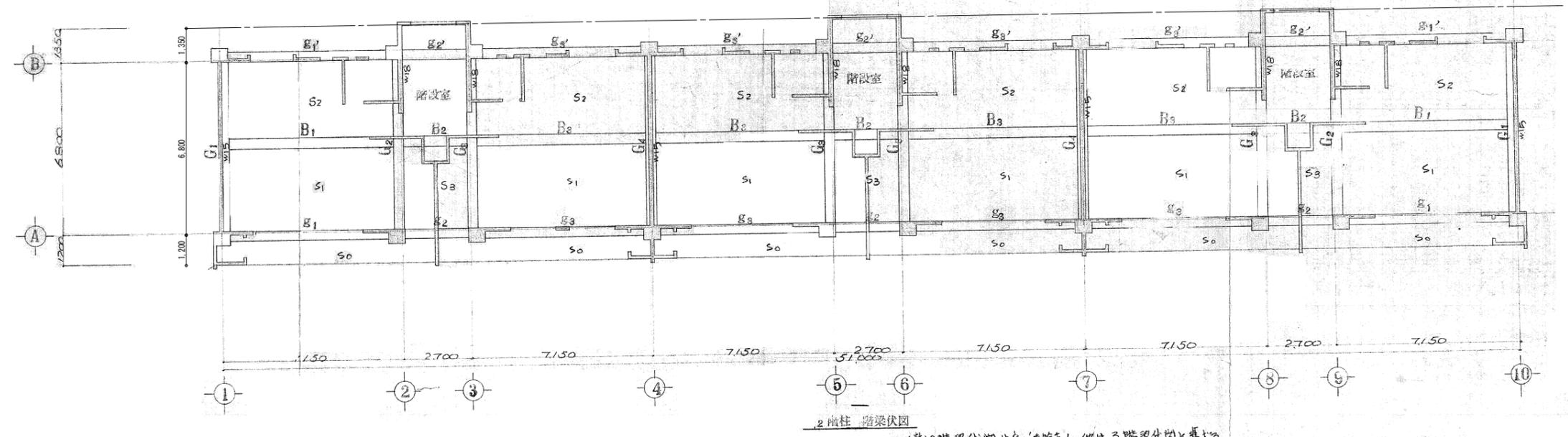
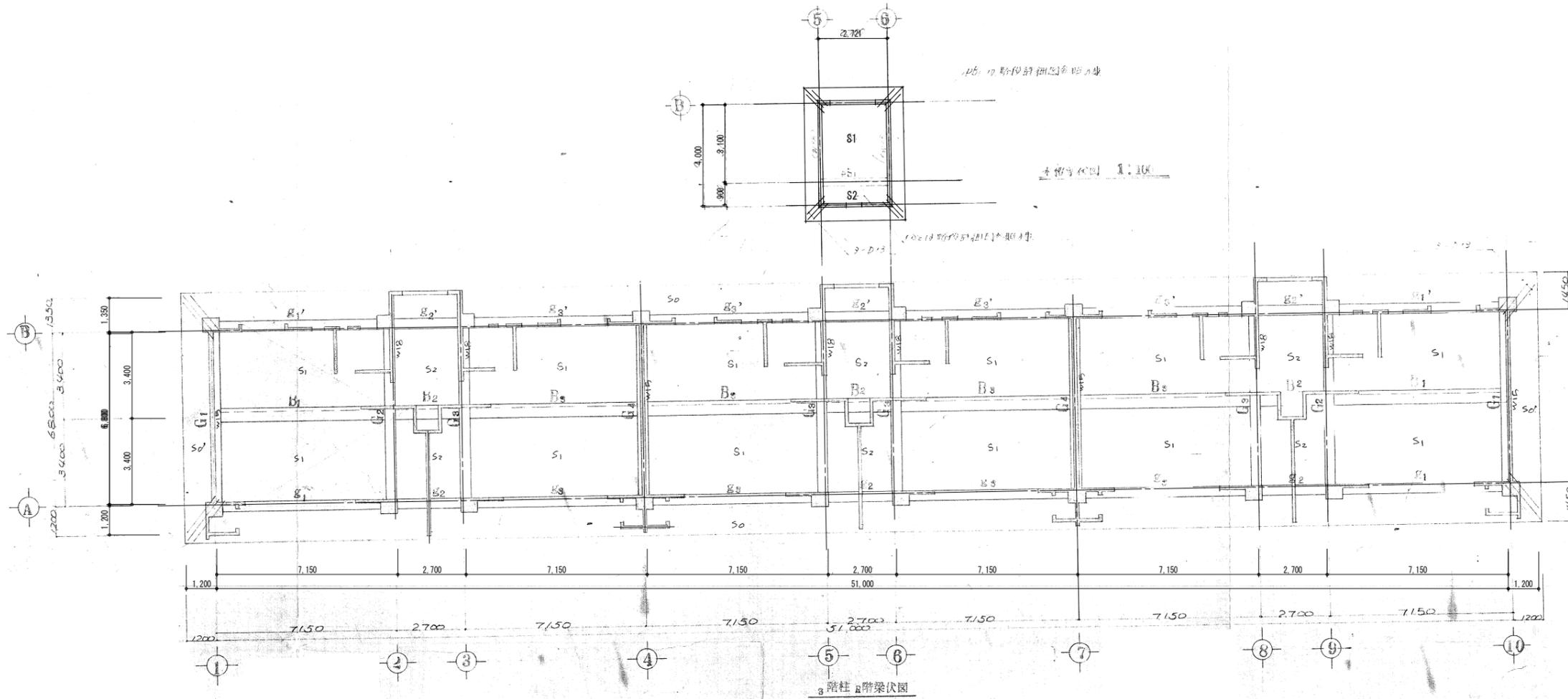
宿舎 杭撤去伏図 S=1/100



杭引き抜き工事 一式	
1~69 杭引き抜き撤去 (ケーシング併用杭抜工法) (L=6,000 68箇所撤去 L=5,000 1箇所)	①~⑩ 杭撤去 (マルチドリル工法) オールケーシングによる杭撤去を示す。 (10箇所 撤去) 施工方法は下記の通りとする (参考) ① 削孔位置に合わせて定規鉄板をセットする ② 本体機を据え付け、定規鉄板の穴に合わせてケーシングをセットする ③ ケーシングを回転圧入する ④ ツールズを装着しケーシング内部の削孔を行いケーシング内部の杭及び土砂を破砕・撤去する ⑤ ケーシング内部の削孔がケーシング先端部まで完了後ケーシングをジョイントし再度回転圧入を行う ⑥ ③~⑤を杭の完全撤去まで繰り返し行う ⑦ 埋め戻し 埋め戻しは砂とセメント系固化材を混合攪拌した改良土とする 室内目標強度: 220kN/m ² (現場室内強度比0.7) 現場目標強度: 150kN/m ² (N値12相当) 配合量: 50kg/m ³ 混合攪拌方法 ベッセル又は水槽等に所定の砂と固化材を投入し混合攪拌を行う 混合攪拌完了後供試体の採取を行う
施工方法は下記の通りとする (参考) ① バックホーにて杭頭まで掘削を行う ② ケーシングを杭頭部にセットする ③ ケーシング先端より水を噴出させケーシングを回転させながら杭先端まで削孔を行う ④ 削孔完了後杭の沈下・回転等により、フリクションカットの確認をする ⑤ ケーシングを引き上げる ⑥ 削孔ケーシングを利用し玉掛けを行う ⑦ 玉掛をしたワイヤーで杭の引き抜きを行う ⑧ 埋め戻し 埋め戻しは砂とセメント系固化材を混合攪拌した改良土とする 室内目標強度: 220kN/m ² (現場室内強度比0.7) 現場目標強度: 150kN/m ² (N値12相当) 配合量: 50kg/m ³ 混合攪拌方法 ベッセル又は水槽等に所定の砂と固化材を投入し混合攪拌を行う 混合攪拌完了後供試体の採取を行う	①~⑩ 杭撤去 (マルチドリル工法) オールケーシングによる杭撤去を示す。 (10箇所 撤去) 施工方法は下記の通りとする (参考) ① 削孔位置に合わせて定規鉄板をセットする ② 本体機を据え付け、定規鉄板の穴に合わせてケーシングをセットする ③ ケーシングを回転圧入する ④ ツールズを装着しケーシング内部の削孔を行いケーシング内部の杭及び土砂を破砕・撤去する ⑤ ケーシング内部の削孔がケーシング先端部まで完了後ケーシングをジョイントし再度回転圧入を行う ⑥ ③~⑤を杭の完全撤去まで繰り返し行う ⑦ 埋め戻し 埋め戻しは砂とセメント系固化材を混合攪拌した改良土とする 室内目標強度: 220kN/m ² (現場室内強度比0.7) 現場目標強度: 150kN/m ² (N値12相当) 配合量: 50kg/m ³ 混合攪拌方法 ベッセル又は水槽等に所定の砂と固化材を投入し混合攪拌を行う 混合攪拌完了後供試体の採取を行う

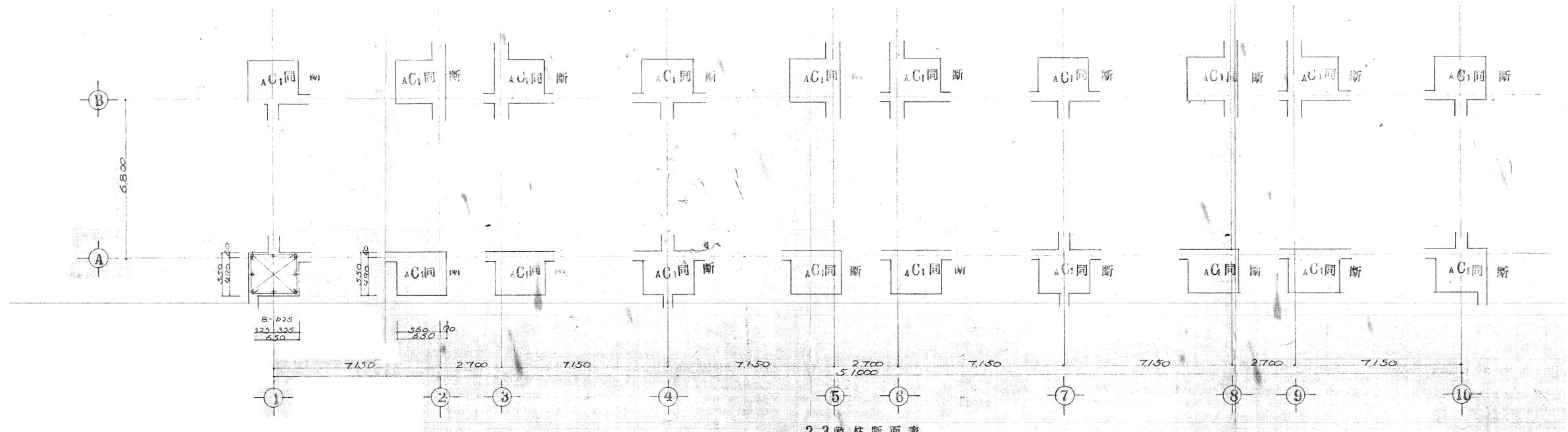
解体建物 1-1

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 宿舎 変更基礎伏図 杭撤去伏図 杭引き抜き特記	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	区分	図面番号 KSO-02
						設計番号			構造図	

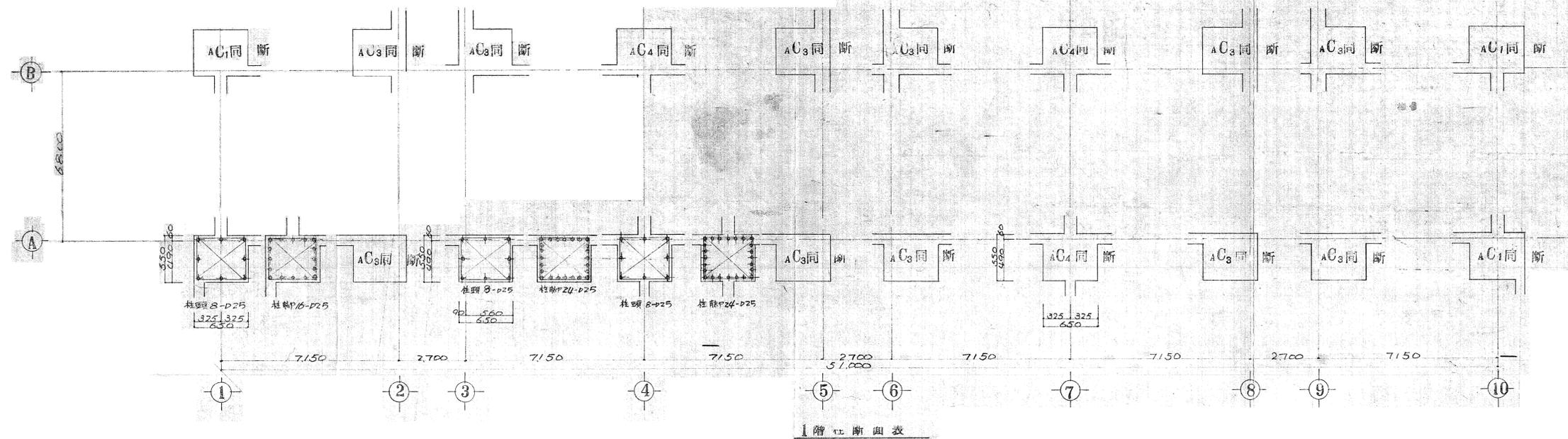


解体建物 1-1

工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製図	担当	検印	特記	年月日	図面内容 宿舍 2階柱 3階梁伏図 3階柱 R階梁伏図	縮尺	区分 構造図	図面番号 KSO-03
						設計番号		A1 1/100 A3 1/200 A1 1/100 A3 1/200		



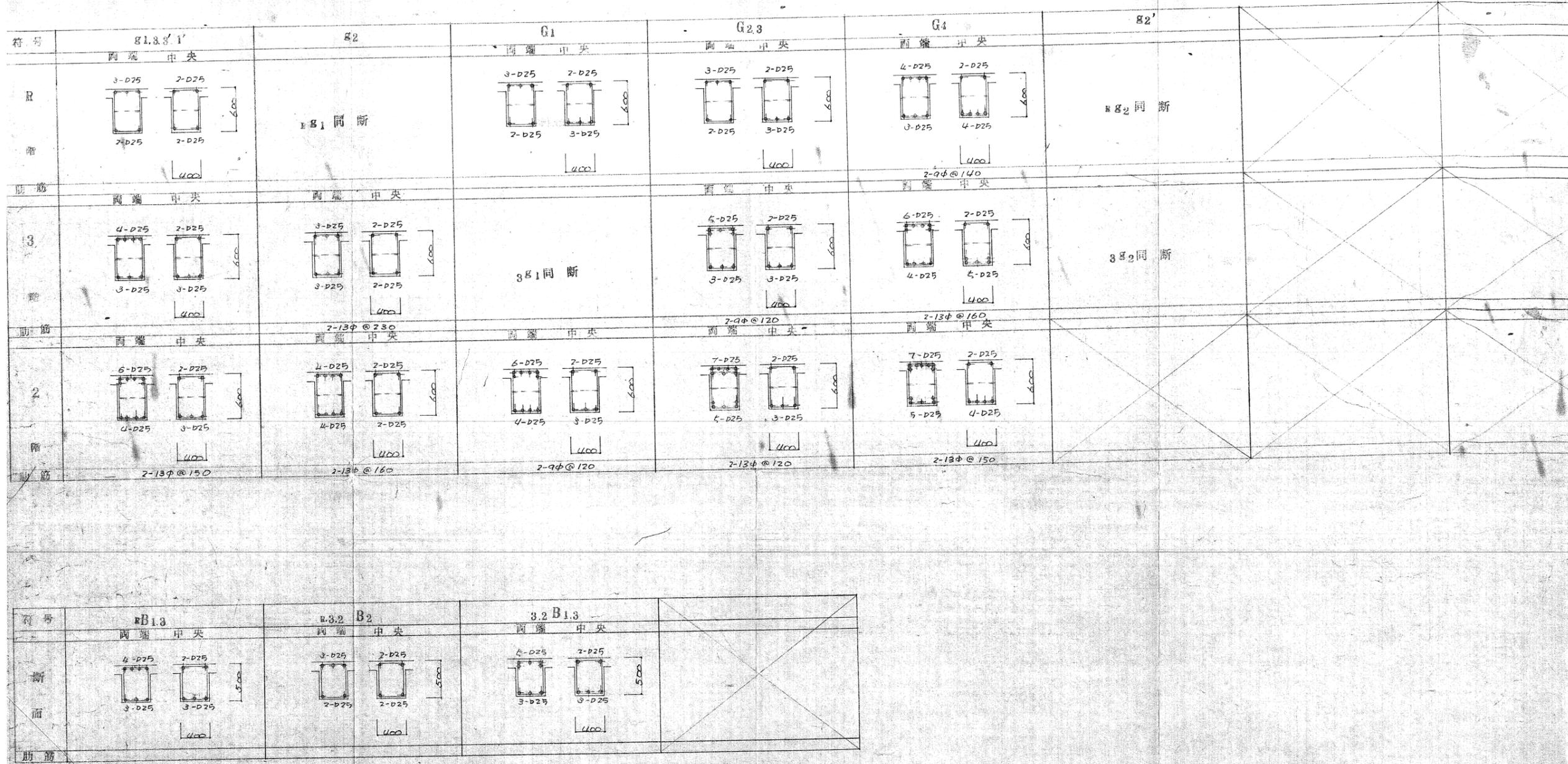
2.3階柱断面表



1階柱断面表

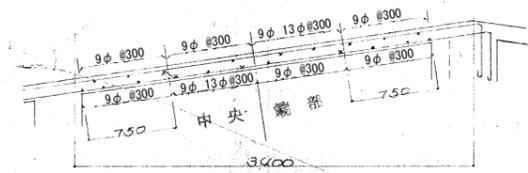
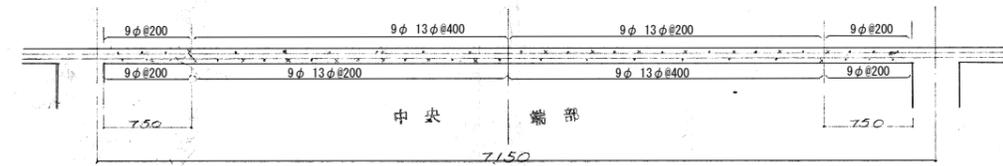
解体建物 1-1

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製 図 担 当 検 印	特 記	年 月 日	図面内容 宿 舎 1階柱断面表 2・3階柱断面表	縮尺 A1 1/100 A3 1/200 A1 1/100 A3 1/200	区 分 構造図	図面番号 KSO-04
				設計番号				

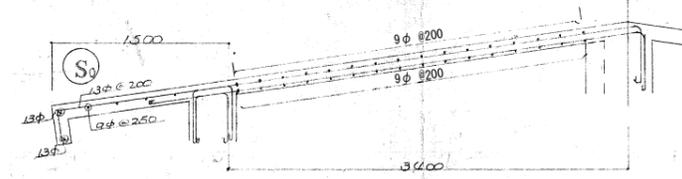
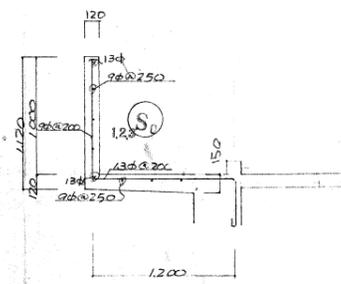


解体建物 1-1

工事名	紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	製	担	当	検	印	特記	年月日	図面内容 宿舍 梁断面リスト	縮尺	区分 構造図	図面番号 KSO-05
								設計番号		A1 1/30 A3 1/60		



S1
D=120



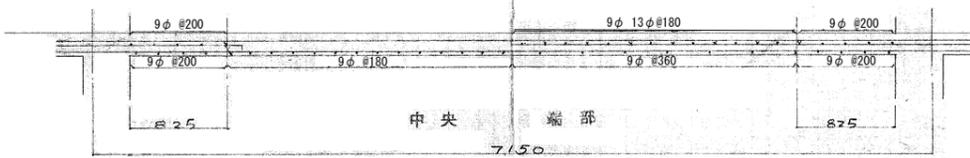
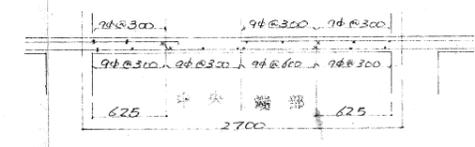
S3
D=120



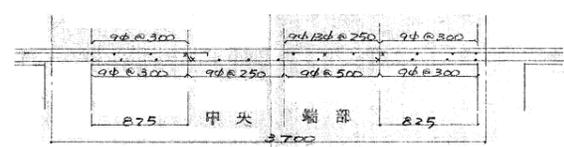
S4
D=120



S3
D=120



S1
D=120



D



桁号	W12	W15	W18	壁内補強筋
断面				
鉄筋	9φ120 120	9φ150 150	9φ180 180	補強筋 13φ

宿舎 断面リスト-2 S=1/30

解体建物 1-1

工事名	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	製	担	当	検	印	特記	年月日	図面内容 宿舎 断面リスト	縮尺 A1 1/30 A3 1/60	区分	図面番号
								設計番号			構造図	KSO-06

